昭和43年4月23日第3種郵便物認可 令和7年2月1日発行 毎月1日発行 通巻865号

ロータリーの友

Rotary

2
2025
February

JAPAN
www.rotary-no-tomo.jp

平和構築と紛争予防月間
「スター・トレック」ヒカル・スールーが歩む道
差別、闘い、そして未来への夢

第53回
ロータリー研究会

Rotary

締切迫る！

2025-26年度『ロータリーの友』

表紙を飾る絵　大募集！

ローターアクター、
財団奨学生、米山奨学生
などの作品もＯＫ！

あなたの絵が表紙に！
バラエティーに富んだ絵で読者の多様性を表現します。
画伯ロータリアンの皆さま、絵で『友』を彩りませんか？
表紙で話題づくりをしてみませんか？　ふるってご応募ください！

応募方法は2ステップで！

①**応募規定**を読む
※『友』ウェブサイトの「表紙募集」、10月号横組みP44～45でご覧いただけます。

②**Googleフォーム**か**メール添付**で送る
※デジタルデータでの応募をお願いします。
※Googleフォーム利用にはGoogleアカウントが必要です（お持ちでない方はメール添付でお願いします）。

詳細・ご応募はこちらから
www.rotary-no-tomo.jp/cover.php

テーマ

テーマは自由！
ご当地の風景やふるさとなど、地域性を生かした作品歓迎

審査方法

ロータリーの友委員会・編集部での厳選なる審査の上、決定します

応募資格

ロータリアン、ローターアクター、ロータリープログラムの参加者・経験者

応募要件

油絵・水彩画・版画・グラフィックアートなどの平面作品（画法・画材不問）で郵送可能な作品

発表

『友』25年７月号ならびに『友』ウェブサイト（6月下旬掲載予定）に、入選者の氏名および掲載月を発表します

2025年
2月28日（金）
締切

お問い合わせは『友』編集部・表紙募集係まで
cover@rotary-no-tomo.jp
※審査内容・決定に関するお問い合わせには応じかねます

CONTENTS

ロータリーの友 Rotary JAPAN 2
www.rotary-no-tomo.jp
FEB. 2025

2月は 平和構築と紛争予防月間
23日は ロータリー創立記念日

RI会長メッセージ …… 4
RI会長　ステファニー A. アーチック

特集 平和構築と紛争予防月間 …… 7
「スター・トレック」ヒカル・スールーが歩む道
差別、闘い、そして未来への夢
映画俳優・日系アメリカ人　ジョージ・武井
聞き手　第5280地区直前ガバナー　中曽根牧子

ロータリー研究会 …… 19
第53回ロータリー研究会リポート

アーチックRI会長　ICUを訪問 …… 28

PICK OUT PROJECT …… 29
END POLIO NOW

視点　ガバナーのロータリー・モメント …… 32
第2500地区　小谷典之／第2510地区　出村知佳子／
第2520地区　佐藤　剛／第2530地区　早川敬介／
第2540地区　佐藤和志／第2550地区　市田　登／
第2560地区　南雲博文／第2570地区　五十幡和彦

THE PARTNER — 探訪③ …… 36
(公財)ロータリー米山記念奨学会

よねやまだより …… 38
Campus & Diary ④
崔　叶灵

地区大会略報III …… 46
第2510地区／第2600地区／第2620地区／第2760地区／
第2800地区／第2820地区／第2590地区／第2540地区／
第2640地区／第2770地区

ELEVATE ROTARACT …… 49
宮崎西フェニックスオーシャン
ローターアクトクラブ

NEW GENERATION …… 50
米山奨学生　金ダソル／米山学友　李　若源

6 ●ロータリーとは
40 ●People of action around the globe
42 ●ROTARY AT WORK
51 ●パズル de ロータリー／詰め将棋
52 ●エバンストン便り
54 ●財団管理委員長からのメッセージ
●2025年国際大会
55 ●パズルの答え／詰め将棋の答え／編集部のあとあがき
56 ●お知らせ　新ロータリー衛星クラブ／新RAC／2025－26年度版『ロータリー手帳』のご案内／地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』3月号主要記事予定
57 ●日本ロータリー分布図／奥付
58 ●投稿規定
59 ●「ロータリー俳壇・歌壇・柳壇」作品募集

● 本誌中のRIは国際ロータリー、RCはロータリークラブ、RACはローターアクトクラブ、IACはインターアクトクラブの略です。
● 縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。 ●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。
● 公式ロゴ、誇りのシンボル、簡易公式ロゴ、および ROTARY は、国際ロータリーが保有する商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。

PHOTOGRAPH:LUCY HEWETT

Ripples of hope and change

This month, as we come together for the International Assembly and the Presidential Peace Conference, we celebrate *The Magic of Rotary* — a unique blend of global connection, vision, and action that empowers us to create lasting change.

One of the most inspiring examples is our Rotary Peace Fellowship program, a cornerstone of Rotary's mission to build a more peaceful and just world.

For more than 23 years, Rotary Peace Fellowships have been transforming communities. Our Rotary Peace Centers, hosted at leading universities around the globe, have educated over 1,800 fellows who now work in more than 140 countries.

These centers cultivate expertise in fields like conflict resolution, sustainable development, and peacebuilding, preparing fellows to tackle some of the world's most pressing challenges. This program exemplifies how Rotary turns vision into action, creating a ripple effect of hope and change.

This month during the Presidential Peace Conference, we celebrate a significant milestone with the opening of our newest peace center in Istanbul. This center will focus on training leaders to address peacebuilding challenges in the Middle East and North Africa, further extending Rotary's impact.

Peace fellows are dedicated champions of transformation, addressing critical issues such as refugee resettlement, youth and women's empowerment, and reconciliation in conflict zones. Many founded vital organizations or hold leadership roles in governments, nongovernmental organizations, and international institutions like the United Nations and World Bank.

One inspiring story is that of Ntang Julius Meleng, a 2024 Rotary Peace Fellow at Makerere University in Uganda. Through his Social Change Initiative, Julius has worked to empower young people in Cameroon to take active roles in peacebuilding and leadership.

His project provided training in conflict prevention, civic engagement, and leadership to youths and community officials in areas affected by conflict, equipping people to drive sustainable peace efforts.

Julius harnessed Rotary's global network to overcome obstacles, including limited funding and security risks, and make a meaningful impact.

The Rotary Peace Fellowship gave Julius the tools and support to turn his vision into reality. His work embodies *The Magic of Rotary* — the transformative power of connecting people, sharing resources, and uniting for a common purpose.

As we reflect on the achievements of our peace fellows and celebrate Rotary's enduring commitment to peace, let us also recognize the role that everyone in our network of 1.2 million members plays in creating magic through service.

Together, we can amplify our impact, inspire new generations of leaders, and build a brighter, more peaceful future.

STEPHANIE A. URCHICK
President, Rotary International

PRESIDENT'S MESSAGE

RI会長メッセージ

RI指定記事

希望と変化の波及

国際協議会と会長主催平和会議が開催される今月、私たちは「ロータリーのマジック」に光を当てます。このマジックは、グローバルなつながり、ビジョン、持続可能な変化をもたらす行動が織り交ざった他に例のないものです。

その最たる例の一つは、より平和で正義のある世界を築くというロータリーの中核的な使命を支えるロータリー平和フェローシップです。

ロータリー平和フェローシップは23年以上にわたり、地域社会に変革をもたらしてきました。世界をリードする大学に設置されているロータリー平和センターは、1,800人以上のフェローを輩出、フェローは140以上の国で活躍しています。

平和センターでは、紛争解決、持続可能な開発、平和構築など専門知識を教え、フェローが世界の最も差し迫った課題に取り組めるよう準備を整えます。このプログラムは、ロータリーがビジョンを行動に移し、希望と変化の波及効果を生み出していることを体現しています。

会長主催平和会議では、トルコ・イスタンブールで平和センターの新設を祝います。このセンターは、中東と北アフリカにおける平和構築の課題に取り組むリーダーの育成に焦点を当て、ロータリーのインパクトをさらに拡大します。

平和フェローは、難民の再定住、若者と女性のエンパワメント、紛争地帯の和解などの重要な問題に取り組みながら、変革を推進して活動します。彼らの多くは、重要な組織を設立したり、政府、非政府組織、国連や世界銀行などの国際機関でリーダーシップを発揮したりしています。

2024年にウガンダにあるマケレレ大学のロータリー平和フェローになったンタング・ジュリアス・メレングさんのストーリーは、特に感動的です。彼は、社会を変えていこうと旗を振り、カメルーンの若者が平和構築とリーダーシップにおいて積極的な役割を果たせるよう支援しました。

彼のプロジェクトは、紛争の影響を受けた地域の若者や役人に対し、紛争予防、市民参加、リーダーシップに関する研修を提供するというもので、人々が持続可能な平和の取り組みを推進できるようになりました。

ジュリアスさんは、ロータリーのグローバルネットワークを活用して、資金面や安全面での障害を克服し、大きなインパクトをもたらしました。

ロータリー平和フェローシップを通じて、ジュリアスさんはビジョンを実現するための手段とサポートを得ることができたのです。彼の活動は、人々をつなぎ、リソースを共有し、共通の目的のために結束するという「ロータリーのマジック」の変革力を表しています。

平和フェローの功績を振り返り、ロータリーによる平和への永続的なコミットメントを祝いましょう。そして、奉仕を通じてマジックを生み出すために、約120万人の会員から成るロータリーネットワークの全員が果たす役割を改めて認識しましょう。

力を合わせれば、より大きなインパクトをもたらし、次世代のリーダーを鼓舞し、より明るく平和な未来を築くことができます。

ステファニー A. アーチック
2024－25年度 国際ロータリー（RI）会長

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20 世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人３人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして 1905 年２月 23 日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするロータリークラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では 200 以上の国と地域に広がり、クラブ数 36,383、会員総数 1,165,228 人（2024 年 12 月 18 日国際ロータリー公式発表）に達しています。このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

なお、世界中のロータリークラブとローターアクトクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正９）年 10 月 20 日に創立された東京ロータリークラブで、翌 1921 年４月１日に、世界で 855 番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第２次世界大戦の波に洗われて、1940 年に国際ロータリーから脱退します。戦後 1949 年３月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第３代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は 2,195、会員数 84,048 人（2024 年 11 月末現在）となっています。

2024 － 25 年度会長テーマ

THE MAGIC OF ROTARY

ロータリーの
マジック

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第１　知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；

第２　職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；

第３　ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；

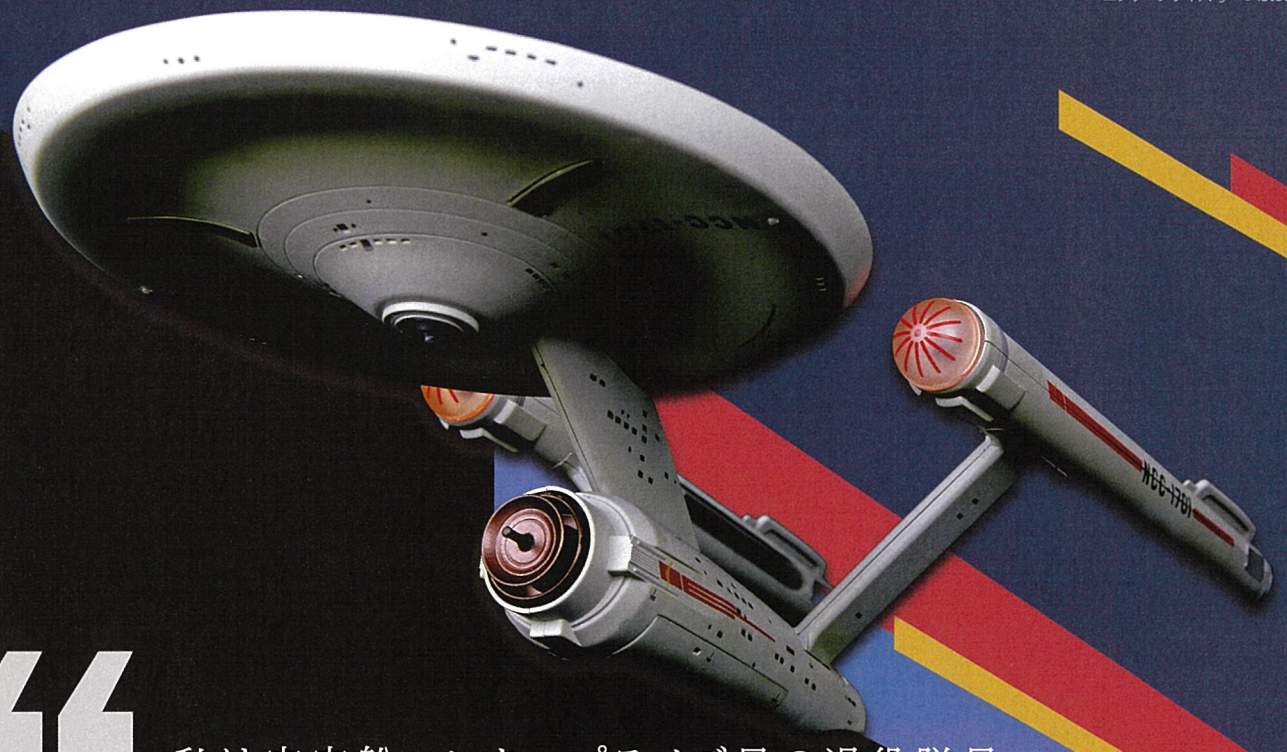
第４　奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1．真実か どうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるか どうか

エンタープライズ号：© iStock / BrendanHunter



私は宇宙船エンタープライズ号の退役隊員。
巨大な宇宙船で汪洋（おうよう）たる宇宙を飛んだんだ。
この宇宙の旅を共にしたクルーは、
多種多様な人種、文化、そして背景を有する、
世界各国から集まった人員で構成されていた。
われわれの使命は、まだ見ぬ新たな世界や、
新たな生命体・文明を探し求めて、
人類未踏の宇宙を大胆に突き進むことだった。

TED x Kyoto ジョージ・武井（2014年6月・京都）

写真：Photofest/アフロ

インタビュー

映画俳優・日系アメリカ人

ジョージ・武井

聞き手 **中曽根牧子** 第5280地区直前ガバナー

「スター・トレック」ヒカル・スールーが歩む道

差別、闘い、そして未来への夢

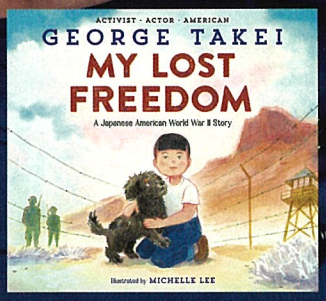
1966年に放送が開始されたテレビドラマ「スター・トレック」。宇宙船エンタープライズ号の乗組員たちは、異なるバックグラウンドを持つが、違いを尊重し合い、困難な状況下でも協力して解決策を見つけていく。その操舵士、ヒカル・スールーを演じたジョージ・武井さん。しかし、ドラマの世界と、ジョージさんがたどる人生はまるで異なるものだった。幼少期に強制収容を経験、その後もさまざまな困難を乗り越えてきた彼が、今思うことは？　アメリカ・ロサンゼルスにある、リトル東京でロータリークラブを創立した、中曽根牧子さんがインタビューした。

ジョージ・武井
George Takei

1937年アメリカ生まれ、日系アメリカ人。5歳の時にアーカンソー州ローワー強制収容所に収容される。終戦後、ロサンゼルスに帰郷。俳優を目指してカリフォルニア大学ロサンゼルス校で演劇を学ぶ。1960年代にテレビドラマ「スター・トレック」に出演し人気を得る。近年、ゲイであると公表し、ソーシャルメディアなどでも発信を続ける。

中曽根牧子
Makiko Nakasone

山梨県出身。東京外国語大学卒。1982－83年度ロータリー財団国際親善奨学生（スポンサー・甲府ＲＣ）としてドイツ・フライブルク大学に留学（ドイツ史専攻）。日本経済新聞本社・ロス支局記者。ロサンゼルスのリトル東京ＲＣ創立会長、グレンデールＲＣ会員。2023－24年度国際ロータリー第5280地区（ロサンゼルス周辺）ガバナー。カリフォルニア州在住。



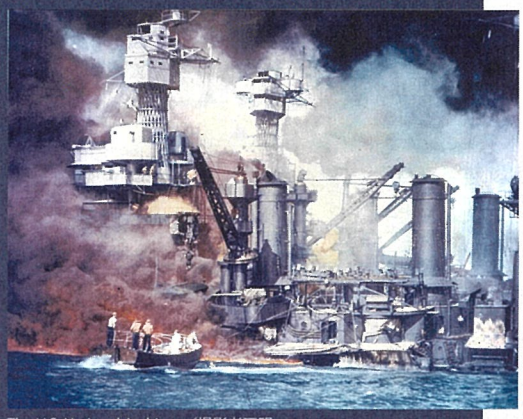
『My Lost Freedom: A Japanese American World War II Story』
文：ジョージ・武井／絵：Michelle Lee

gettyimages／撮影：Benjo Ar

EPISODE

真珠湾攻撃／米大統領令／在留邦人・日系人強制収容

1941年12月7日（現地時間）の真珠湾攻撃に端を発する日米開戦により、アメリカ国内では在留邦人と日系人（アメリカ国籍を持たない在留者と日系アメリカ人）に対する風当たりが強まる。ルーズベルト大統領は、9066号（通称：防衛のための強制移動の権限）の大統領令に署名し、主に西海岸に居住していた全ての日系人を立ち退かせ、へき地に建設した転住センター（事実上の強制収容所）へ収容した。人々は有刺鉄線で囲まれ、銃を構える兵士に監視される中での生活を余儀なくされる。終戦とともに強制収容は解除。段階的に政府による救済措置が取られた。1988年レーガン大統領が国として公式に謝罪。生存する収容経験者に2万ドルの見舞金を支払った。2022年、12万5000人余りの収容者名が記載された台帳『Ireichō（慰霊帳）』が完成。全米日系人博物館で公開され、関心を集めた。



The U.S. National Archives／撮影者不明

全米日系人博物館（JANM）　www.janm.org/ja
Densho　densho.org
Densho Digital Repository　ddr.densho.org

日系アメリカ人で最も有名な俳優として

――（中曽根-以下同）武井さんはSF作品「スター・トレック」[1]のアジア人船員、ヒカル・スールー役として日本でも有名ですが、幼少期に受けた人種差別についてはあまり知られていません。まずは日本の読者に武井さんのルーツをご紹介ください。

私は今87歳です。本業は俳優で、ミュージカルもやりますし、本の執筆や講演など、現役として今も忙しい日々を過ごしています。父・タケクマは山梨県生まれで、連れ合いを亡くした自身の父親、長兄と一緒に12歳の時に3人で渡米し、サンフランシスコで大学教育まで受けました。その後、ロサンゼルス（ロス）へ移り、高級住宅街ウィルシャー地区でドライクリーニング店を開業。母フミコは、サクラメント（カリフォルニア州）生まれですが、就学前に祖父の実家があった広島へ送られて、日本で教育を受けました。学校を卒業後、米国へ戻った、いわゆる「帰米（きべい）」です。父は日本語も英語も堪能でしたが、母の英語は亡くなるまで日本語なまりがありましたね。2人はロスで知り合い、当時街で一番高層だった市庁舎の27階で市役所職員立ち会いの下、結婚しました。父は英国びいきだったので、僕が生まれた3週間後に即位したジョージ6世のように威厳ある人になるようにと、僕を「ジョージ」と名付けました。

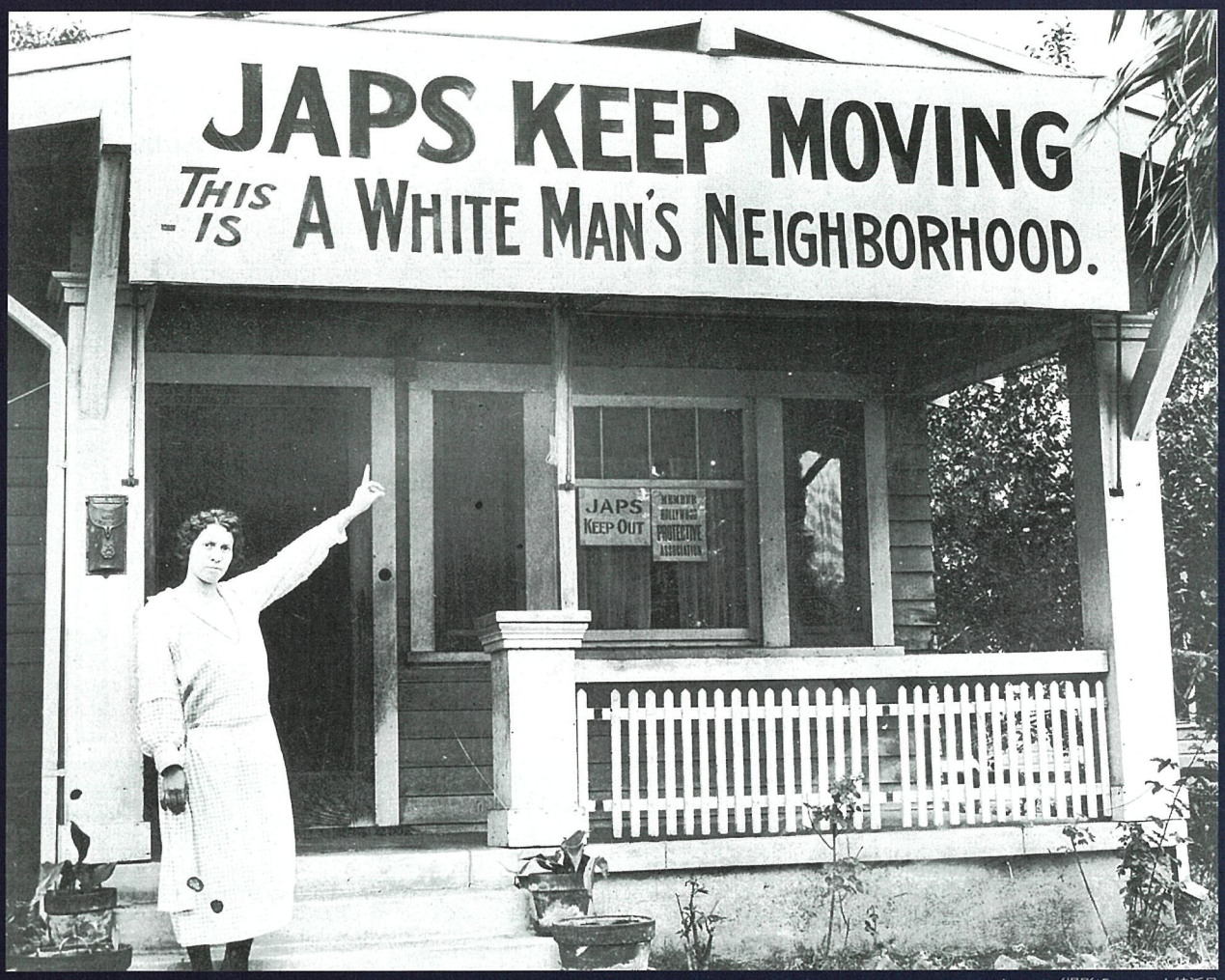
真珠湾攻撃。公然と向けられる日系人への憎悪

――不自由ない生活をしていた時、日本軍が真珠湾を攻撃しました。その時の様子を教えてください。

一軒家で平穏な生活を送っていました。父は仕事の合間を縫って、僕と弟のヘンリー、妹のレイコに本を読んでくれたり、外で遊んでくれたりしました。近所に住んでいた金髪のドナルドが「ジョージと一緒に遊んでもいい？」と言って家に来ることが週に2、3回はありましたよ。

僕はまだ小さかったのでよく分かりませんでしたが、大人同士の会話に「パールハーバー」という言葉が頻繁に出てきたのは覚えています。日系人に対する憎悪や差別が、新聞やラジオで公になっていったのは間違いありません。真珠湾を攻撃したのは大日本帝国。私たちはアメリカ生まれの、れっきとした米国市民であるにもかかわらず、敵国となった人たちと同じ外見をしている、というだけで攻撃の対象になったのです。

[1] 原作者のジーン・ロッデンベリーによると、作品の時代設定である23世紀は人種による差別や格差のない世界で、アジア系のスールーは、その未来を反映させたキャラクターとして描かれている。ちなみに名前の語源はフィリピンのスールー海から取られた。この意味からして、日本版で見られた「ミスター・カトウ」の呼称は原作の意図から外れたものとなっている。



gettyimages／撮影：Fotosearch特派員

ジャップは出ていけ！

「JAPS KEEP MOVING. THIS IS A WHITE MAN'S NEIGHBORHOOD.」（ジャップは出ていけ。ここは白人の住居地である）と掲げられた巨大な看板を指さす女性。1913年、俗にいう「排日土地法」がカリフォルニア州で成立。米国市民権のない日系移民は土地が購入できなくなり、24年には日本からの移民も禁止になるなど、徐々に排斥の機運が高まる。こうして醸成された嫌日感情は、後年、日系人の強制収容につながっていった。

撮影日：1923年5月
撮影地：カリフォルニア州ロサンゼルス

―― 1942年2月19日、ルーズベルト大統領が大統領令9066号を発令。軍事的必要性を根拠に西海岸の特定地域から在留邦人と日系人を立ち退かせる権限を軍に与えました。

両親によれば、わが家の銀行口座は凍結され、家財は全て二束三文で売り、愛車も近所の人にたった5ドルで売ったそうです。僕は当時5歳。ある朝、銃を持った兵士が家のドアを乱暴にたたき、手に持てるわずかな荷物だけを持って外に出るよう命じました。それから、バスでロス郊外のサンタ・アニータ競馬場へ送られました。馬のふん尿臭が鼻にツーンとくる馬房を住まいとして与えられたんです。本当にひどかった。でも、子どもの僕と弟のヘンリーは、うちの馬房が大食堂に近かったのでうれしかった。食べ盛りでしたから、いつも大食堂に一番乗りでした。

数カ月後、また荷物をまとめ、今度は列車に乗るよう命令されました。「これからどこへ行くの？」と父に聞くと「田舎へ長いバケーションに行くんだよ」と。子煩悩だった父が、列車の長い旅の間ずっと黙って深く考え込んでいました。小さな子ども3人を抱え、将来への不安で打ちのめされそうになっていたのかもしれません。

3日後にたどり着いたのは、アーカンソー州ローワー強制収容所。全米10カ所に建設された収容所のうち、最も東にあります。そこは有刺鉄線に囲まれ、見張り台にはいつも兵士がいました。収容された私たちに銃を向けてね。私はここを「プリズン（刑務所）・キャンプ」と呼びます。ただし、受刑者は誰一人としていませんでしたよ。裁判も何もなしに、投獄されたんですから。

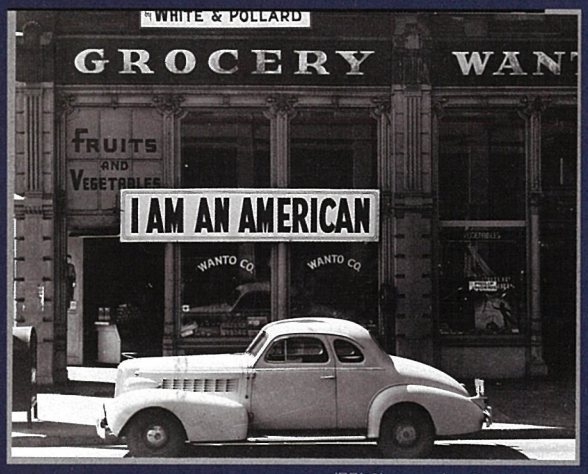
到着して割り当てられた部屋に入ってから、列車の中で沈黙を貫いていた父が一念発起したように周りの人の手助けを始めました。荷物運びを助けたり、到着したばかりの家族にベッ

Courtesy of George Takei

EPISODE II

日米開戦前の武井家の生活

ジョージ・武井の父はロサンゼルスでドライクリーニング店を経営、繁盛していた。結婚後は夫婦二人三脚で懸命に働き、アパート住まいから、豪邸が立ち並ぶガーナー通りに、寝室が二つある一軒家を購入した。「母はクローゼットに数え切れないほど帽子を持っていましたから、不自由ない生活をしていたと思います」とジョージ氏。日曜日の午後には、車でロス市内の名所、例えば有名な映画スターたちが集うアンバサダーホテルまで家族でドライブするなどした。「ウィルシャー通り沿いに芝生が広がって、通りから奥まったところにあるフロントまでドライブウエーがゆったりと続いていた。アールデコ様式の噴水には、ヌード姿の女性が横たわる彫刻があって、子ども心にすごいなぁと思ったよ」



撮影：Photographer, Dorothea Lange

私はアメリカ人だ!

真珠湾攻撃があった後、店の窓に掲げた大きな看板でアメリカ国民であることを示そうとしたものの、「西海岸から日系人は退去せよ」との命令を受けて、店は閉店を余儀なくされた。店主はカリフォルニア大学を卒業したマツダ・タツロー（Tatsuro Matsuda）さん。

撮影日：1942年3月
撮影地：カリフォルニア州オークランド

―幼い頃の楽しい思い出―

夜中にバラック（掘っ立て小屋）から出て、共同便所までの行き帰りにサーチライトが追ってくるのがうれしかった。僕のために、暗い道を照らしてくれたと勘違いして。

ドやマットレス、椅子を運んであげたり。同じ境遇に置かれた同胞が困っているのに、何もせずにはいられなかったんですね。父は当時39歳で日系一世の人の中では若かったんですが、日本語も英語も上手だったのでブロックマネジャーに選出されました。仲間の希望や苦情を米軍に伝えたり、米軍の要求をみんなに説明したりする、橋渡し役を務めたのですね。

例えば、ある夏の晩、豪雨になり、そこら中の道が泥沼状態で、お年寄りや足の不自由な人は大食堂やトイレに行けず困惑していました。父はすぐに倉庫から不要な木材を見つけ、他の青年たちと板張りを作りました。豪雨は今にも落ちてきそうな雷を伴ってとても怖かったですね。そんなふうに父はいつも不在だったため、僕たちは本当に寂しかったですよ。

ローワーでの一番の思い出は、僕の家族だけ特別に外出許可が出た時のこと。ジープに乗って収容所から外へ出てドライブ。父がどうやってそんなことを可能にしたのか……。母はその日のために、妹のレイコとおそろいのスカーフとドレスを作っていました。本当に楽しかったなぁ。そのドライブで、ホッグという大きな豚を育てている農家を訪ねましたよ。

ローワーに来て数カ月後に大事件が起きました。「忠誠心テスト」が課されたんです。中でも一番問題になったのが、質問事項27番の「米軍に入隊し戦闘地に赴き任務を遂行するか?」と、28番の「米国に無条件の忠誠を誓い、日本の天皇や他国政府への忠誠を拒否するか?」という二つの質問。父は日本国籍。小さな子ども3人を置いて出征などできません。母は米国籍でしたが、一家5人が離れ離れになることは絶対に回避したかった。ですから、僕の両親は2人とも、この二つの質問に

トゥーリーレイク強制収容所

全米のへき地10カ所へ建設された強制収容所のうち、最大で最も厳重に警備された施設。被写体となった女性たちの氏名は不明。いわゆる「No No Boys」とその家族が主に収容された。跡地は2019年3月12日にアメリカ合衆国ナショナル・モニュメントに指定された。

撮影日：1942〜45年頃
撮影地：カリフォルニア州最北部トゥーリーレイク

The U.S. National Archives／撮影者不明

「No, No」と答えました。それにより、いわゆる「No No Boys」として、最厳重警備のトゥーリーレイク強制収容所へ送還が決まりました。カリフォルニア州の最北、オレゴン州との境にあり、強制収容所の中では最大の約1万8,000人が収容されました。楽しいこともあったローワーとは異なって、トゥーリーレイクはいつも激しい騒乱状態で、みんなピリピリしていました。「奉仕団」と称する右翼グループが、別のグループの会員を襲撃したかと思うと、今度は被害に遭ったグループ側が個別行動している奉仕団を襲撃。常にうわさが飛び交い、バラックの住居では内緒話もできないので、両親は遠くにある別の地区まで長い距離を歩いて行って、顔見知りが全くいない場所で夫婦の会話をせざるを得ませんでした。

帰ってきたら何も残っていなかった

―― 戦争が終わり、強制収容はどうなりましたか？

1945年8月初め、母の両親、それに叔母やいとこが移住していた広島に、これまで見たこともない巨大爆弾が投下されたというニュースが所内に流れ、母は心配で居ても立ってもいられない状態でした。父はトゥーリーレイクでもブロックマネジャーを頼まれ、「日本降伏」を大食堂でみんなに伝えなければなりませんでした。「うそだ。日本が負けるはずがない！」と叫ぶ右翼青年がいる中で、勇気のいる役割だったと思います。

収容所の閉鎖が知らされ、職があるニューヨークやシカゴ

武井家

1910年代 ／ 20年代 ／ 30年代 ／ 40年代 ／ 50年代

1937年4月20日
ジョージ生まれる

1942年10月7日
一家はカリフォルニア州の自宅からアーカンソー州ローワー強制収容所へ入る

1958年
カリフォルニア大学ロサンゼルス校で演劇を学ぶ

米国・日本

1913年
「カリフォルニア州外国人土地法」（いわゆる排日土地法）成立。主に日系人らアジア系移民の土地所有が禁じられる

1924年7月〜
「1924年移民法」（いわゆる排日移民法）がアメリカで成立。移民制限の中で、日本からの移民が事実上禁止される。

1941年12月7日
ハワイに展開中のアメリカ太平洋艦隊と基地に対し大日本帝国海軍が攻撃を加える（真珠湾攻撃）。日米が交戦状態に突入

1942年2月19日
ルーズベルト大統領が大統領令9066号に署名

1945年4月12日
ルーズベルト大統領死去

1945年8月15日
日本が降伏。9月2日に連合国への降伏文書に署名して、日米間の戦争が終結

Wayne M. Collins, S.F., 2/25/42, Portraits from the Wayne M. Collins papers, BANC PIC 1978.156--A, The Bancroft Library, University of California, Berkeley.

EPISODE III

訴訟活動を行ったアメリカ人弁護士の功績

ウェイン・コリンズ(1899～1974)は強制収容の人権侵害に対して闘ったアメリカの公民権弁護士。日系アメリカ人の一人、フレッド・コレマツは収容に抵抗して逃亡を図るも、逮捕、収容される。コレマツはコリンズの弁護を得て、命令が憲法違反だとして控訴。最高裁判所まで争った後、敗訴(後の1983年北カリフォルニア州連邦地裁で有罪取り消し)。

その後、1944年には、収容者に国籍を放棄させて日本に送還する目的の法律が成立。5000人以上の日系人(うちトゥーリーレイク収容者が大部分)が混乱の中、強制されるなどして、米国市民権の放棄を自ら申し出た。

終戦後、状況が変わる。コリンズは市民権放棄＝剥奪は違法だとして、彼らへの承認を取り消す支援を開始。審査を受けた大半の日系人が日本への強制送還を直前で免れたという。この闘いは60年代まで続けられた。

また、戦時中、日本軍が連合国向けに流した対敵ラジオ放送でアナウンサーを務めたとされる日系アメリカ人女性(戦後アメリカに帰国)に対しても弁護を行った(いわゆる「東京ローズ裁判」―本誌縦組みSPEECH欄参照)。

―せっかく戻ってきたのに―
ロスへ戻ると、ホームレスが路上で寝起きする街、スキッドローの安ホテルが新居だった。妹のレイコは「ママ、おうちへ帰りたいよ!」

などの大都市へ向かう家族も多かったです。強制収容が実施されなかったユタ州ソルトレークシティに住んでいた父の兄が来るよう勧めてくれましたが、私の両親は長く住んだロスへ戻ることを決心。その年のクリスマス前に、先に父が単身ロスへ戻りました。その頃のロスで日本人を雇ってくれたのはアジア系の移民だけ。チャイナタウンの中国人が皿洗いとして父を雇いました。1946年の春、「住む場所と仕事が見つかったからロスへ来るように」と父から連絡があり、母、弟、妹と僕の4人はアメリカ政府が支給した列車の片道切符と、1人25ドルを手にロスへ向かいました。

新居はスキッドローというホームレスが住む一角にある安ホテルの一部屋。母が一番衝撃を受けていました。その後、父は職が無く困っている同胞を助けるため、職業あっせん所をリトル東京に開設。忙しくなりました。しかし、「一日も早くスキッドローの安ホテルから出たい」という母の強い要望から、父はメキシコ人が多く住むロスのイーストサイドでドライクリーニングの仕事を開始。何もかも一からやり直しとなったのです。

謝罪と賠償金請求の運動始まる

―― アメリカは戦後、公民権運動や人種差別解放運動を経験。その後、第二次世界大戦中の日系人強制収容について、連邦議会が調査委員会を設立し、武井さんはその公聴会で証言しましたね?

1966年
SFテレビドラマ「スター・トレック」に出演

1973年
ロサンゼルス市議会議員に立候補し落選

1981年7～12月
強制収容の実態調査の連邦委員会が設置され公聴会実施。750人以上が証言

1988年8月10日
レーガン大統領が「市民の自由法」(別称:日系アメリカ人補償法)に署名。強制収容を公式に謝罪

2005年
同性愛者であることを告白。偏見や差別をなくすための活動を開始

2013年6月28日
サンフランシスコ連邦高裁が同性婚禁止のカリフォルニア州の法律が無効と決定。賛成派勝訴の判決が確定

2022年9月
12万人を超える収容者の氏名を記載した台帳『Ireichō』が全米日系人博物館で公開

60年代 70年代 80年代 90年代 2000年代 2010年代

写真：REX/アフロ

ミュージカルで日系移民の歴史を伝える

経験を基にミュージカル制作にも力を注いだ。「アリージャンス ～忠誠～」は、真珠湾攻撃後に日系人一家に起こった苦闘の物語を描く。カリフォルニア州サンディエゴでの初演を皮切りに、ニューヨークのブロードウェー、ロンドン、日本でも上演した。

撮影日：2023年1月12日
撮影地：イギリス・ロンドン

強制収容時、私はまだ小さかったので、不自由なこともありましたが楽しいこともありました。収容に至った経緯や両親の葛藤、苦痛や困難など、あの頃は知る由もありませんでした。強制収容の全てについては、後に父から教わったのです。ティーンエージャーになった私は、夕食後に毎晩のように父と議論を交わしました。その時私たちが話していたのは、後に調査委員会が結論付けることになる「戦時中のヒステリー」「日系人に対する人種差別」「政治的な指導力の欠如」が原因だ、という話とほぼ一致するものでした。

父はまた、アメリカの民主主義が世界で一番優れていると言いましたが、参加型の民主主義は、支える人民次第であるからこその弱点もあることを教えてくれました。その失敗の典型例が日系人の強制収容だったということも……。

私は中学校では生徒会の会長になったり、青少年赤十字のボランティアとして活発に活動したりしました。また、選挙権を得る前から政治運動に参加し、日系人の権利向上に努める団体にも入りました。

そして1981年、私はロスで開かれた連邦議会の日系人調査委員会公聴会で証言をしたのです。そのかいがあって、1988年にレーガン大統領が公式に謝罪し、生存している元収容者1人当たり2万ドルの賠償金支払い案に署名。父は既に他界していましたが、母からは「父はきっとこの時が来ると信じていた」と聞きました。私はその賠償金を全米日系人博物館（ＪＡＮＭ）設立のために寄付しました。

私たちの使命に終わりはない

―― 書籍、演劇、講演など、日系人強制収容の悲劇を訴え続けていますね。80年余りたった今もその体験を語ることは武井さんにとってどのような意味がありますか？

撮影:Gidas Peteris(ピバリーヒルズRC)／協力:全米日系人博物館

Ireichō（慰霊帳）

南カリフォルニア大学が主導し、12万の収容者全ての氏名を記載する目的で記録を精査して制作された台帳『Ireichō』は、2022年、全米日系人博物館で初公開(写真左から、ジョージ・武井、インタビュアー中曽根牧子、ジョージ氏のパートナーのブラッド・武井)。

撮影日: 2024年8月29日
撮影地: カリフォルニア州リトル東京・全米日系人博物館

―毎晩のように続いた夕食後の父との議論の中で―

(父)アメリカの民主主義が一番素晴らしいんだ。
(ジョージ)父さん、よくそんなこと言えるね！あんなにひどい目に遭わされたじゃないか！
(父)ルーズベルトは多くの偉業もなした。でも過ちも犯した。そんな経験があっても、それは人民の民主主義で…人民は偉業をなせるから…

(父)この民主主義は人民のために存在している。民主主義には素晴らしい可能性もあるが、人間と同じくもろく崩れ去る可能性もあるんだ。

私は幸い、俳優、語り部、そして執筆という才能を授かりました。より広く、人々に日系人に起こったことを語り続けることが私の使命です。2年前の春、ロンドンで日系人強制収容を描いたミュージカル「アリージャンス ～忠誠～」を4カ月間上演しました。親が子どもに読み聞かせる児童書『My Lost Freedom』は昨年出版されたばかり。子どもたちが、過去に日系人に起こったことを自発的に調べるようになってくれることを願います。それ以前には、書籍『<敵>と呼ばれても』(日本語訳版あり)を共著しました。マンガ形式を採用したのは、若い世代に興味を持ってもらいたかったからです。

―― 日系人の中には、「強制収容は日本の真珠湾攻撃がきっかけになった。日本にも責任がある」と主張する人もいます。これについては、どう思われますか？

戦争に至るまでには、日本が置かれた状況があったでしょうし、日本は戦争責任を果たしたと思います。確かに、日本には特別な思いがあります。私の父は山梨県生まれで、母も広島で教育を受けました。私も大学時代に上智大学に1年間留学して、富士山の登頂を経験しています。また、これまでに何回も訪日しています。しかし私は米国市民です。日本の戦争責任がどうこうと言う以前に、日系人強制収容は米国政府がしたことです。米国が行った行為について、米国市民として、私はその責任を追及したまでのことです。

gettyimages／撮影：Suzi Pratt

性的少数者への理解促進

「シアトルプライド」は性的少数者（ＬＧＢＴＱ）の人権を考えるための大規模なパレード。6月はプライド月間として、ＬＧＢＴＱの人たちの権利を守るための啓発活動やイベントが世界的に実施される。武井氏はセレブとして参加し、前面に立った。

撮影日：2014年6月29日
撮影地：ワシントン州シアトル

私はゲイ

―― 2005年にゲイをカミングアウトし、人種差別だけでなく、性的少数者（LGBTQ）[2]への偏見に対処するため積極的に活動され、ヘイト団体への対抗キャンペーンも反響を呼びましたね。知名度を利用しての活動は社会を変える上で重要ですか？

あぁ、あの話ですね（笑）。相手に反論する場合、時にはユーモアが一番効果的。私たちはゲイであることに誇りを持つ「プラウドボーイズ」です。その誇りを表すために写真を撮ってＳＮＳで拡散しようと呼びかけました。すごい反響でした。

両親が日本にルーツがあるから、私は日系アメリカ人。これは変えることができない事実。同じように、自分がゲイであるということも変えることができない事実なんです。それが本当の私自身。あなたが日本人であるということを変えられないのと同様、それも変えられない真実なのだから。社会がそれを異常なものとしていることを除けば、何も異常じゃない。でも私は俳優で役を得たかったから当時は黙っていた……。近年、平等を求めるキャンペーンや、自分の立場に十分な強さと自信を持っている人たちがたくさん現れました。そして、2005年、州議会上下両院で同性婚を認める法案が可決。私は大喜びしましたよ。ところが、当時のアーノルド・シュワルツェネッガー知事が拒否権を行使したんだ！　私がＬＧＢＴＱの現実を積極的に社会に訴えるようになったのはそこからなんです

[2] ＬＧＢＴＱは、Ｌ＝レズビアン（女性同性愛者）、Ｇ＝ゲイ（男性同性愛者）、Ｂ＝バイセクシュアル（両性愛者）、Ｔ＝トランスジェンダー（生まれた時に割り当てられた性別にとらわれない性別の在り方を持つ人）、Ｑ＝クエスチョニング／クィア（自分の性のあり方が分からない、または決めていない人）などの性的少数者の総称。

ブラッドと私はプラウドボーイズ。
法的に結婚して12年。このキャンペーンで
私たちのプライドを取り戻すために立ち上がった
全てのゲイの人々を誇りに思います。
私たちのコミュニティーと仲間は、
憎しみに愛で応えました。
これ以上に素晴らしいことはありません。

Courtesy of George Takei

EPISODE IV

愛情あふれる写真で憎悪に対抗

2021年アメリカ合衆国議会議事堂襲撃事件に関与した極右団体「プラウドボーイズ」がSNS上で使っていたハッシュタグは「#ProudBoys」だった。一方、「プラウド」や「プライド」という単語はLGBTQコミュニティーの人々が自らを表現する言葉でもある。そこでジョージ・武井（SNSで1000万人近いフォロワーを持つ）がひらめいた。「同じハッシュタグを付けてお互いにイチャイチャしているところや、ゲイっぽい写真を撮って投稿するとどうなるだろう？」。このユーモアあふれる呼びかけに対し、賛同した同性愛カップルたちは次々に写真を投稿。愛をもって憎悪に対抗した。

> “年齢がいくつであろうと、
> どのような状況にあろうと、
> 人生で最高のときはまだこれからであり、
> 夜が明けるたびに最高のときを過ごすチャンスが訪れる[3]”
>
> —— ジョージ・武井／在日米国大使館制作ドキュメンタリー映像から

よ。日本の社会も、いつかそういう人たちの真実を真正面から認識する時が来ることを希望します。そう願っています。

—— 最後になりますが、民主主義の維持や平和構築を考えるとき、個人のレベルでは何ができるでしょうか？

平和とは、崇高な言葉ですが、言うはやすく行うは難し。平和にはいろいろな要素が含まれています。民主主義が成り立つには、高度な教育を受けた教養のある市民の存在が不可欠。市民が権利を主張するばかりでは民主主義は成り立ちません。知識を持って、民主主義を理想ではなく、実現していかなければならない。そういう意味で教育が大変重要です。先ほど、ロータリーでも教育のためにお金を出したり、奨学生を育てたりしていると聞きましたが、それは教養ある市民を育成するために極めて重要なことです。私は演劇の修士号を持っていますから大学で教壇に立つこともできます。執筆も大好き。ですから、米国の民主主義の大きな過ちを体験した者として、これからも証言し続けたいと思います。

スター・トレックを作ったジーン・ロッデンベリー監督は、私たちみんなが一緒に協力し合う姿を想像することをとても楽観的に考えていました。私もその楽観主義に共感するんです。私は再び世界が団結し、協調して働く姿を見たいと思います。今、民主主義は、正しい情報を判別できる教育を受けた国民の存在にかかっているといえるのです。

[3] 映像「米国大使館外交官・日米交流関係者が語る — 日系ハリウッド俳優・人権活動家ジョージ・武井」
アメリカ大使館・領事館 US Embassy Tokyo & Consulates in Japan www.youtube.com/watch?v=wP5iA1IjNDE

詳しい情報とご登録は
convention.rotary.orgから

リーダーシップ
スキルの向上

アイデアと意見の
交換

プロジェクトの
アイデア

インスピレーションあふれるロータリー国際大会に行こう

ロータリーのマジックがいっぱい

2025年6月21日～25日　カルガリー（カナダ）

Rotary　CALGARY 2025

あいさつ ロータリー研究会開催に寄せて

ＲＩ理事
水野　　功（東京飛火野ＲＣ）

初の横浜でのロータリー研究会開催には、第2590地区から絶大なる支援を頂きました。深謝です。準備として2024年３月より企画委員会と実行委員会を立ち上げ、検討を重ねてきました。研究会を通し、ステファニー・アーチック国際ロータリー（ＲＩ）会長テーマ「The Magic of Rotary」をベースに、会長イニシアチブ「平和構築」「行動計画の推進～３-Year Rolling Goals」、そして会員の浄財が「未来への投資」であり、大きな結実を得ていることに焦点を当て、各セッションリーダーに内容を委ね、企画いただきました。

本会議ならびに晩餐会、懇親夕食会に参加した皆さまには、ロータリーのネットワークの広がりと魅力を実感していただけるよう、心がけました。またご縁を得て、岸田文雄前内閣総理大臣、ロータリー財団学友で国連事務次長の中満泉氏から、平和の重要性と難しさをビデオメッセージとして頂きました。

さらに、駐日カナダ特命全権大使、イアン・マッケイ閣下には、青少年交換プログラムで派遣された山口県下関での体験を踏まえた、ロータリーへの感謝とプログラムの意義を熱く語っていただき、心から感謝しております。

研究会に先立ち、12月11日には「Heal the World」チャリティーディナーを開催し、スペシャルゲストスピーカーとしてパヴェウ・ミレフスキ駐日ポーランド共和国特命全権大使をお招きし、アーチック会長と親しく歓談タイム。全体的に、出演者にはなるべく、ロータリーにゆかりのある方々を、と心がけました。

本会議には約600人、歓迎晩餐会には420人、懇親夕食会「Irresistible Yokohama Night」には360人もの方にご参加いただき、招集者として大変うれしく思います。ＲＩ会長、ロータリー財団管理委員長ご夫妻を含め、参加された皆さまにとって、得るところの多い研究会であったことを願ってやみません。

基調講演Ⅰ THE MAGIC OF ROTARY

ＲＩ会長
ステファニー A. アーチック（アメリカ・ペンシルベニア州マクマリーＲＣ）

ロータリーは、人の生き方を変え、地域社会を良くします。一人ではできないことも、協力すれば大きな成果が得られます。そして奉仕をすることで、他者の人生を変えるだけでなく、奉仕活動を通じ、私たち自身も成長し、良き方向へ変化します。

しかしこの30年、ロータリーは会員数の減少という大きな課題を抱えてきました。そもそも仲間がいなければ、奉仕活動も協力してできません。そこで、ロータリーの未来を守るため、ＲＩ行動計画委員会がさまざまな調査・分析を行ったところ、私たちが今、改革すべき優先事項が明らかになりました。

インパクトの拡大：ロータリーの活動とは、人々の人生にどれほどの影響を与えられたのかが重要です。そうした活動ができるクラブには、人が集います。例えば、「子どもたちに辞書を寄贈する」。辞書を大量に贈ればいいということではありません。子どもたちの読み書き能力が向上し、未来の可能性が広がることがこの寄贈の真のインパクト。ロータリーのプロジェクトは、地域社会の真のニーズを満たし、長期的な変化をもたらすものでなければなりません。

基盤の広げ方：私のクラブも一時は成長が停滞していました。しかし、例会を昼から朝に変更することで、教師や医師、忙しい職業人が参加できるようになり、さまざまな個性を持つ新しい会員の参加が増えました。ロータリーは時代の変化に適応し、従来とは異なる形で関わりたい人々にも門戸を開くべきです。

会員の参加促進：会員が自主性を持って、生き生きとクラブに参加できるよう、自分のクラブの状況や活動について、定期的に意見を交換することが重要です。会員の期待や関心にクラブは応えているか？　プロジェクトが意義あるものになっているか？　一つ一つ確認していくことで、一人一人の参加意欲が高まります。全会員に有意義な活動と成長の機会を提供することがクラブの魅力を高める鍵です。世代や立場に応じた貢献方法を提供することで、全ての会員がプロジェクトに参加しやすくなります。

柔軟性の向上：ロータリーの伝統は大切ですが、現状に対し柔軟に変化する必要があります。ＲＩの委員会も整備され、より効率的に活動を進められるようになりました。テクノロジーを駆使し、クラブの構成や運営方法を見直すことで、時代に即した組織運営が可能となります。

これらの優先事項をロータリーの行動計画として実行すれば、ロータリーはより魅力的で力強い組織に進化できるでしょう。クラブを改善し、会員を増やすためのツールとして活用し、より良いクラブ体験をつくり上げましょう。会員維持には、クラブが楽しく有意義で、成長の機会を提供することが不可欠ですから。

併せて、公共イメージ向上も重要です。一人一人がロータリーでのストーリーを語れば、多くの人にロータリーを知ってもらうことができます。隣に座った人に、ロータリーがいかに人生を豊かにし、有意義な活動に参加できる組織であるかを伝えましょう。

ロータリーは才能豊かな会員を擁する素晴らしい組織なのに、毎年多くの会員が退会し、成長が停滞しています。クラブ文化を見直し、入会したくなる、あらがえなくなるような魅力ある環境をつくりましょう。

ロータリーのマジックは、私たち自身の手で生み出されます。奉仕活動を通じて人々の人生を変え、地域社会を改善し、自分も成長する。それがロータリーの真の価値。そんな私たちのストーリーを語り、手を取り合い、持続可能な変化を生み出し続けましょう。1905年の創立以来、ロータリーは世界中でそのマジックを広げてきました。このマジックを皆さまが未来へとつなげていくのです。

基調講演Ⅱ THE MAGIC OF THE ROTARY FOUNDATION

ＲＩ財団管理委員長
マーク D. マローニー（アメリカ・アラバマ州ジケーターＲＣ）

ロータリー財団は、私たちロータリーが、目標や夢に向かって突き進むための原動力であり、組織の活動を支える「エンジン」として、重要な役割を担っています。

アーチック会長が述べた「マジック」、魔法のような力を体現するのがロータリーであり、その魔法を次々と現実のものに変えていくのが、財団の使命です。

私が初めて「マジック」に触れたのは 1985 年、アメリカ・カンザスシティー国際大会に初めて参加した時。30 歳を迎えたばかりで、次年度、クラブ会長を務めることになった私にとって、この 1985 年の経験は忘れ難いものでした。世界各地から集まったロータリアンと出会い、外見や文化が違っても、皆が同じ希望と願いを共有していると感じました。そして、ポリオワクチンの開発者であるアルバート・セービン博士の講演に感銘を受け、ワクチンを全ての子どもたちに届ける重要性を強く、意識するようになりました。

その後、クラブ会長時代にはナイジェリアから、当時の財団プログラム・ＧＳＥ（研究グループ交換）チームを受け入れ、翌年には私もチームリーダーとして現地に赴きました。そこで目にしたのは、ポリオに罹患（りかん）した子どもたちの現実でした。経済状況や国境、宗教を超え、この病気が多くの人々を苦しめていることを肌身で感じ、ポリオ根絶に取り組む決意を固めました。この経験は、ロータリーの力を実感すると同時に、私自身の人生観を変えるものとなりました。

ポリオ根絶、平和構築や安全な水の供給、教育支援、災害後の復興支援など、インパクトを与えるロータリー活動の支えとなるのが財団への寄付です。2024 － 25 年度、ロータリー財団の寄付目標は 5 億ドルで、2025 年までには、20 億 2,500 万ドルという恒久基金の目標達成も目指しています。この目標達成に向け、地区リーダーには五つのマジックの実践が求められています。

第一に個人の寄付。年度末までに年次基金や恒久基金への寄付を行い、リーダー自身が模範を示しましょう。リーダーのコミットメントが、地区全体の活動の基盤となります。第二に自動定期寄付。その利用者を増やし、寄付文化を根付かせましょう。第三、ポリオプラスへの支援体制を強化し、地区レベルでの取り組みを促進しましょう。第四、ポール・ハリス・ソサエティ会員を増やし、継続的な支援を奨励してください。第五、地区の恒久基金を支えるためのレガシーイベントを開催し、さらなる寄付の拡大を目指しましょう。

私自身も、これらの活動に積極的に取り組んできました。妻のゲイと共に、毎年年次基金に寄付を行い、ポール・ハリス・ソサエティのメンバーとしても活動しています。また、環境保護のための冠名基金を設立、地区のレガシーイベントでは 270 万米ドルを集めることができました。

ロータリーは、ザンビアでのマラリア根絶、ナイジェリアでの母子の死亡率減少、エジプトでは子宮頸がんの撲滅に取り組んでいます。他にも自然災害により、壊滅的な被害を受けた地域社会の復興を支援しています。このような多彩な取り組みを可能にするのが、ロータリー財団への強力な支援と、ロータリアン一人一人の情熱です。既に「魔法の杖」を手にしている私たちは、それを振ることで、地域社会や世界に変革をもたらせます。起きた「マジック」は、私たちの生涯を超え、未来の世代にまで続いていくのです。

ロータリー財団がロータリーの活動を支えるエンジンだとすれば、そのエンジンを動かす燃料は、私たち一人一人の行動と支援です。共に世界をつなぎ、良いことを行い、ロータリーの「マジック」をさらに広げていきましょう。そして、次年度の目標達成に向けて、全力を尽くしていくことを誓い合いましょう。

第1セッション 未来への投資

モデレーター
第１地域ロータリー財団地域コーディネーター
飯村　慎一（宇都宮 90 ＲＣ）

第１セッションは、「未来への投資」。ロータリーにおける“投資”は、明確に定義されているわけではありませんが、リターンの対象物は、いわゆるお金ではなく人。当セッションでも“人を育てる（教育）”という視点を定め、三部構成で進めました。

第一部は、戦争で親を失ったウクライナの子どもたちへのまなざしです。ロータリーは、子どもたちを育成するプロジェクトへ「補助金」という形で、将来への夢を描けるように、その人生が豊かに実現するように、投資しています。討論会では新井和雄第 2820 地区ロータリー財団担当カウンセラー・総括委員長を座長とし、パネリストは第 2510 地区の出村知佳子ガバナー（札幌北ＲＣ）、川上美智子／水戸好文ＲＣ会長、第 2680 地区の阪本渚子元ローターアクト地区代表、そしてつくば学園ＲＡＣの中島雅紘会長が登壇。平和構築についての重要性を多角的に話し合い、希望の光を子どもたちへ与えるため、支援の具体例の報告が続きました。

第二部は、財団学友へのまなざし。2012 － 13 年度、最後に施行されたロータリー財団国際親善奨学生・宮崎彩さんが報告。イギリスのヨーク大学に留学し、文化遺産保全制度を学んだ後ユネスコで勤務。フランス、ペルー、カンボジアなど世界各国で活躍後、今は東京大学特任准教授として教壇に立たれています。

第三部は、平和構築がもたらすインパクトへのまなざし。ロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーターの宮崎陽市郎ファシリテーター（東京三鷹ＲＣ）による、国際基督教大学（ＩＣＵ）のロータリー平和センターの取り組みについてのパネルディスカッション。パネリストは、センター長の新垣修ＩＣＵ教授と平和フェロー第 22 期生のナナサエル・トーマスさん。新垣教授はセンターは実践を重視していること、平和は願うのではなくつくり出すもの、と述べました。トーマスさんはＮＡＴＯで陸軍将校として勤務後、軍事力の限界を感じ

退役。平和センターでは国際人道法などを学びつつ、戦場で人々をどう支援できるか、戦争がもたらす痛みをどう癒やしていけるかを、探っています。

ロータリーの“投資”は、良き未来を招くと確信しています。

国内外のリーダーが語る平和構築への思い

前総理・岸田文雄氏と国連事務次長の中満泉氏が、動画で特別メッセージを寄せました。広島出身でもある岸田氏は、緊迫する世界情勢の中、「相互理解の促進や人材育成を通じた平和構築へのロータリーの貢献と努力に心から敬意」と、世界平和フェローシップなどの事例を挙げロータリーを称賛。国際協調への努力を続ける平和国家・日本の政治家として、目的を共有するロータリーの活動に期待を寄せました。一方、財団学友の中満氏は、全世界の核兵器が数十年ぶりに増加に転じる可能性に言及。原爆投下80年の節目となる2025年、記憶継承の重要性と、市民と社会が一体化した核廃絶への努力の必要性を訴えました。

第2セッション Action Planの推進

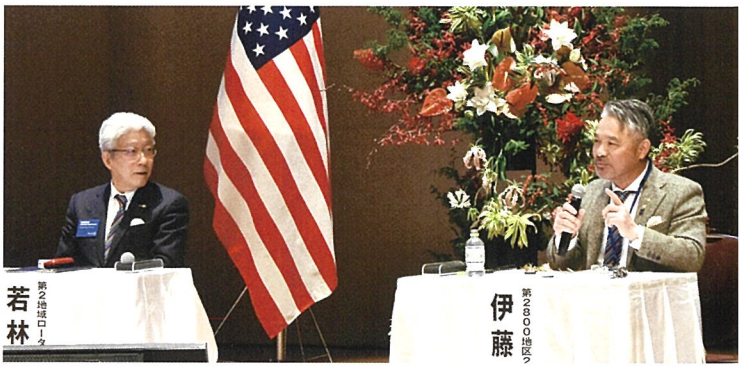
第３地域
ロータリーコーディネーター
中川　基成（あすかＲＣ）

行動計画推進リーダー、ロータリーコーディネーターと補佐、そしてパストガバナーなど総勢12人が登壇する二部構成で、第２セッションは進行しました。

第一部は、桑澤一郎ロータリーコーディネーター（茅野ＲＣ）によるゾーン１Ａ、２、3、すなわち日本をカバーするジャパンポータルサイト（ＪＰＳ　www.japanrotary.club）の紹介から。日本のＲＩ理事も推奨しているサイトで、ＲＩの新用語なども日本の現状に沿って具体的に解説されており、すぐ実働が可能となります。アクションプランについても、各クラブのレベルに落とし込み使えるよう、ステップ１～５に整理してありますので、ご活用いただければ。

続いて、森川昭正（仙台宮城野ＲＣ）氏、安行英文（三田ＲＣ）氏、永田壮一（熊本城東ＲＣ）氏ら３人の行動計画推進リーダーが、各地区での取り組みを具体的に発表しました。クラブの未来を語り合うためのツール活用事例、グループに分かれて、地域社会の課題や機会を検討し合う事例、ローターアクターを行動計画推進リーダーに任命し、クラブ活性化を図る事例など、アクションプランを模索しつつも着実に進めていく、意欲的な事例が紹介されました。

第二部は、第２地域ロータリーコーディネーター（甲府ＲＣ）野口英一氏による日本の会員数現況報告後、アクションプランを採り入れ、会員増強や変革につなげたクラブや地区の事例の発表です。第３地域ロータリーコーディネーター補佐（大分キャピタルＲＣ）大森克磨氏は、たった１人となった加世田ＲＣが、20人以上のクラブに化けた“奇跡の復活”をユーモラスに語り、第２地域ロータリーコーディネーター補佐（東京麹町ＲＣ）の若林英博氏は、地区として150人の純増を果たしたアイディアルな手法、第2800地区の伊藤三之直前ガバナーは「ガバナー賞受賞基準クリア＝増強成功」となった山形北ＲＣを紹介。再び野口英一氏から、第2630地区の衛星クラブ設立過程のYouTube配信について、解説がありました。



アクションプラン推進による持続可能な良い変化の芽生えを、クラブや地区に感じました。出席者が事例を各地区に持ち帰り、地域のカラーに沿う活性化、新クラブ結成に生かしてくれるよう、期待しています。

Irresistible Yokohama Night

初来日のアーチック会長、ランスフォード財団管理副委員長、横浜初滞在というマローニー財団管理委員長夫妻もすっかりリラックスした様子でパーティーに出席。開会のあいさつでジョークを連発し、会場を盛り上げました。さらに石川彌八郎ガバナー（第2580地区）のブルースハープと米山学友の王蓉さんの二胡（にこ）の共演で、会場はライブハウス化。もはや恒例となったダンスタイムが待ちきれずに早々とステージ前方に出てくる会員も。「あらがえない」ロータリーの魅力を再認識しました。

第3セッション ロータリーDEI＋Bについての本音トーク

第１地域
ロータリー公共イメージコーディネーター
寺嶋　哲生（柏ＲＣ）

ファシリテーターとパネリストの皆さん

ファシリテーターは第2510地区・出村知佳子ガバナー（札幌北ＲＣ）が務め、パネリストとして第2830地区・花田勝彦ガバナー（五所川原ＲＣ）、第2720地区・三村彰吾ガバナー（熊本りんどうＲＣ）、東京ワセダＲＡＣのシュードルクロエまいこ会員の３人が登壇しました。同じ1968年生まれの現役ガバナー３人と現役ローターアクターが熱い思いを語りました。

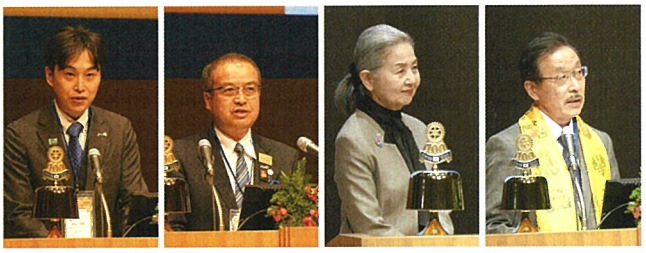
初めに、出村氏は、「ＤＥＩ＋Ｂ（Belonging　帰属意識）、この四つの要素は、私たち一人一人の心に宿る大切な星のような存在です。その星を輝かせ、つなげていくことでより良い未来を照らしていく、そんな可能性を一緒に考えたい」と呼びかけました。

次いでパネリストたちは「多様性を強く感じた瞬間」「公平性を実感した経験」「インクルージョンを感じた経験」として、「パキスタンでのワクチン投与活動の経験」「クラブ幹事を務めて初めて、クラブに居場所を得たと実感した思い出」「学生時代に憲法を学んだ時に感じた特別な体験」と語りました。

それらを受けて出村氏は、「『四つのテスト』と行動計画を胸に、ＤＥＩ＋Ｂの光で次世代へ希望のマジックの星をつないでいきましょう」と総括。ファシリテーターの呼びかけに応じて会場の全員が両手でハート型の「Ｂ」を作り、フィナーレを迎えました。

ロータリーのマジックストーリー

今回初めて公共イメージコーディネーターと『ロータリーの友』がコラボし、「私のロータリーのマジック」を全国から募集しました。48あった応募の中から代表で、杉山吉彦さん（下館さくらロータリー衛星クラブ）、嶋村文男さん（東京東江戸川ＲＣ）、宮里唯子さん（茨木西ＲＣ）、九門康之さん（川崎ＲＣ）が登壇（『友』2025年1月号参照）。きっかけは、友人、ロータリー財団、奉仕プロジェクトなどさまざまですが、ロータリー会員であればこそのマジックが披露されました。続いて、駐日カナダ特命全権大使イアン・マッケイさんが登壇、元青少年交換学生として山口に留学していた経験をマジックとして語りました。（『友』2024年8月号参照）。



オープンフォーラム

研究会2日目もいよいよ大詰め。進行役に水野功ＲＩ理事、パネリストにアーチックＲＩ会長、マローニーロータリー財団管理委員長、ラリー A. ランスフォード財団管理副委員長、三木明財団管理委員を迎え、質疑応答が行われました。登壇者は、研究会初日に集められたロータリアンからの質問に、真剣なまなざしで答えていきました。

「行動計画と平和への願いをどのように調和させるべきか？」との質問にアーチック氏は「ロータリーはそもそも世界理解や平和を求める組織」であり、重点分野に注力する意義や平和センタープログラムの成長計画などに触れつつ、「平和は追求され続けるべきトピックである」と答えました。

また、「ローターアクトクラブの地位向上についての意見を聞きたい」との質問に対して、2018－19年度にＲＩ会長エレクトであったマローニー財団管理委員長は「プランがないまま、地位だけを向上させてしまった」と認めつつ、「ローターア

第4セッション ポリオ根絶に向けて ～ポリオデーイベント～

第２地域
ロータリー公共イメージコーディネーター
神野　正博（七尾ＲＣ）

講演する尾身茂氏

世界ポリオデー活動事例

第1地域：「世界ポリオデー2820」
第2820地区ガバナー
大髙　司郎（高萩ＲＣ）

第2地域：ポリオ根絶への理解を深め、行動しよう！
～ロータリー、そして地域社会の方々とともに～
第2750地区ポリオプラス委員会委員長
尾関　　勇（東京愛宕ＲＣ）

第3地域：「市民レガッタ」から世界へ！「ポリオ根絶」
第2690地区2022－23年度ガバナー補佐
古志　勝俊（松江南ＲＣ）

国際的な公共保健イニシアチブとして、ポリオ根絶に向けて史上初、かつ最大規模の取り組みを繰り広げているＲＩ。ステファニー・アーチック会長が、「ポリオに関しては、問題は『根絶されるのか』ではなく、『いつ根絶されるか』ということです」と述べているように、私たちは、「あと少し」の根絶に向かって、歩みを止めるわけにはいきません。その思いを込めたセッションとなりました。

セッション冒頭、水野功ＲＩ理事は、2023年の研究会に引き続いてお越しいただいた医学博士・尾身茂氏にロータリー・ポリオ根絶大使（Rotary Polio Eradication Ambassador）の委嘱状を授与。今後も、ロータリーへ精神的支援をいただけるようお願いしました。

その後、尾身氏は「ポリオ根絶への道～これまで、これから」と題して講演。これまでの困難を克服してきた強いリーダーシップに関するお話や、課題解決のための道筋の立て方、「ここで手を緩めてはならない理由」を熱く語っていただきました。

続いて、各地区のガバナー、ポリオプラス委員長などが活動事例発表を行いました（右上参照）。いずれも、ロータリーファミリーや地域住民に対して、ポリオ根絶の重要性と意義というインパクトを与える事例でした。

「世界ポリオデー・フォトコンテスト2024」は、応募93作品から事前に選考を行い、８作品を受賞作として選出。会期中にＲＩ会長賞、ＴＲＦ管理委員長賞、ＲＩ理事賞、ＴＲＦ管理委員賞を選び、それぞれ役員が直接受賞者へ賞状を送りました。※受賞作は次ページ参照

クターに地区の委員会へ入ってもらい、異なる世代間でアイデアを交換することが重要」と述べました。

ＲＩ役員たちの真摯（しんし）な回答が続き、当初予定していた時間をオーバー。白熱したフォーラムとなりました。

フォトコンテスト 受賞作発表!

RI会長賞

#11 チアリーダーの「あと少し」
仙台育英学園高等学校の文化祭でチアリーディング部員がポリオ根絶を訴え。生徒たちにとってもポリオの恐ろしさと根絶の意義を学ぶ好機となった。

仙台東ＲＣ／仙台育英学園高等学校ＩＡＣ

#16 岸和田だんじり祭 ポリオ根絶イベント 2
岸和田だんじり祭は例年 60 万人近くを動員するビッグイベント。そこでロータリー活動をＰＲしようと大きな広告を作って寄付活動を企画。岸和田・岸和田東・岸和田南ＲＣで二次元コード付きのうちわを 300 枚配布しました。

岸和田東ＲＣ・藤井秀香

#41 縄文の祈り
「ポリオ根絶チャリティー登山」の一場面。作品には、自然と共生し互助の精神を大切にしてきたとされる縄文文化とも重ね合わせ、世界平和への願いを込めました。

仙台奥羽ＲＣ・宗像靖彦

RI理事賞

#57「世界ポリオデー 2820」
茨城県笠間市の笠間稲荷神社内で記念撮影。地区内合同で世界ポリオデーを開催。600 人を超える規模のロータリーファミリーが参加した。

高萩ＲＣ・大髙司郎

TRF管理委員長賞

#50 空を越えて世界の子供たちにポリオ根絶への願いを
千葉県成田市・成田山の「成田弦まつり」で地区としてイベントを開催。ポリオ根絶を啓発するため、オリジナルうちわを 2,000 枚配布。世界平和を願う象徴でもある平和大塔前での 1 枚。

富里ＲＣ・松永達人

TRF管理委員賞

#22 想いをこめて　END POLIO NOW
「成田弦まつり」（#50 と同じ）で、書道家・桜風さんがポリオ根絶の思いを込めたパフォーマンスも。一筆一筆、力強く書かれた瞬間の写真です。

松戸北ＲＣ・小椋伸也

#83 ポリオを撃つ
島津家発祥の地・都城で行われる「島津発祥まつり」に協賛。山ノ内文治パストガバナー（鹿児島ＲＣ）率いる鉄砲隊が、ポリオを撃て！の掛け声とともに火縄銃のごう音をとどろかせイベントを盛り上げた。

鹿児島西ＲＣ・深尾兼好

#74 パキスタンにて
ポリオワクチン投与を拒否した子供が感染発症　父親の後悔
高速道路、駅、家屋の戸別訪問で 5 歳未満の未接種児童を見つけ、ワクチンを投与。活動中、発症者の情報が届き、会った男の子の脚は曲がっていました。父親の表情に反省と後悔の念が出ていました。

高田ＲＣ・高阪光一

11
DEC.

アーチックRI会長 ICUを訪問

ロータリーのマジック

第53回ロータリー研究会出席のため初来日した、ステファニー・アーチック国際ロータリー（ＲＩ）会長は2024年12月11日、多忙な日程の中、時間を割き、ロータリー平和センターの一つ、国際基督教大学（ＩＣＵ）を訪問。世界の平和構築と紛争解決のために研究を続ける平和フェローたちと意見を交わし、彼らの学ぶキャンパスを巡りました。

ＡＭ10：00～
学内ツアー＆茶道部によるおもてなし

ＡＭ10：45～
平和フェローとの意見交換会

ＰＭ0：00～
昼食＆学部生による琴演奏

ＩＣＵ初代理事長を務め、日本人初のＲＩ会長にもなった東ヶ崎潔ＩＣＵ名誉理事長。校舎内に飾られた氏の写真を囲む、アーチック氏とＲＩ会長エイドのトーマス・ガンプ氏

平和フェローたちの発表を聞いた後、自らの思いを伝えるアーチック氏

昼食の時間にも平和フェローたちの声に耳を傾けていた

short interview

――初めての日本の印象は？

まだ到着から１日もたっていないので、あまり話せることはありませんが、日本のロータリー関係者の皆さんの人柄に触れ、素晴らしいものを感じています。

――ＩＣＵの印象は？

元々教育に携わってきた者として、多くのキャンパスを目にしてきましたが、それらと比較しても、とても良い環境です。何より、ＩＣＵはロータリー平和フェローシップの開始当初から参加しており、それは学内のプログラムが充実していることの証しでもあります。

――平和フェローたちの印象は？

今日、フェローたちの話を聞いて、彼らが情熱を持って学んでいることを実感できました。

――平和への思いについて一言

ロータリーが誕生する以前から、人々は平和を望んできましたし、ＲＩの最大の目標でもあります。ＲＩとしては、さまざまな機会を通じて平和構築を支えていきます。

END POLIO NOW

10月24日の世界ポリオデーにちなんで、日本各地でポリオ根絶への取り組みが行われました

@荒川区立宮前公園　東京荒川RC

３年連続で世界ポリオデーを開催。荒川区を中心に各種地元団体から約2,000人が参加し、ポリオ根絶のためのＰＲを行った。ティラノサウルスの着ぐるみに身を包んで競走する「チャリティー・ティラノサウルスレース」では、参加費をポリオ根絶募金に寄付。地元ケーブルテレビでその様子が放送され、ロータリーのポリオ根絶活動を地域社会に発信できた。

（10月20日　第2580地区　東京都）

@ 新幹線岐阜羽島駅大通り　羽島北高校ＩＡＣ／羽島ＲＣ

「ぎふ羽島駅前フェス2024」で、ポリオ根絶募金ブースを設置。約3万5,000人の来場者の中、インターアクター21人がのぼりを持ち寄付を呼びかけ。ポリオが何か分からない生徒も交じり、最初は戸惑いながら声も小さく、うまく寄付してもらえず。そこで、生徒自らポリオを理解し、根絶する大切さを学び、寄付を促すアイデアを話し合うと、徐々に寄付が増えた。終了時間が近づく頃には、呼びかけの声も大きくなり、一生懸命な姿が多くの来場者の目に留まった。その結果、10万1,651円が集まり、インターアクターたちは満足感を覚え、活動への意欲を見せた。募金はロータリー財団へ寄付した。

（11月10日　第2630地区　岐阜県）

@防府駅～湯田温泉　防府ＲＣ／防府北ＲＣ／防府南ＲＣ／山口ＲＣ／山口県央ＲＣ／山口南ＲＣ

「ポリオ根絶チャリティウオーク」を開催。会員とその事業所職員や家族を含め59人が参加し、防府駅を出発、大型店舗ゆめタウン山口にて街頭募金活動を実施。地元テレビ局に報道され、多くの方にポリオに関する情報発信ができた。ゴールは、湯田温泉の地・かめ福オンプレイス。約21kmのウオーキングに参加者はへとへと。街頭募金で集まった寄付金6万3,783円は、ロータリー財団に寄付した。

（11月4日　山口県）

@ 鮎滝カントリークラブ　高松西ＲＣ

第16回香川県ＲＣ親睦ゴルフ大会を開催。今回はポリオ根絶キャンペーンを掲げ、参加者に募金を依頼した。当日は香川県内全クラブから156人が参加。受付時、当クラブの米山奨学生・叶娟娟（ヨウエンエン）さんも加わり、ポリオ根絶のベストを着て参加者に寄付をお願いし、17万3,010円が集まった。大会は、珍プレー好プレーの連続で、他クラブ会員と笑顔で交流が図られた。優勝は女性会員で、表彰式は一段と盛り上がる中、無事に閉会した。

（11月4日　第2670地区　香川県）

@ 津軽鉄道　第 2830 地区

津軽鉄道ポリオジャックを開催。第１部では、五所川原市の観光・市民交流施設・立佞武多（たちねぷた）の館でロータリーの活動を紹介するパネル展示を行い、会員も END POLIO NOW のロゴ入りＴシャツで参加。地区公式キャラクターのロータくんとジャズ演奏やねぷた囃子（はやし）で盛り上がり、多くの市民から寄付があった。第２部、いよいよストーブ列車が出発。石炭ストーブが燃える車内ではポリオ患者による講演が行われ、高齢のため参加できなかった佐藤きむさんのポリオ罹患（りかん）経験や、無医村での家族との別れなども代読された。（10 月 20 日　青森県）

@菱刈まごし舘　大口ＲＡＣ／大口明光学園ＩＡＣ

地元・鹿児島県伊佐市で開催されたイベント「伊佐にヒカリプロジェクト 2024」で、ポリオ根絶チャリティー募金活動を実施。気温が低く、風も強い厳しいコンディションの中、４時間にわたり声を張り上げ続け、一生懸命寄付を呼びかけた。その結果、多くの市民から気持ちが寄せられ、合計で１万 1,141 円の寄付が集まった。ポリオ根絶への関心を高めると共に、地域住民とのつながりを深める機会となった。（11 月 30 日　第 2730 地区　鹿児島県）

@蔵本通り　呉南ＲＣ／清水ヶ丘学園ＩＡＣ

呉まつり協会主催「2024 くれ食の祭典」で「ポリオ根絶フード募金」活動を行った。呉南ＲＣのブースではカキ＆帆立（ほたて）蒸しセットやカキフライ、カキ飯を販売、清水ヶ丘高校のインターアクターは、ポリオ根絶の説明チラシや環境保全を呼びかけるポケットティッシュ、風船を配って周知を図り、寄付を呼びかけた。準備した食材は完売、募金箱にもたくさんの寄付が集まった。大勢の来場者の中での活動で参加者たちには疲労が少し見られたものの、みんな笑顔で無事終了。集まった寄付金は、ロータリー財団に寄付した。（11 月 10 日　第 2710 地区　広島県）

@ 陸奥湾（野辺地町）　十和田八甲ＲＣ

当クラブの釣り同好会が主体となり、十和田フィッシングクラブをオブザーバーに、２回目となるポリオ根絶チャリティー釣り大会を開催。対象魚はマダイで、総重量とサイズで競い合い。釣れたり釣れなかったり、思わぬ魚が釣れたりと各人大盛り上がり。懇親会では釣った魚を店で料理してもらい、釣りたての新鮮な魚を堪能しながら、おいしいお酒で交流。友情を大きく育んだ上に、ポリオ根絶に７万 4,020 円の寄付金が集まった。ロータリーを地域社会に広める有意義な大会となった。（10 月 6 日　第 2830 地区　青森県）

@ 深谷市中山道　　深谷東ＲＣ

深谷市の秋の風物詩・深谷市産業祭でポリオ根絶のバザーを実施。２回目の出店となる今回も、会員より集められた超高級品や日用雑貨、企業からの協賛品など、たくさんの商品が所狭しと並び、飛ぶように売れていきました。来店者にはポリオの説明やロータリーの活動を伝え、良いＰＲになりました。

（11月9日　第2570地区　埼玉県）

@ 祁答院（けどういん）ゴルフ倶楽部　　大口ＲＣ

第３回「大口ＲＣ ポリオ根絶運動 チャリティーゴルフ大会」を開催。参加費から1,000円をロータリー財団に寄付するイベントで、ポリオそのものと、ロータリーのポリオ根絶活動について知ってもらい親睦を深めるため、一般の人も参加できるオープン形式を採用。当日は一般参加者３人、川内ＲＣ会員３人が参加し、ゴルフを楽しみながらロータリーやポリオ根絶活動について理解を深めた。ロストボール１個につき100円、バンカーに入るたびに100円を寄付するなど、参加者独自の方法でチャリティーに協力した結果、寄付金は合計５万5,000円となった。終了後「次回もぜひ参加したい」という声を頂いた。

（11月27日　第2730地区　鹿児島県）

@美幌神社通り　　美幌ＲＣ

「美幌ふるさと祭り」では、クラブのＰＲとポリオ根絶を目的としてラーメンやフランクフルト・ソーセージ、ヨーヨー釣りの手作り屋台を出店した。売り上げの一部をロータリー財団に寄付。その他にも美幌町役場にて15万円相当の生理用品4,000枚弱を町教育委員会へ寄贈。経済的な理由で、生理用品を購入できない小中学生へ寄付される。

（9月4～6日、11月29日　第2500地区　北海道）

@比企丘陵　　第2570地区

日本最大の国際ウオーキング大会・日本スリーデーマーチに、五十幡和彦ガバナーがポリオ根絶を目的に参加を呼びかけ、約240人の会員が応じた。大会には世界中から４万6,000人以上が集まり、５～50㎞の六つのコースから一つ選び、３日間歩行。参加会員全員がEND POLIO NOWのロゴ入りＴシャツを着て歩いた。道行く人から「ロータリーって何？」「ポリオは根絶してないの？」と話しかけられ、ポリオ根絶におけるロータリーの認識向上と役割を果たした。

（11月2～4日　埼玉県）

公式訪問×職業奉仕＝うれしさ＋課題＋X？

第2500地区　北海道東部
小谷典之 ガバナー（帯広西ＲＣ）

当地区は北海道、実に広大。ガバナー公式訪問も「旅」となります。2カ月半にわたり64クラブを訪ねる旅は、北は稚内、利尻島、礼文島、東は根室、釧路……。車の走行距離は8,200km超に。そこで長旅は効率的にと、昼例会と夜間例会の間の時間に、泌尿器科医として中学・高校での講演会「性感染症と避妊の大切さ」を企画。以前、医師会メンバーとして帯広市内の中学校で講演した際、教育委員会から褒められた自信（？）もあり、何より、職業奉仕の観点から発案してみたのです。

大半の中高生にとって、性は興味の対象であるにもかかわらず、親や先生とは話しにくいデリケートな話題。その結果、正しい知識を得にくい。一方、厚生労働省からは性教育をもっと積極的に、と教育現場へ指導があるのですが、予算も乏しく現場は困惑しているのが実情。

講演会では、中高生の性行為に対する意識調査結果、性感染症の怖さを解説し、「性行為時、必ずコンドームを使用すること」「それにより性感染症に罹患（りかん）する可能性も低くなり、望まない妊娠も回避できる」と説き、全生徒が真剣なまなざしで話に聞き入ってくれた印象を持ちました。性感染症や人工妊娠中絶に対する恐怖、性感染症で不妊症に移行する可能性など、とても勉強になった、とのアンケート感想ももらいましたが、併せて何と、長い道中を共にした副幹事が同様の感想を漏らし、親子一緒での講演がより効果的かも、など今後の課題も発見。「旅」は若年層への性教育の大切さを改めて実感する大変良い機会にもなりました。（泌尿器科医）

体育館に生徒が集結。スライドを使って、性交、避妊、性感染症について解説。後日、生徒から多くの感想が寄せられ、手応えを感じました

嵐を越えてサンパウロ

第2510地区　北海道西部
出村知佳子 ガバナー（札幌北ＲＣ）

羽部大仁ガバナー（当時）に国際大会に誘われた際、不意に承認の握手？をしてしまったことがきっかけに、2015年6月、私はサンパウロ国際大会に参加することになったのでした。もちろん「遠い南米はもう二度と行けないかもしれない」との思いもありました。

これから国際大会が始まりますよ！（右から羽部さんと私）

新千歳空港で成田空港行き国内線を待ち、いよいよ搭乗開始の瞬間、突然雷鳴がとどろき、空港内が稲光で明るく照らされました。結局、離陸はできたものの、成田空港到着が遅れ、乗り継ぎ予定だったニューヨーク行きの便は非情にも既に離陸。途方に暮れていると、クラブの斉藤昌一会員が航空会社に掛け合い、代わりに提示されたのが驚きのルート。成田→北京→マドリード→サンパウロの「逆回りコース」。国際大会参加に間に合わせるには、この提案に乗るしかない！

乗り継ぎを繰り返し、30時間をかけてようやくサンパウロに到着。仲間が持参した缶詰は税関で没収され、長時間フライトによる疲労でボーッとしながらも、大会には無事参加できました。しかし、これで終わらないのがロータリー。帰路の経由地ニューヨークでは次々に参加者が風邪でダウン。最終的にほぼ全員が発熱。それでも苦労を共に乗り越えた仲間たちとの絆はより深まり、その後、ガバナーや役員などで活躍してくれています。「あの苦労があったからこそ、今の仲間との絆がある」。そんな懐かしい思い出です。現地での記憶はサンバのダンサーを見たことぐらいかな……。（空気調節配管工事）

今日が最後と、例会場の扉に手を。そこで見たのは

第2520地区　岩手・宮城
佐藤　剛 ガバナー（水沢ＲＣ）

今から四半世紀も前。紆余曲折のわが人生でも、記憶から消してしまいたいほど忌まわしい経験をしました。しばらくＰＴＳＤの原因となっていたのも事実です。

誌面には記せないその経験は、クラブ入会４年目に起こりました。これを機に、半年以上にわたり例会を欠席。先輩同輩ロータリアンに合わせる顔がない、との思いからでした。もうロータリーを辞めようと決心しました。

ただ、４年間と短期間でしたが、楽しい思い出をたくさんくれたクラブです。せめて、別れのあいさつだけはして辞めようと意を決し、例会日に重い足を運び、会場のドアの前に立ちました。でもドアを開ければ、そこには眉を顰め、何しに来た！という会員の顔……。それしか想像できませんでした。ためらいつつ私は勇気を振り絞り、重く重く感じた扉を、とうとう開けました。

「よく来た。ああ、ほんとに良かった」「久しぶり。元気そうで何より」「ほら、早く入って」。想像とは真逆。たくさんの笑顔が出迎えてくれました。大歓迎モードで満面の笑みあふれるロータリアンの姿が、そこに広がっていたのでした。

想像をはるかに超えた光景は、私の涙腺を崩壊させました。うれし涙もこんなに出るのかと驚いた記憶があります。ロータリーの仲間は私を信じ、待ち続けてくれた。

以来、自分にできる限り、社会貢献できることは惜しみなく力を尽くそうと決意し、ロータリーの世界が再び回り始めました。そして私はガバナーになり、昨年11月には公式訪問も無事完遂。終えた瞬間「あの日、例会場の扉を開けたから今の自分がある」と感慨を新たにしました。

（農薬販売）

花巻ＲＣ創立70周年記念式典において
ピアノ演奏を披露

夢を育む それが私たち大人の責任

第2530地区　福島
早川敬介 ガバナー（郡山北ＲＣ）

義務教育には、職業を通した人生設計ができる人材の育成が求められます。しかし、当時（平成10年頃）の中学・高校の学校教育現場は、テストの成績だけを重視。そこで私は、（公社）日本ＰＴＡ全国協議会の常務理事時代に、「中学生のインターンシップ事業」を提案しました。自分がなりたい職業が定まれば、成績も目標に向かって急激に伸びるもの。有名大学を出ても人生の目標が見つからない若者が出現していた時代でした。

一方、私自身は郡山北ＲＣから入会の勧誘を頂いていたのですが、「クラブ会員の事業所がインターンシップを受け入れてくださるなら」ということで入会。以降、インターンシップ事業が軌道に乗るまでの６年間、新世代奉仕委員長として奮闘。公民館などを借り、郡山市内の中学校５校を中心に校長も参加する発表会を実施。学校ごとに取り組みの視点に違いがあることも刺激になり、インターンの成果は毎年向上していきました。受け入れ側の会員の経歴紹介や事業の意図の明確化も、生徒たちへの刺激になったようです。

インターンを修学旅行と組み合わせ、ＮＨＫや警視庁、空港での職業体験を試みる事例も出て、10年目には「平成23年度キャリア教育推進優良団体」として文部科学大臣表彰を受賞するクラブになりました。

職場訪問などは、ぜひインターアクターと一緒に訪れてほしい、地域の仕事場を若い人にアピールしてほしい、そうすれば人口減少も防げ、地域再生にもなる、と公式訪問時に言及、青少年奉仕一筋です。

（不動産賃貸）

文部科学大臣表彰の受賞はみんなの誇り（ガバナー左から2人目）

みんなでポリオデー

第2540地区　秋田
佐藤和志 ガバナー（田沢湖ＲＣ）

田沢湖ＲＣに入会してから25年になります。ガバナーを拝命するとは思ってもみませんでしたが、ガバナーエレクト研修、国際協議会を経て、７月からは県内40の公式訪問を開始。各クラブの活動状況を聞くたびに、どこも素晴らしい活動をしているなぁと感じました。でも、地区としてみんなが一緒に参加できる活動が少ないことに気が付いたのです。

赤いＴシャツの集まりで行う啓発活動はインパクト大

そこで、以前から個人的にもポリオ根絶に関心がありましたので、早速ロータリー財団委員長をはじめ地区の役員と相談。すると、「地区を挙げてのポリオデーを」という声が。そうとなれば早いもの。各クラブへ参加者を募り、参加者が着るＴシャツの数を集計し発注。次は各種申請の手続き。秋田市内を行進するための通行許可、募金活動には敷地使用許可申請等を、ガバナー補佐、地区幹事などの皆さんが率先して行動してくれました。

実行日は10月26日。快晴、ポリオ根絶ＰＲに絶好の日和に。秋田駅前には県各地から赤いＴシャツを着たロータリアンが続々と集結し、パトカーも一緒のパレードは、やや自画自賛ながら？お見事。募金は米山奨学生と多くの会員が声をからして、でも笑顔で。その呼びかける姿は輝いていました。

本当に「ロータリーのマジック」が起きたと思いました。そう、私は地区の会員たちを誇りに感じたのです。この瞬間が私のロータリー・モメント。クラブで奉仕活動をし、地区としてみんなで強く団結して動く。ガバナー冥利（みょうり）に尽きる感動の日になりました。（温泉旅館）

雨垂れ石を穿つ

第2550地区　栃木
市田　登 ガバナー（鹿沼ＲＣ）

私のロータリー・モメントは、ガバナーノミニー年度から参加しているポリオ根絶活動での体験。コロナ禍の第７波が終息した2022年10月24日の世界ポリオデーに、鹿沼ＲＣ、鹿沼中央ＲＣ、鹿沼東ＲＣの３クラブ合同で動いたのが初回。そろいのＴシャツを着用し、手作りパネルと募金箱を準備。秋晴れの中、鹿沼市長を表敬訪問し激励して頂いた後、日曜日、来場者が多い「まちの駅　新・鹿沼宿」で、エンドポリオ缶バッジを配布しつつポリオ根絶を訴え、街頭募金活動を行いました。街頭での声掛けはただ単に「寄付をお願いします」で終わらせず、ポリオ根絶に向けたロータリーの活動を知ってもらいたいと願い、20円で１回のワクチンが打てるなどの具体的な情報を発信。これにより理解も得られたのか、心のこもった寄付を頂けました。

今宮神社の神事では囃子（はやし）屋台が巡行。大勢の仲間と一緒に

私にとってこの体験は、よく指摘される「ロータリーは対外ＰＲが苦手」からの脱却のヒントになり、クラブの垣根を越えた素晴らしさも実感。翌23年には６クラブ体制で仕立て、世界遺産・日光の社寺の玄関口である東武日光駅前で、より大々的に活動しました。今年度はインターアクターも加わり、ユネスコ無形文化遺産・鹿沼秋まつり開催に合わせて活動しました。当地区では、心強い共同での活動を今後も積極的に展開しています。

「雨垂れ石を穿（うが）つ」。ポリオ根絶まで「あと少し」です。一滴の雨垂れのように、ささやかでも確実に、ポリオが根絶した世界が実現するまで、これからも活動を続けていきます。（建築設計施工）

「輝いてもらいますよ」～全会員が輝く地区

第2560地区　新潟

南雲博文 ガバナー（長岡ＲＣ）

「クラブ間の連携と会員増強」が今年度の地区の方針。54クラブ中、会員数が15人以下のクラブが六つあります。ガバナー補佐と連携し地区の活性化を図るべく、情報共有を意識。奉仕活動を合同で実施するなど、親睦を広げ、活路を見いだしてほしいと願いました。

そこで、分区内をグループ化し、ガバナー公式訪問を合同化してみたところ、単独訪問12クラブ、２クラブ合同が８カ所、３クラブ合同が４カ所、４クラブ合同が２カ所、６クラブ合同でしかもインターシティーミーティング（ＩＭ）開催型が１カ所の計27回。ちょうど地区内クラブ数の半分の回数でした。合同訪問の形式についてアンケートを取ると、賛成の評価を頂き、安堵（あんど）しました。他クラブ会員との交流の進化は今後、地区内の活性化にもつながると期待します。「マジックとは変化することだ」と考えます。

印象深かったのが地区大会で、スローガンは「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」。小さなクラブも新たなステージに立ち、さらに輝いて……そこへ実行委員長が「オープニングアトラクションはガバナー自らステージに立って輝いてもらいますよ」。んん？　半ば強引に書道のパフォーマンスを！？　県立長岡大手高等学校書道部20人とコラボレーションが決定。一般人も入場する中、私はステージで地元の悠久太鼓のグループ演奏をバックに、会員800人を前にして、ぶっつけ本番で大きな紙に大筆で書きました。無事に終わりましたが、輝けたかな？　どうかこの気持ち、皆さんに伝わりますように！　（建設業）

「舞台で輝く」。次は誰の番ですか！？

ポリオ根絶を、共に推し進めた地区会員

第2570地区　埼玉西北

五十幡和彦 ガバナー（行田さくらＲＣ）

私のロータリー・モメントは、ポリオ根絶活動の行程を共に推し進めてくれた地区会員の存在です。初めに三大研修（地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会）の時に、年度の四つの目標を明らかにしました。クラブとしてポリオ根絶活動を実施すること、11月２～４日の地区ポリオデーに参加してほしいこと、地区大会では一連の活動結果を発表し、尾身茂先生のポリオ根絶講演会に参加してほしいこと。

地区内全47クラブが呼びかけに応えてくれました。それぞれが根絶活動をスタートし、地区ポリオデーでは、日本最大の国際ウオーキングイベント「日本スリーデーマーチ」への募金用ＰＲブースを設ける一方、ウオーキングに参加する230人は、出発前ステージ上からロータリーの取り組みをアピールし、END POLIO NOW のＴシャツとのぼり旗を掲げながら、市内10kmコースを進みました。

地区大会でのクラブ紹介時に、各クラブ活動写真をビデオ化して上映し、地区ポリオデーのウオーキング映像も流しました。雰囲気が盛り上がったところで、「ロータリーと共に歩んできたポリオ根絶」の記念講演です。

併せて埼玉新聞の１面に「地域、世界を変える行動人になろう」と題し、地区のポリオ根絶に関する取り組みと奉仕プロジェクトを掲載。「ロータリーに参加して一緒に行動しましょう」とアピールしました。一連の活動に理解をし、協力を惜しまぬ地区会員が、私のモメントです。ありがとうございました！　（自動車教習所）

ポリオ根絶活動への感謝とさらなる推進を訴えた尾身茂氏の記念講演

— 探訪③ —

THE PARTNER

(公財)ロータリー米山記念奨学会

ロータリー関係事務所を編集部が探訪するコーナーの第3回は、皆さんの耳目に触れることの多い「よねやま」さん。その事務局のお仕事について、若林理事長と、峯事務局長からお話を伺いました。

若林　紀男（手前で　のポーズ）
(公財)ロータリー米山記念奨学会理事長
2003－04年度第2660地区ガバナー
大阪東ＲＣ会員

峯　　純子（奥で　のポーズ）
(公財)ロータリー米山記念奨学会事務局長

1952年、東京ＲＣによる「米山基金」構想が始まり。54年に初めての奨学生をタイから招へい

―― まずは、どのようなサービスを提供している事務所なのか、改めてお聞かせください。

（峯）　米山記念奨学会は、皆さまから頂く寄付を財源に、日本の大学・大学院で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給している公益財団法人です。また、その運営全体に関わる、皆さまからの寄付金の管理をしています。70年以上の歴史を持ち、事業規模と採用数においては国内最大級の国際奨学事業ですし、日本と世界との架け橋となる人材を数多く育ててきた成果を、もっと多くの方に知っていただきたいと考えています。

―― どんな部署があり、それぞれどんな役割を？

部署は大きく分けて、事業グループと管理グループの二つ。事業グループは、選考・学務、学友、広報・企画など、奨学金プログラムや奨学生・学友に関わる業務を担当しています。管理グループは、内閣府対応や理事会・評議員会などの法人運営や、財務・寄付金管理、システム管理を担当しています。この事業の主役は、会員の皆さまと米山奨学生・学友であり、私たち職員は、その交流を陰で支える「縁の下の力持ち」でありたいと思っています。

―― どのようなサポートを会員から受けていますか？

財政的な事業支援の他、運営そのものにも多くの会員が関わってくださっています。奨学生の選考や受け入れに関わる業務は、当会から各地区に委託しており、奨学生との交流や奨学金支給は、地区から委託される「世話クラブ」の会員が担ってくださっています。

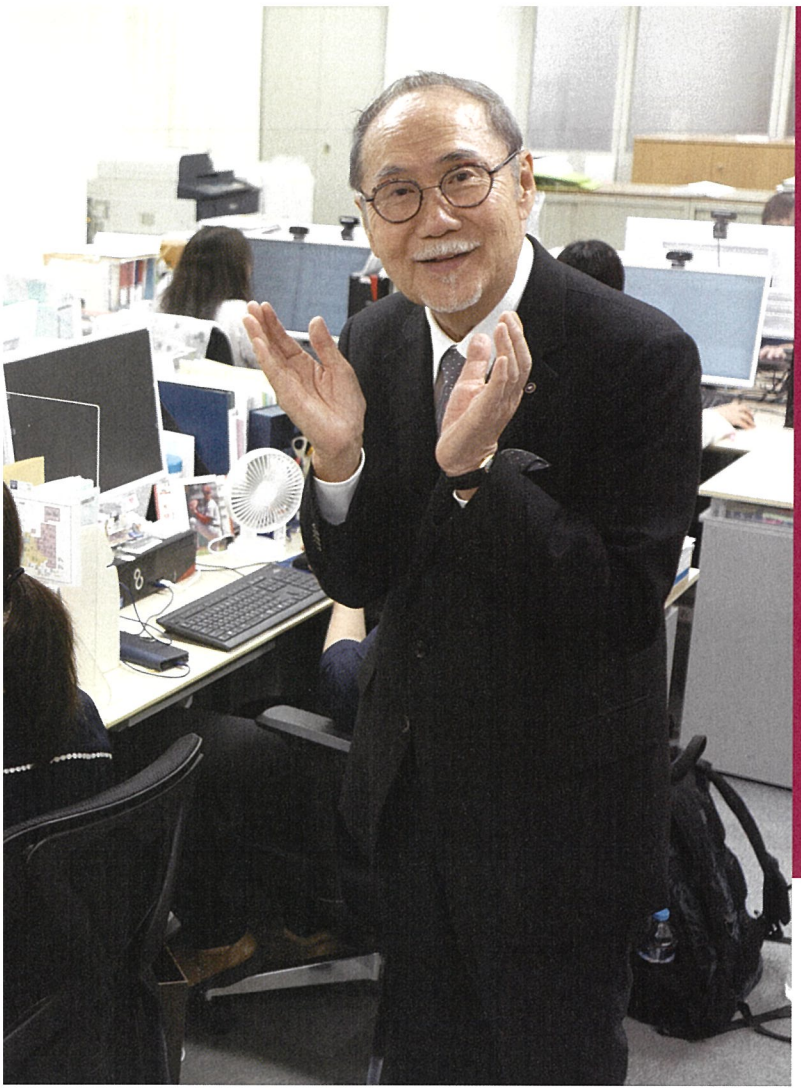
また、元奨学生の同窓会組織「米山学友会」が全地区にあり、地区からのサポートを受けながら活動しています。

―― 会員が事務局を訪ねることは可能ですか？

もちろん、事務局一同ウエルカムです。ご希望があれば、『豆辞典』といった米山記念奨学事業に関する資料を提供することも可能です。ご質問があれば、その内容に合わせて各担当よりお答えしますので、どうぞお気軽にお問い合わせください。

―― やりがいを感じること、困っていることは？

日本と世界との平和構築に貢献している、というやり



“事務局一同ウエルカムです”

◆ 主なキーワード ◆ 外国人留学生支援 ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト 世話クラブ カウンセラー制度 米山学友

日本国内全地区合同プロジェクトとして、毎年900人規模で奨学金を支給し、日本と世界の架け橋づくりに貢献しています

がいは、職員が共通して感じていることです。

困っていることとは少し違いますが、近年は、危機管理対応を要する案件が増えてきました。社会全体のハラスメントに対する意識の高まりを受け、当会は2008年から「ハラスメント相談窓口」というホットラインの電話とメールアドレスを設けて、相談に対応しています。2024年6月には、危機管理規程を制定し、さらに整備を進めています。一方で、懸念するのは、ハラスメントに敏感になるあまり、奨学生との交流を避けるムードが広がることです。ハラスメント根絶は、国際ロータリーの指針でもありますので、その意識は高めつつ、米山奨学生とは存分に交流を重ね、ぜひ皆さまの国際的な理解の推進にもつなげていただければと考えています。

―― 将来的な展望としては？

（若林） 当事業は、これまでに133の国と地域から2万4,000人以上の留学生に奨学金を支給してきました。奨学期間を終了し、巣立った米山学友たちが世界中で活躍している姿を見るのは、とても誇らしいことです。学友の中には、ロータリーに入会し、クラブ会長やガバナーになったり、母国の国会議員や外交官になったり、さまざまな分野で日本と母国の架け橋として活躍している人が本当にたくさんいます。

学友の存在は当事業の成果であり、彼らが組織する学友会は、日本のロータリーにとっても大きな財産です。現在、国内に33、海外にも10の米山学友会があります。その学友会同士が横につながりを持つことで、刺激し合い、活躍の場を広げて、日本の会員にさらなる感動と喜びを与えてくれています。今後、ますます組織率が高まり、海外学友会の数が増えることで、母国との架け橋のみならず、ロータリーが掲げる国際理解と世界平和実現の一助になると信じています。

（公財）ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3階
☎ 03-3434-8681　Fax 03-3578-8281
mail@rotary-yoneyama.or.jp

Campus & Diary

似て非なる国・日本で、“私”を高める

崔（ツォイ）　叶灵（イェリン）さん

中国出身／2023 － 25／甲子園ＲＣ
芦屋大学 臨床教育学部 教育学科 心理学専攻
上の写真は、福井県を旅行中、東尋坊での一枚。

一人一人に合った成長がある

幼い頃から人と話すことが好きで、自分が知らないことに触れるのがとにかく楽しかった。中学生になり、日本のアニメを目にする機会が増えると、日本の文化や価値観、日常などに興味津々。そのうち、日本の教育制度への関心も高まっていきました。

中国での教育は競争優先。一方、日本では一人一人の個性、興味を重視し、学びのプロセスが大切にされていると感じました。そんな環境で学べたら、自分をより成長させられるのではないかと、日本の高校へ進学しました。

その高校時代、私は卓球部に入り、全国大会に出場しました。最初は日本語がほとんど話せず、苦労していた私を、先輩や同級生たちがとても温かくサポートしてくれました。それは、とても大きな人生体験でした。

大学進学を考え始めた頃、「人それぞれに天職に生きる」という理念を掲げる芦屋大学（兵庫県芦屋市）と出合いました。誰でも自分に合った道を見つけることができる、というメッセージは、私の心に深く響きました。実際、毎日新しい学びがあり、ここで学べて本当に良かったと思っています。

中国と日本で異なる「正座」文化

中国と日本は似ている文化が多くて、日常生活での大きな戸惑いはあまりなかったのですが、困ったのが現金払い。今の中国はモバイル決済が大半ですが、日本では現金が必要な場面が多く、買い物をした時、小銭を探すの

日本に暮らす米山奨学生たちの声を届けるシリーズ。来日時の日本の印象や、現在の生活、将来の夢などを語ります。今回の語り手は……

series 04

1 芦屋市の夏祭りに参加　2 クラブのオリエンテーションで木下由美子カウンセラー（右）と初の対面　3 卓球に没頭した高校時代　4 お気に入りの景色。大学構内から見た夕景　5 同じ大学の留学生たちと一緒に

に時間がかかって、並んでいる人に迷惑をかけたこともありました。

それと、「正座」に関する文化の違いは大きかったです。中国で、正座という跪（ひざまず）く姿勢は非常にフォーマルで、相手への尊敬を示す場面や、結婚式などの伝統的な儀式でのみ行われます。「跪天（きてん）、跪地、跪父母」という言葉があり、日常的に行う姿勢ではありません。ですが、日本の正座は日常的な座り方の一つで、礼儀を示す場面でも用いられます。最初は正座の姿勢を長時間続けるのが大変でした。

礼儀という点では、メールのやりとりでの言葉遣いの重要性にも驚かされました。普段使う日本語とは全く異なり、外国人にとっては非常に難易度が高いです。だから、送信の際にはとても慎重に、何度も言葉を修正してから送るようにしています。

自らの文化的な背景を生かして

私は現在、大学で“ネットいじめ”について研究しています。インターネットの急速な普及に伴い、ネット上でのいじめ行為も増え、現代社会の深刻な問題として浮上しています。従来の直接的な暴力や嫌がらせとは異なる、新たな特徴を持つ、いじめです。

私は中国と日本のネットいじめについて、両国で発表された報告を比較しています。その特徴や影響の違い、文化的背景や社会的要因を調べ、両国での対策の違いを明らかにすることで、より効果的な対策や予防策を提案したいと考えています。将来的には、この研究を基に、より安全なネット環境の構築に貢献できれば。

また、留学生は、文化の違う場所での社会的な孤立感、学業や日常生活のストレスなど、多くの心理的な挑戦を経験します。私自身の経験から、留学生への心理的支援の重要性を強く感じました。今後は、この分野での専門性も高めたいと考えています。

異文化交流は、世界の相互理解へとつながります。留学生が新しい環境で充実した生活を送れるよう手助けができるようになることが目標。私の学びは、この先も続いていきます。

※米山記念奨学事業、「よねやまだより」へのお問い合わせは、（公財）ロータリー米山記念奨学会まで

Tel：03－3434－8681
Fax：03－3578－8281
E-mail：mail@rotary-yoneyama.or.jp
Web：www.rotary-yoneyama.or.jp

People of action around the globe

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

By BRAD WEBBER

『ROTARY』2月号から

オランダ

9月21日の「国際平和デー」に合わせ、平和への情熱を持つオランダの五つのロータークラブが、アフリカのコンゴで紛争に関するシンポジウムを開催。非営利団体「フォーカス・コンゴ」の創設者、パピー・オリオンさんが、少年兵から平和構築者となった自身の経験を語りました。また、人道的危機に関するパネルディスカッションが行われた他、コンゴの料理や絵画、彫刻、音楽、舞踊などが紹介されました。ザ・ハーグ・インターナショナル・ロータークラブ（RAC）のニコラス・エグンジョビさんは「地域に希望をもたらすために、手を挙げ、意識を高め、資金を集めたかったので、この事業を行うことにしたのです」と語り、イベント中、「フォーカス・コンゴ」のために約7,400ドル（120万円弱）を集めました。同クラブのアナ・ズラテブスキーさんは「私たちが支援しようとしている活動には、国内避難民用キャンプの建設と維持が含まれています」と話しました。

1899年

オランダのハーグで、最初の万国平和会議が開かれた年

67%

収入の30%以上を家賃に充てているメキシコ人の割合

74%

ナイジェリアの15～24歳の若者の識字率

ナイジェリア

小学校に井戸とトイレを設置してから1年後、カドゥナ・ロータリークラブ（RC）は、次の整備事業に着手することにしました。「ニーズ調査の時点で学校には机がなく、子どもたちは床に座っていました」と会長のポーシャ・ステファニー・アジさん。これこそ次の整備への課題。学校の関係者たちが保存していた古い家具を材料にして、机や椅子に作り変えたのです。クラブは昨年9月の「基本的教育と識字率向上月間」に合わせて贈呈式を行った他、クラブは企業などからの協力を得て、児童たちにリュックや辞書、ノート、ペン、チョークも提供しました。

アメリカ

イリノイ州のブラッドリー・ブルボネＲＣは、地域の風景をジグソーパズルにして販売し、募金活動を行っています。昨年９月、クラブは1850年代の納屋の牧歌的な風景を取り上げた三つ目のパズルを発表。パズルの題材となる風景を見いだすため、クラブは毎年６月に100ドル（約１万5,000円）の賞金を設け、写真コンテストを実施。撮影者の名前を掲載し、受賞者のウェブサイトへのリンクも紹介しました。「地域の良いところを紹介したい」と話すのは、ジュリア・マリキンさん。「毎年、パズルを楽しみに待っている人たちがいます」と、会員たちは地元の市場に並べたり、美術館や商店に協力を依頼して30ドル（約5,000円）でパズルを販売。売り上げは奨学金や学生の表彰、シェルターボックスの支援などに使われています。

551,232個
世界最大のジグソーパズルのピース数

メキシコ

メキシコ北部では毎年、数十世帯に住宅が提供されています。これは2008年以降、アメリカのカリフォルニア州とネバダ州のロータリアンが行っている「スーパービルド」と呼ばれる住宅建設事業。約4m×6mの住宅は、カリフォルニア州に拠点を置く非営利団体の協力で建てられています。この活動を10年近くにわたってコーディネートしてきたラスベガス・サマーリンＲＣのロビン・スミスさんによると、１世帯あたり１万8,500ドル（約300万円）の拠出で、資材だけでなく学生服や教科書、奨学金を提供できます。「資金を寄付するクラブもあれば、建設作業を手伝うクラブ、その両方を行うクラブもあります」とスミスさん。今年は、５月３日に実施が予定されています。

1974年
ジャマイカ国立美術館が設立された年

ジャマイカ

七つのロータリークラブとキングストンＲＡＣが協力し、首都キングストンで壁画を制作しました。アプリでその絵をスキャンすると、ロータリーの重点分野、入会方法、ロータリー財団への寄付方法などが表示されます。「この壁画は単なる芸術的表現ではありません。壁画自体が重点分野への貢献を象徴しているのです」と、キングストンＲＣの元会長、スティーブン・ハドソンさん。制作には、画家のアンソニー“タオセン”スミスさんとデジタルアーティストのキアンヌ・パトリス・ハッチンソンさん、団結と経済発展を促進する非営利芸術団体キングストン・クリエーティブの協力を得ました。キングストン・イースト・アンド・ポートロイヤルＲＣのメリッサ・アンダーソンさんは「壁画を通して、ロータリアンとしての自分たちの姿を紹介することができます。私たちはそれぞれの地域社会で変化をもたらし、他の人たちにも奉仕活動に参加してもらいたいと願っています」と話しています。

ROTARY AT WORK
ロータリー アットワーク

災害の疑似体験を防災へつなげる

別府ＲＣ

第 2720 地区・大分県

別府市内にも大きな被害をもたらした熊本地震から８年が経過。今の小学生には当時の震災を経験していない、あるいはあまり覚えていない児童がいます。また、昨年元日には能登半島地震が発生し、近い将来、南海トラフ地震の発生も懸念される昨今、いつ被災してもおかしくない状況が迫っています。こうした状況を踏まえ、当クラブは防災について子どもたちが学ぶ機会を提供するべく、体験型のイベントを実施しました。

12 月 15 日、子どもたちとその家族を対象とした「地震に備える 防災体験フェア」を、市立境川小学校体育館などで開催しました。イベントには地区補助金を活用、市や境川地区防災士会、消防団など地元団体の協力を得て、防災を無理なく学ぶことができる、さまざまな防災体験コーナーを提供しました。

おおいた建設人材共育ネットワーク BUILD OITA は、ＶＲ（仮想現実）ゴーグルを用いた地震や津波、土砂災害などを体感する防災ＶＲ体験、河川災害時の対応をゲーム感覚で学ぶことができるメタバース（コンピューターの中に構築された仮想空間）体験、ＧＰＳ搭載ロボットを使った土砂の撤去体験など、テクノロジーを駆使した学びを提供しました。この他にも、屋外には市保有の地震体験車「ユレルンダー」を用意。参加者たちは熊本地震の際、別府で観測した震度６弱の揺れを体感しました。

さらに防災アドバイザーによる講話、簡易テントやベッドなどを用いた仮設避難所体験、防災グッズの展示・使用体験、災害現場のジオラマやパネルの展示、非常食の展示・試食など、複数の観点から防災・減災に必要な知識を習得できる場を設けました。

非常食の展示コーナーでは、缶詰入りのパンや総菜など、長期保存が可能な非常食の試食を用意したところ、珍しさも手伝ってか、用意していた非常食はほとんどなくなるほど、好評でした。

当日は市内の子どもとその家族など、220 人ほどの来場があり、防災体験への意欲的な参加姿勢に、防災への関心の高さを感じました。イベントでの災害の疑似体験が、子どもたちの防災意識を高めるきっかけとなり、有事の際に役立ててくれることを願います。

デジタル化で相互理解を後押し

第 2750 地区多摩南グループ

東京都

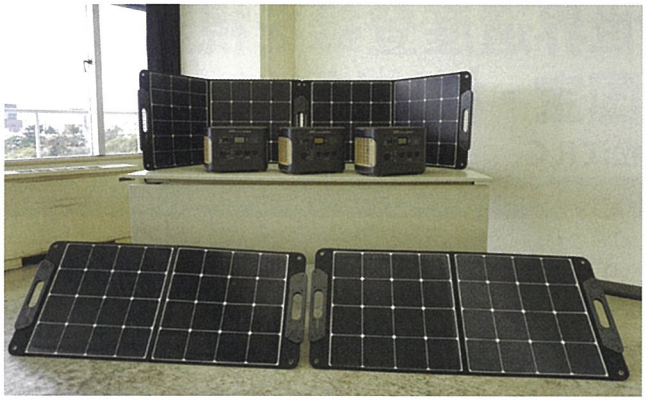
多摩南グループの 11 クラブは 11 月 18 日、「互いを知り、手を取り合って行動しよう」と題して、インターシティーミーティング（ＩＭ）を開催しました。

ロータリー活動への積極的参加を促す、佐藤祐一郎パストガバナーによる基調講演の後は、会員同士の相互理解を深めるため、300 人超でのブレーンストーミング（集団発想法）による意見交換会へ。参加者全員が意見する機会を担保するべく、デジタルツールを導入しました。これは前方のスクリーン上に表示された二次元コードをスマホで読み込み、設問に対する回答や投票を行う仕組み。スクリーン上にリアルタイムで意見が反映されることで、双方向のコミュニケーションが可能になります。

実際に使用してみると、多人数での会合でも参加者の意見を埋もれさせることなく、包括的に意見を集めることができました。また、従来よりも意見を表明するハードルが低くなったことで、率直な意見が出てきたことから、参加者同士の十分な意思疎通が図れたと実感しています。

結果として、ロータリーが目指す未来像も想像でき、継続的発展に向けた参加者のモチベーションを高めることができたと確信しています。当日出された意見は後日、グループ内の全クラブへ配信し、共有しました。なお、ＩＭの最後は八王子「車人形」など地域の伝統文化を鑑賞しながら懇親会を行いました。

今後もトライ＆エラーを重ねながら、より良い社会の構築に寄与できるよう、創意と工夫、そして情熱を持ってロータリーの活動に取り組みたいと思います。



災害に強い地域づくりを！

和歌山東南ＲＣ

第 2640 地区・和歌山県

近年、多発する自然災害を受け、防災の必要性が高まっています。こうした状況を踏まえ、当クラブは環境にも配慮したポータブル電源とソーラーパネル 4 セットを和歌山市内の災害避難所へ寄贈。11 月 28 日には、市役所でデモンストレーションを兼ねた贈呈式を開催し、機器がモニターやパソコンの電源として作動することを確認しました。市の防災体制の強化や地域住民の安心につながればと期待しています。今後も地域に根差した活動を継続し、災害に強い地域づくりに協力していきます。

子どもの未来のため協働

清水ＲＣ

第 2620 地区・静岡県

11 月 23 日、当クラブは地区補助金を活用し、認定ＮＰＯ法人しずおか環境教育研究会と共同で、「しずおか里山体験学習施設　遊木（ゆうき）の森」へ、テーブルとベンチを贈りました。年間約 2 万人が利用する同施設の木製テーブルなどが劣化し、それを新しくしたもの。式典では、同団体が行う自然教育活動を紹介したところ、参加者から「環境保護と子どもの学びを支える素晴らしい取り組み」と称賛の声。当クラブは今後も同団体と協力し、自然教育の場の創出を通じ、青少年育成に努めたい、と考えています。

郷土愛を育む かるた大会

射水ＲＣ

第 2610 地区・富山県

11 月 4 日、「文化の日」の振り替え休日に合わせて、当クラブは射水市内の子どもたちを対象に、「射水かるた」を用いた「射水市合併 20 周年記念 射水かるた大会」を開催しました。

「射水かるた」は市民意識の一体感を形成する足がかりとして、射水市内各種団体が協力し、「あなたの好きな射水」を公募して作ったかるたです。私たちの目的は、「射水かるた」を通して、未来を担う子どもたちに、自分たちが住む町の素晴らしさを再認識してもらい、郷土を愛する心を育んでもらうことです。

大会に先立ち、当クラブから市内中学校へ「射水かるた」を寄贈。また、市や市教育委員会の協力を得て、市内全ての小中学校へ大会参加を呼びかけるチラシを配布しました。

当日は親子合わせて 50 人以上が参加。3 人 1 チームのトーナメント戦では、白熱した試合が繰り広げられました。その模様をテレビ局はじめ、多くのメディアに取り上げてもらったことで、ロータリーの公共イメージ向上にも一役買うことができたと思います。

地域の子どもたちとの触れ合いを通して、地域とのつながりの大切さや青少年育成の必要性を改めて実感する良い機会となりました。今後も地域とのつながりを大切に、この地に根差した活動を続けていきます。

在日外国人向けに 日本文化を楽しむ交流会

湯沢ＲＣ

第 2540 地区・秋田県

当クラブには識字率向上委員会があり、地域に暮らす外国人の日本語習得や日本文化の学習に必要な支援を行っています。11 月 24 日には同委員会主導で、「和の文化を楽しもう」と題した交流会を開催。市が主催する日本語教室の受講生やその家族約 50 人が参加し、秋田湯沢湯乃華芸妓（げいぎ）による舞を楽しんだり、羽織を着て記念撮影したりしました。こんな触れ合いから、日本文化への理解を深め、より日本を、湯沢を好きになってもらえたらと願います。

世界遺産登録を視野に 国宝・松江城をＰＲ

松江ＲＣ

第 2690 地区・島根県

9 月 29 日、当クラブは「国宝松江城魅力アップ大作戦」と銘打って、松江城の床磨きと世界遺産登録に向けた講演会を開催しました。当日は島根大学の学生や同大学附属中学校のＰＴＡの皆さんに参加してもらい、築城から 400 年以上が経過した 4 重 5 階天守の床を清掃しました。

その後、興雲閣（こううんかく）（明治期の洋風木造建築）に移動し、都市工学者・西村幸夫東大名誉教授による「世界文化遺産の考え方と松江城登録の可能性について」と題した講演へ。今後も活動を通じ、松江城の価値と魅力を多くの人に伝えていきたいと思います。

金沢駅で復興応援ライブ

川崎西ＲＣ

第 2590 地区・神奈川県

当クラブは 11 月 24 日、能登への支援活動として、開催地である第 2610 地区の皆さまの協力を得て、金沢駅で応援ライブを開催しました。当日、昼からの本番では、元 JUDY AND MARY のドラマー・五十嵐公太氏とバイオリニスト・心奏（らら）氏が演奏。ライブを見ていた子どもたちにカスタネットを配布し、演奏に合わせてたたいてもらい、会場は大いに沸きました。また、当地区の長戸はるみガバナー、第 2610 地区大橋聡司ガバナーも登壇し、能登へエール。有意義なイベントとなりました。

コンサートをもっと身近に

羽島ＲＣ

第 2630 地区・岐阜県

身体障害者の「芸術に触れる機会が少なく、他人に気を使ってコンサートに行けない」という声を受け、当クラブは 11 月 23 日、「世代、障害を超えたクラシックコンサート」を開催しました。設営には音楽業界の進路を希望する羽島北高校ＩＡＣの６人も参加。来場者が踊れる空間を確保するために参加人数を制限したり、視認性向上のために照明を明るくしたり、事前に楽曲のリクエストを受け付けてプログラムに組み込んだりと、さまざまな工夫を凝らすことで約 100 人の来場者に楽しんでもらうことができました。

医療的ケア児と保護者に交流の場を

旭川西ＲＣ

第 2500 地区・北海道

11 月 30 日、旭川市自立支援協議会こども部会と旭川医科大学病院の主催で「医療的ケア児者とその家族の交流会音楽 de 交流会～みんなでできる！音とリズムを楽しむリトミック♪～」が行われ、当クラブも共催団体としてイベントを支えました。

そもそも医療的ケア児とは、医学の進歩により、人工呼吸器や胃ろうなどのサポートを受けて生きる子どもたちのこと。そうした子どもとその家族の交流の場を創出すべく開催に至ります。設営には当クラブ会員９人の他、旭川西高校インターアクト部の学生も協力してくれました。

当日は医療的ケア児を含む６家族 19 人をはじめ総勢 70 人が参加。音楽を通じて心を通わせる教育プログラム、「リトミック」では子どもたちだけでなく、保護者や支援者の心も温まる時間になったようです。参加者からは「またイベントに参加したい」「家族全員で楽しむことができた」といった感想が寄せられました。保護者には茶話会を設け、日々の悩みや課題を共有し、意見交換をする場として活用してもらいました。

今後もこうした活動を続け、医療的ケア児とその家族が社会とつながり、地域の中で生き生きと生活できる環境が広がることを願います。

第 2510 地区

2024 年 11 月 9 ～ 10 日
グランドメルキュール札幌大通公園
ホスト 札幌北ＲＣ

出村知佳子ガバナー　出村ガバナーの親友で、タイの同期ガバナー、マリーさんが登壇し、両ガバナー共有のロータリーマジックを披露。羽部大仁ＰＧの愉快な進行で、会場は感動と笑いの渦に。滝澤功治ＲＩ会長代理は危機管理に関する講演者として二刀流。限られた時間の中で、出席者の多様性を意識した三つのプログラムが同時進行、プログラムごとの帰属意識が育まれるきっかけとなりました。特にホストクラブを務めた札幌北ＲＣの行動力は、出村ガバナーが呼び掛ける「勇気を出して行動しよう」の実践となりました。

第 2600 地区

2024 年 11 月 9 ～ 10 日
軽井沢プリンスホテルウエスト
ホスト 佐久ＲＣ

白鳥敬日瑚ガバナー　幼子の手のひらのように愛らしく、紅色（べにいろ）が美しい紅葉が彩る軽井沢町で皆さんをお迎え。白鳥ガバナーの「日本の『結び』の精神で、家族、世代間、地域、国家も結び合って平和で豊かな世界にしましょう」という思いから、大会テーマは「結（むすび）」とし、米山記念奨学会評議員の刀根荘兵衛ＰＧ（第 2650 地区）や元Ｊリーグ第５代チェアマンで（公財）日本バドミントン協会会長の村井満氏、元法政大学総長・田中優子氏の講演が行われました。会員同士が手と心を結び、奉仕を実践する尊さを学ぶ大会となりました。

第 2620 地区

2024 年 11 月 9 ～ 10 日
甲府記念日ホテルほか
ホスト 甲府西ＲＣ

小泉久司ガバナー　大会テーマは「よりそう奉仕・ロータリー」。服部陽子ＲＩ会長代理を迎えての初日は、第 2830 地区より山崎淳一ＰＧによる地区指導者育成セミナー「ロータリーは親睦と奉仕の積み重ね」を開催。多くの文献を提示しつつ、ロータリーの核心に迫りました。その後のＲＩ会長歓迎晩餐会で行われたマジシャン・水野翔氏のショーで、会場は大いに盛り上がりました。２日目は元厚生労働事務次官・村木厚子氏の記念講演「女性がより活躍できる組織・社会を創るために」が行われ、学びの多い大会となりました。

第 2760 地区

2024 年 11 月 9 ～ 10 日
名古屋国際会議場ほか
ホスト 春日井ＲＣ

吉川公章ガバナー　水野功ＲＩ会長代理を迎え、初日はロータリー平和フェローの大豆本（だいずもと）由紀さんの特別講演「Journey as a peace builder: ～平和を作るという仕事～」を実施。２日目は地元・春日井泉高校書道部による「書のまち　春日井」書道パフォーマンスが催され、生徒たちが書いた４文字の揮毫（きごう）に吉川ガバナーが作務衣（さむえ）姿で登場し、最後の一画を書き入れ「不易流行」を完成させるという、粋な演出もありました。元内閣官房参与の宮家邦彦氏の講演「地政学と日本の大戦略」は、大変興味深いという声を得ました。

第2800地区

2024年11月9～10日
タスパークホテル長井ほか
ホスト 白鷹ＲＣ

芳賀康雄ガバナー　上林直樹ＰＧを先導にＲＩ会長代理・細川吉博氏が入場しスタート。地区指導者育成セミナーは、第2550地区・鈴木宏ＰＧの講演「友情溢れたクラブに」、ＮＰＯ最上川リバーツーリズムネットワーク代表理事・佐藤五郎氏の講演「最上川水系の地形をよむ」。ＲＩ会長代理ご夫妻歓迎晩餐会は、ソプラノ歌手・梅津碧さんの楽しいひとときに。翌日は、ベナンの山形米山学友・ゴンルドブ マリエッタ ニョンブアンラさん（世話クラブ：鶴岡ＲＣ）と立行司第38代木村庄之助氏の講演、抽選会などを催し全日程を終了しました。

第2820地区

2024年11月9～10日
日立市池の川さくらアリーナほか
ホスト 高萩ＲＣ

大髙司郎ガバナー　大会までに全クラブを公式訪問、直前には世界ポリオデー地区集会開催。前田直俊ＲＩ会長代理と海外友好地区代表を迎え、大会目標「一輝こうロータリーと共に2820－」を掲げ、東日本大震災で被災し復興した会場に約1,000人が集結。大髙ガバナーは「My ROTARY」の活用やクラブ優秀賞挑戦と後半期の展開を訴え、青山学院大学陸上競技部原晋監督の感動的な記念講演「サラリーマンの大逆転～箱根駅伝優勝までの道のり～」は、高校生や一般の方も参加。歓迎晩餐会では、ＲＩ会長テーマにあやかりプロのマジックで盛り上がりました。

第2590地区

2024年11月15～16日
パシフィコ横浜ほか
ホスト 横浜東ＲＣ

長戸はるみガバナー　当地区初の女性ガバナーの思いは「次世代につなごう!!」。桑澤一郎ＲＩ会長代理を迎え、講演は、津田塾大学の髙橋裕子学長「新五千円券肖像の津田梅子」、歌手でポリオ根絶大使のジュディ・オングさん「輝いて生きる」の二本立て。ポリオ根絶支援Ｔシャツを販売したところ完売。米山学友・タパ ジギャン クマルさんのＲＩロータリー人道奉仕功労賞授与式も行い、ＲＩ会長代理ご夫妻歓迎晩餐会では神奈川出身のシンガーソングライター・白井貴子さんのミニライブと盛りだくさん。学びと交流を深めました。

第2540地区

2024年11月16～17日
グランドパレス川端ほか
ホスト 田沢湖ＲＣ

佐藤和志ガバナー　「ロータリーでひともうけしていますか？」とは、地区指導者育成セミナーで講師を務めた松本祐二ＰＧの言葉。会場が一瞬、ギョッとなりましたが、人儲（もう）けの意。親睦を大切にしてロータリーを楽しもう、と軽妙な口調で語りました。記念講演は、温泉旅館を経営する佐藤ガバナーらしくヤマザキマリ氏。秋田の温泉への愛をはじめ、映画「テルマエ・ロマエ」の製作秘話、創作意欲を語りました。能楽師である橋岡久太郎ＲＩ会長代理は、ホスピタリティを感じる大会と評価、「老松」で締めくくりました。

第 2640 地区

2024 年 11 月 16 ～ 17 日
スターゲイトホテル関西エアポート
ホスト 和歌山南ＲＣ

野村壮吾ガバナー　世界に飛び立つ飛行機を背に開催。スローガンは「ＤＥＩの考え方を学び、実践する」。初日は元名古屋高裁長官・弁護士の綿引万里子氏の記念講演でコンプライアンスについて、特別講演は第 2660 地区の宮里唯子ＰＧで、まさにＤＥＩについて理解を深めました。２日目、歌手のアグネス・チャン氏の記念講演は、福祉・ボランティア・人権についての深い内容で、一同感銘を受けました。今回、ホストクラブである和歌山南ＲＣの姉妹クラブ、台湾の岡山ＲＣから会員 30 人もの参加があるなど、両日大成功でした。

第 2770 地区

2024 年 11 月 16 ～ 17 日
レイボックホール、パレスホテル大宮ほか
ホスト 川口ＲＣ

岡村睦美ガバナー　大会テーマ「未来を見据えて変化しよう －多様性を力に－」の下、１日目、弁護士・圷（あくつ）由美子氏の地区指導者育成セミナー「進化するハラスメントリスク」で、パワハラやセクハラ、モラハラの最新事情を学びました。２日目、複数国で大使を歴任された平林博氏と埼玉県知事・大野元裕氏をパネラーに、岡村ガバナーが進行した対談「国際情勢と平和構築」は、揺れ動く国際情勢の中で今、何ができるのかなど、深い知見からの意見交換がとても有益。和やかかつ一体感に満ちた大懇親会も経て、成功裏に終了しました。

ローターアクトを高めよう

ELEVATE ROTARACT

Rotaract
宮崎西フェニックスオーシャン
ローターアクトクラブ

地域の伝統行事を取り入れ、活動への参加意欲を高める

創立：1998 年 4 月 22 日
会員数：13 人
例会日：第 2・4 木曜日 19:30 ～ 20:45
スポンサークラブ：宮崎西ＲＣ
（第 2730 地区　宮崎県）

①②「神武さま」で人力車夫として参加　③他クラブ合同ポリオ根絶募金活動　④宮崎大学主催の地元企業との交流会「おはなシゴト」参加　⑤合同例会「テーブルゲーム」例会　⑥パン作り例会

私たち宮崎西フェニックスオーシャンＲＡＣは、男性 10 人、女性 3 人の計 13 人で日々活動しています。

毎年 10 月に宮崎市内で 2 日間開催される宮崎神宮大祭（神武さま）への人力車夫として参加することがクラブの一大イベント。神武さまは地元の伝統行事です。御獅子を先頭に御鳳輦（ごほうれん）、稚児行列などが荘厳・華麗に御神幸（ごしんこう）行列を成し、その後に続いて神武天皇説話の古代船「おきよ丸」や花嫁姿のあでやかな「ミスシャンシャン馬」などが神賑（しんしん）行列として、宮崎神宮から御旅所まで練り歩きます。個人参加するロータリアンも交じり、その神賑行列の中の 3 ～ 5 台の人力車に県内各地域をＰＲする観光レディーを乗せ、2 日間引きます。その 1 台の車夫をローターアクターだけで担うのです。地域の行事への参加を通じて、地元・宮崎の伝統文化に触れ、当クラブ会員の地元愛を高め、ロータリアンや各団体の皆さんと共に地域を盛り上げる奉仕活動を繰り広げています。

その他、パン作りや清掃活動、ポリオ募金活動などを兼ねた多彩な例会を催しており、地区内の他クラブとも共同で奉仕活動を行うなど、日々活発に動いています。

そんな当クラブの会員は、転勤などの入れ替わりに伴い大半が入会 1 年未満。どうしてもローターアクトの活動意義、内容をしっかりと理解できている会員が少なく、今以上に充実した活動にするためには、より会員が積極的に参加したくなる企画を行う必要があります。参加を促すことで、会員同士の親睦を深められたら、と思っています。

POINT
転勤のため、会員の入れ替わりが多い中、地域を盛り上げる活動を継続

合同例会など、他クラブともより積極的に活動していく予定です。

（宮崎西フェニックスオーシャンＲＡＣ　武石惇）

Let's Collaborate
クラブ連絡先：mnpo2730@gmail.com　facebook

あなたの地域で活躍するローターアクトクラブの取り組みを、編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。

NEW GENERATION ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

母国を災害に強い国へ

米山奨学生　金　ダソル

私の目標は、母国の韓国を災害に強い国にすることです。日本で学んだ防災の知識を基に、韓国で地域住民主導の防災政策の提案を目指しています。

目標を持つきっかけは、2017年に韓国で経験したポハン地震でした。その際、災害に対する備えが不十分だったことを実感し、地域社会で災害に立ち向かう方法を学ぼうと決意しました。そして、日本の官民連携の防災政策を学ぶために留学を決め、現在は大学で、住民の避難行動や地域防災に関する研究をしています。

私はさまざまな社会問題を解決するためには、まず地域コミュニティー内で「自ら行動する責任」を理解することが重要だと考えています。地域密着型の活動を通じて課題に取り組むロータリーは、私の価値観と合致しており、地域貢献や国際交流の重要性を実感することで、さらに学びを深めています。

これまでに災害復旧ボランティアや文化交流会などに参加した結果、災害対策には地域の住民同士の協力が不可欠であると実感し、さらに研究を深めることができました。

将来は、韓国と日本の防災政策を推進する研究者として、より多くの命を守るために力を尽くしたいと思います。また、ロータリーのネットワークを活用し、国際的な視野で防災対策を広め、より安全な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

韓国キョンギト・コヤン市出身。大阪府茨木市在住。立命館大学政策科学部4年。奨学期間：2024年4月～25年3月、世話クラブ：高槻東ＲＣ。趣味はスポーツ観戦と編み物。

「食」から健康を支える

米山学友　李　若源（じゃくげん）

私は将来、食品の研究開発に携わり、人々の健康に貢献したいと思っています。特に、生活習慣病の予防や改善に寄与する、日本でいうところの機能性表示食品を開発し、実生活で役立つ製品を世に送ることを目指しています。

現在は「徐々に糖尿病を発症する実験用のマウスにトピロキソスタットという痛風治療薬の一種を投与した際の、肝臓や脂肪組織に与える影響」の研究を進めています。この研究結果を受け、痛風患者の生活習慣病予防に役立つ知見を得ることが目下の目標です。私の専攻する学問は、得られたデータが学術的発見にとどまらず、実社会で健康問題を解決する具体的な一助になるので、研究には大きなやりがいを感じています。

研究は楽しいですが、集中していた心をほどくことも大切なことです。私の場合、日々の研究と向き合う活力となるのは、3年前に興味を持って学び始めたお箏（こと）の演奏です。毎週の練習時間は、物事を冷静に見つめ直す貴重なひとときとなっています。忙しい研究も趣味との両立を図ることで、前に進んでいる実感があり、自身の成長を楽しむこともできています。

今後もお箏に支えられながら研究を続け、その成果を母国や日本はもちろん、世界中の人々へ届ける架け橋のような存在になり、健康を「食」から支えていきたいと思います。

中国上海出身。山梨県甲府市在住。山梨大学大学院医工農学総合教育部生命環境学専攻修士課程1年。奨学期間：2023年4月～24年3月、世話クラブ：甲府西ＲＣ。甲府南ＲＡＣ会員。趣味は箏。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！　ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。hensyu@rotary-no-tomo.jp

パズルdeロータリー

偶数月は「数独」

例会中は解かないでね！

難易度 ★★★★☆

パズル制作／ニコリ

		3	1	6				9
1			□				6	
	5					4		
			2				8	
		7		4		5		
	2				9			
□		8					5	
	1							2
4				7	8	6		

ルール

①まだ数字の入っていないマスに１から９までの数字のどれかを１つずつ入れましょう。０（ゼロ）は使いません。

②タテ列（９列あります）、ヨコ列（９列あります）、太線で囲まれた３×３のブロック（９つあります）のそれぞれに、１から９までの数字が１つずつ入るようにします。

問題

二重枠に入った数の合計はいくつでしょう？

答え □

いつでもどこでもラジオ体操

アタマの次はカラダを動かせ！

毎月５人に
体操ブーブーを
プレゼント！！

◆パズル de ロータリー応募方法◆　郵送での応募は郵便はがきに①「２月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事とその感想をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル４階（一社）ロータリーの友事務所Ｐ係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄（縦組み）に転載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

ＷＥＢ応募は下記のＵＲＬ、または右の２次元コードから。
rotary-no-tomo.jp/puzzle.php

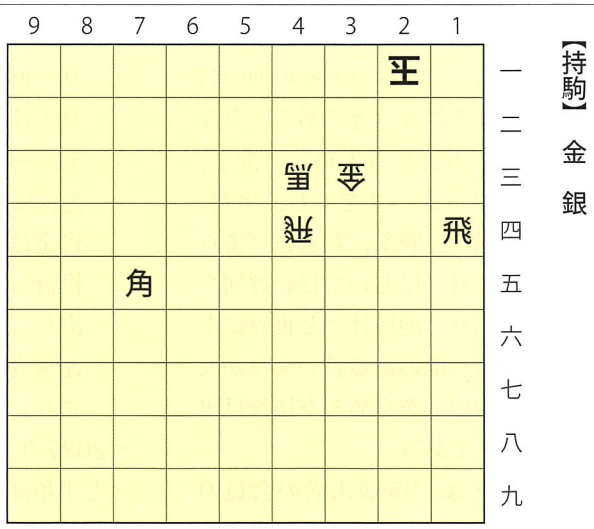
◆締め切り◆　2025年3月10日（月）必着（当選発表は5月号）

●パズルdeロータリー（11月号）の答えと当選者は、横組みP55に掲載しています。

詰め将棋

出題　日本将棋連盟
田中寅彦　九段

ヒント　強力な守備駒、馬と飛車の利きに注意。
7手詰め　5分で2級



●詰め将棋の解答は、横組みP55に掲載しています。
（※詰め将棋にはプレゼントはありません）

エバンストン便り
EVANSTON

＊アメリカ・エバンストンは、国際ロータリー（ＲＩ）世界本部の所在地です

ＲＩ理事会の決定事項（2024年10月）

2024－25年度ＲＩ理事会は、2024年10月14～16日にアメリカ・イリノイ州エバンストンの世界本部で会合を開き、15の委員会報告を確認し、53の決定を行いました。

クラブ・地区関連

理事会は、

- ロータリー創立125周年を祝し、2030年7月1日までに、ローターアクターを125,000人にするという全世界のローターアクトの会員増強目標を採択しました。
- ローターアクトからロータリークラブへの会員移行を円滑に進めるため、「ローターアクト拡大運営計画」を改訂し、ロータリークラブとローターアクトクラブ間の協力関係を強化しました。
- ローターアクトの目的は、若いリーダーたちに比類ないリーダーシップ能力開発の機会を与えることであるという点で同意し、さらに、この目的を支援するために、クラブが以下の方針を実践するよう奨励しました。
  - クラブは、会員資格を有する元ローターアクターやその他の若い人々を探すべきである。クラブは、善良なる人格、高潔さ、リーダーシップを示し、事業、専門職務、職業、および／または地域社会において良い評判を得ており、地域社会と世界に奉仕する意欲のある若い人々が入会への関心を高める方法を見出すべきである。
  - クラブは、35歳未満の会員のクラブ会費および入会金を免除することができる。さらに、クラブはこの年齢層の新会員のために地区会費を負担することができ、また地区は、地区協議会あるいは地区大会での決定により、この年齢層の新会員の地区人頭賦課金を減額することができる。

プログラム・表彰関連

理事会は、

- ポール・アンド・ジーン・ハリス・ホーム財団（ＰＪＨＨＦ）とのファンドレイジングにおけるパートナーシップの創設に同意し、その協力関係の指針を以下のように定めました。
  - ＲＩとＰＪＨＨＦとのパートナーシップの合意が締結された時点で協力関係が始まり、2027年6月30日に終了する。
  - このパートナーシップを支援するための寄付はすべて、ＰＪＨＨＦに直接送金されなければならない。ＲＩ、ロータリー財団、協力財団に送金された寄付はすべて寄付者に返金される。
  - ＰＪＨＨＦは、ＲＩがキャンペーン関連の費用を負担する前に、少なくとも150,000ドルを集めなければならない。
  - このキャンペーンで集められた寄付はすべて次のことに使用されなければならない。第1に、ＲＩが負担したキャンペーン費用を支払う。第2に、ロータリー財団とRotary/One財団がＰＪＨＨＦに貸し付けている住宅ローンの未払い残高と利息の返済に充てる。第3に、残りの資金はすべて恒久的に保有し、投資して使用可能な収益を生み出し、その収益をＰＪＨＨＦの運営費と長期維持費にのみ使用する。
- 2027年10月まで、ロータリーと平和部隊のパートナーシップを更新しました。
- 「コラボレーション団体」（collaborating organization）の公式指定を廃止しました。
- ロータリー人道奉仕功労賞に関する方針を改正し、同賞の受賞対象者は会員以外の人に限られることを明確にしました。

会合関連

理事会は、

- 2026年6月13～17日に台湾の台北で開催されるロータリー国際大会の行事と活動の予備プログラムを承認しました。

運営・財務関連

理事会は、

- ヴィッキー・ピュリッツ氏、辰野克彦氏、ステファニー・アーチック氏を、2025年7月1日から4年任期を務めるロータリー財団管理委員として選出しました。
- 2023－24年度の監査済み財務諸表案ならびに国際ロータリーの財務報告を受領しました。
- 2025年規定審議会への制定案52号「各クラブが少なくとも会員10名分の会費を支払うことを定める件」を撤回しました。
- ガバナー補佐の役割と一致させるために、地区ローターアクト代表の役割を強化しました。

-Rotary International

プロジェクト計画のための新しいツール

ロータリーでは、地域社会が優先する課題への取り組みにおいて、地域社会をパートナーとして協力することに重点を置いています。また、プロジェクトの結果を測定し、そのインパクトを理解する方法も取り入れています。会員は、測定可能で持続可能な成果をもたらす、根拠に基づいたプロジェクトを立案することで、ロータリーの奉仕を通じて長期的かつ好ましい変化をもたらすことができます。

地域社会の優先事項を把握すること

は、長期的なインパクトをもたらすための第一歩です。最近改訂された「地域社会調査の実施」は、地域社会の人々と共に優先事項を特定し、プロジェクトを立案する方法を説明しています。この手引きには、データプライバシーや多様性、公平さ、インクルージョンといった新しい関連トピックも含まれています。調査の結果は、プロジェクトの目標と計画に生かすことができます。

「地域社会調査の実施」→

「ロータリーインパクトハンドブック」は、奉仕プロジェクトの一環として成果の測定を計画して実施し、成果を実証するのに役立つリソースです。このハンドブックでは、プロジェクトの投入リソース、結果、成果、インパクトを特定し、説明するための「積み木」モデルの構成要素について説明しています。これらの要素を奉仕プロジェクトに組み込むことは、プロジェクトの目標達成に役立ちます。プロジェクトに含まれる個々の活動を計画する際は、全ての段階で測定を組み込むことで、当初の計画を修正する必要があるかどうかを、判断することができます。また、成果を基準データと比較することでプロジェクトの達成を確認することが可能になります。

「ロータリーインパクトハンドブック」

世界中の地域社会に好ましいインパクトをもたらすことができるよう、奉仕プロジェクトを計画する際に全ての会員がこれらの資料を活用することが奨励されています。

「ロータリーインパクトハンドブック」→

-My ROTARY

会員増強をサポートする新機能が近日中に利用可能に

ＲＩでは、ロータリー入会に関心がある人が自分に合ったクラブを見つけ、そのクラブと連絡を取ることができるよう、入会候補者および会員から紹介された人の情報を管理できる入会候補者情報プログラムをリニューアルします。

この新しいシステムは、2024－25年度に「My ROTARY」に導入される予定です。Salesforce社との協力により、入会候補者情報を管理するプロセスを合理化し、クラブと地区のリーダーの手続きの負担を減らすことができます。

新しくなる入会候補者情報プログラムにより、クラブリーダーは、入会に関心を寄せている候補者へのフォローアップをより簡単かつ迅速に行うことができます。地区リーダーは、地区の支援が必要となった候補者に対応する場合を除き、入会候補者へのフォローアップを行う必要はなくなりました。今後は地区内クラブの強化と新クラブの結成に、より集中できるようになります。

-My ROTARY

RIのSNS（X）アカウントはこちら

国際ロータリー
@RotaryJapan

国際ロータリー @Rotary

ステファニー・アーチックRI
会長 @Stephanie_urchk

今後のＲＩ国際大会

2025年6月21～25日
カナダ・カルガリー
（以下、予定）
2026年6月13～17日
台湾・台北
2027年6月5～9日
アメリカ・ハワイ州ホノルル
2028年5月27～31日
アメリカ・ミネソタ州ミネアポリス
2029年
未定
2030年5月25～29日
アメリカ・イリノイ州シカゴ

統計

全世界ロータリアン総数
1,165,228人
クラブ数 36,383クラブ
地区数 515地区
国と地域 200以上
ローターアクト会員数125,401人
クラブ数 9,228クラブ
国と地域160以上
インターアクト会員数363,975人
クラブ数15,821クラブ
国と地域150以上

2024年12月18日現在

ロータリーの友 Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

野生型ポリオウイルスによる症例数

掲載ウェブサイト：
ＧＰＥＩ（世界ポリオ根絶推進活動）
https://polioeradication.org/wild-poliovirus-count/（2024年12月16日現在）

		2024年	2023	2022	2021
常在国	パキスタン	63	6	20	1
常在国	アフガニスタン	25	6	2	4
非常在国	モザンビーク	0	0	8	0
非常在国	マラウイ	0	0	0	1
世界合計		88	12	30	6

PHOTOGRAPH: CARY NORTON

指定記事

ロータリー財団管理委員長からのメッセージ

平和の大使

より平和な社会をつくるため、世界各地でさまざまな活動が行われ、大きな進展がありました。しかし、世界で今なお続く紛争や暴力を見ると、私たちにはまだ行うべきことがある、と思い知らされます。争いがどこで起きようと、私たちに影響を与えます。では、平和を構築するため、ロータリーに何ができるのでしょうか。

ロータリーは、平和と紛争予防のための世界的な力となり、紛争の根源に切り込んでいます。1945年の国連憲章起草におけるロータリーの役割は、この永続的な取り組みの証しの一つです。

もう一つの基盤はロータリー平和プログラムです。ロータリー財団を通じて、七つの平和センターでフェローシップが授与され、紛争・開発分野に取り組むフェローが育成されています。

現在、1,800人以上の学友が140カ国以上で平和の推進者として働き、地域社会に変化を持続的にもたらしています。パブロ・クエバスさんは国際移住機関（ＩＯＭ）パラグアイ事務所の責任者として、避難を余儀なくされた人々を支援しています。レニ・キンズリさんは国連世界食糧計画で働き、スーダンで人道的ニーズのために力を尽くしています。大豆本（だいずもと）由紀さんは、国際協力機構（ＪＩＣＡ）と共に、アフガニスタンで農業と生計のプロジェクトを支援しています。平和フェローは、ロータリーによる平和への投資を体現しているのです。

財団管理委員会は今月、2030年までに人が住む全ての大陸に平和センターを設置するというビジョンの一環として、アジアに8番目の平和センターを設立する計画を検討します。

さらに、経済平和研究所とのパートナーシップを通じ、ロータリーでは60カ国、300人以上の積極的平和アクティベーターを研修してきました。このカリキュラムでは、会員が地域社会を癒やすスキルを学びます。財団の補助金と奉仕を通じ、ロータリー会員が紛争の要因となる重要な課題を解決しながら平和を促進しています。

今月、イスタンブールで開催される会長主催の平和会議では、この取り組みとバーチェシェヒル大学オットー＆フラン・ウォルター・ロータリー平和センターの第一期生を祝います。

皆さま自身が平和の大使であることを忘れないでください。平和がより広く定着し、ロータリーが平和の追求においてますます有意義な役割を果たすことを願っています。

MARK DANIEL MALONEY
2024－25年度ロータリー財団管理委員長

指定記事

カルガリー国際大会

生涯の友情を築くローターアクター

PHOTOGRAPH: COURTESY OF DANIEL ZAVALA

国際大会でのローターアクターの写真や動画を見ると、彼らが心から楽しんでいることがよく分かります。ピースサインや投げキッスをしている写真には、「生涯続くローターアクトの友情」「世界から集まった私の家族」といったキャプションが付いています。「一度は国際大会を体験してみるべきです。人生が変わること間違いなしです。国際大会に合わせて休暇の計画を立てましょう」と話すのは、ベネズエラのサン・ホアキン・ローターアクトクラブ会員であるダニエル・ザバラさん。

参加回数にかかわらず、ローターアクターは皆、開会式での国旗入場やインスピレーションあふれる講演に心を動かされています。

大会でのローターアクターの写真から分かるのは、ロータリーでの活動が喜びに満ちていることです。ローターアクターは国際大会にただ出席するだけでなく、運営でリーダーシップを発揮したり、友愛の家のブースを手伝ったり、分科会で発表を行ったりしています。昨年のシンガポール大会では、ローターアクターがロータリークラブへの移行についての分科会を行い、異なる年齢間の結束を強める重要性を強調しました。6月21～25日のカルガリー大会で、ローターアクターは再びリーダーシップを発揮するでしょう。詰まるところ、ローターアクトとは「ロータリー」＋「行動（アクション）」ですから。

詳しい情報とご登録は
convention.rotary.org から

パズルdeロータリー 11月号の答え

正解は「い」

余り

①しめんそか　（四面楚歌）→ く
②にっしんげっぽ　（日進月歩）→ ん
③いきとうごう　（意気投合）→ せ
④きそうてんがい　（奇想天外）→ い
⑤じぼうじき　（自暴自棄）→ く
⑥ごこくほうじょう（五穀豊穣）→ う
⑦おんこちしん　（温故知新）→ あ
⑧たいきばんせい　（大器晩成）→ と

余り

「くんせいくうあと」→「あくせんくとう」（悪戦苦闘）→ い

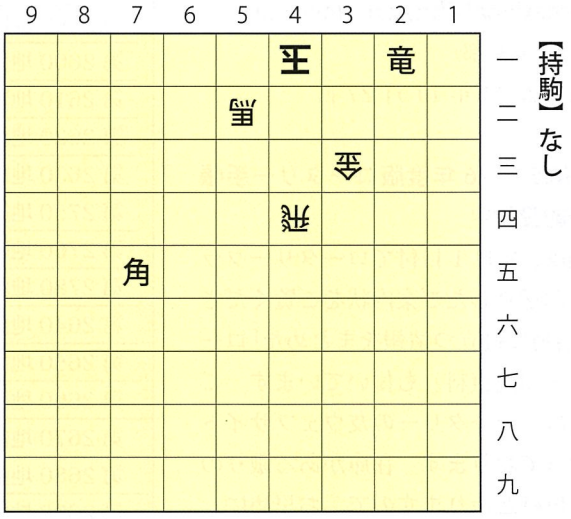
応募総数　138人　正解者　133人
当選者（敬称略・順不同）／猪狩佳亮（川崎大師ＲＣ）、絹川定（京都ＲＣ）、高田敏文（静内ＲＣ）、浦島信子（神戸モーニングＲＣ）、池田彩織（沖縄首里ＲＣ）

◆ P51 詰め将棋の答え ◆

▲3二銀△同玉▲1二飛成△4一玉
▲5二金△同馬▲2一竜まで
7手詰め

◆ 解説 ◆

正解は焦点に捨て駒▲3二銀。玉以外の駒で取ると▲1二金で詰み。△3二同玉に▲1二飛成が実現して簡単そうだが△4一玉が最善の逃げで容易で無い。そこで▲5二金がトドメの逃げ道封鎖の手筋で見事に解決。



この問題に関するお問い合わせは、往復はがきに、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、〒151-8516東京都渋谷区千駄ヶ谷1-18-5（公社）日本将棋連盟普及課ロータリーの友詰め将棋係までお送りください。

編集部のあとがき

昨年12月に開催されたロータリー研究会（本号に掲載）で、私は多くのガバナーエレクトとお会いしました。皆エネルギッシュで、次年度のビジョンを、口角泡を飛ばして語り合っている姿が印象的でした。研究会後、インフルエンザ・コロナに感染したという情報が続々と感染者の一人である私の元に届きました。

最強（？）の免疫を身に付けた、あるいは感染症にならなかった最強のエレクトたちは、今月9～13日、アメリカ・オークランドで開催される国際協議会に出席します。実質4日間で、7回の本会議と8回の分科会、ＲＩ会長エレクトとの写真撮影、ブラジル晩餐（ばんさん）舞踏会、世界の食レセプション＆ディナーと多忙なスケジュールをこなしつつ世界のエレクトとネットワークを築いて帰国。次年度に向けた準備が急ピッチでスタートします。1年って本当に早い。（編集長　野崎）

ジャーナリスト・堀潤さんの話を聞く機会があった。彼が2019年、アフリカ・スーダンを取材した際、政権に抗議する民衆に「あなたたちは何を求めているのか？」と質問したところ「責任を果たしたいんだ」と返ってきたという。自由を求める、ではなく責任。この言葉に深く感銘を受けた堀さんはこう続ける。「責任は、英語ではResponsibility。応答（Response）＋能力（Ability）ともいえる。つまり民主主義の根幹には応答する能力があり、それが重要なのではないか」。横組みの特集記事に登場するジョージ・武井さんも、応答し続けている人物だ。私たち人類の「長寿と繁栄を（Live long and prosper）」を実現させるヒントがここにあるかもしれない。（編集部　熊谷）

ROTARY
お知らせ

新ロータリー衛星クラブ

つくば学園ユース（2820・茨城県）
2024年11月28日認可
会員数：8人
スポンサークラブ：つくば学園
例会日：第1・3木　19：00
例会場：昭和管工事（株）
議長：後藤優　幹事：大泉百華

新ローターアクトクラブ

International Christian University
（2750・東京都）
結成：2024年11月27日

◆ 2025 － 26年度版ロータリー手帳ご予約受付中

詳細は、2月1日付でロータリークラブにお送りしたご案内状をご覧ください。活動に役立つ情報をまとめた「ロータリー関連資料」も付いています。ご注文は、ロータリーの友ウェブサイトで承っております。在庫がある限りの受け付けとなりますので、お早めに。
定価880円（本体価格800円　送料別）

地区別クラブ数・会員数一覧表

（2024年11月末現在）

地区	ＲＣ数	会員数	23年11月末会員数
第2500地区	64	2,246	2,237
第2510地区	68	2,358	2,423
第2520地区	76	2,054	2,058
第2530地区	60	2,182	2,208
第2540地区	40	1,118	1,098
第2550地区	47	1,579	1,625
第2560地区	54	2,041	2,035
第2570地区	47	1,587	1,588
第2770地区	68	2,273	2,335
第2790地区	83	2,726	2,691
第2800地区	49	1,524	1,515
第2820地区	55	1,901	1,892
第2830地区	40	1,128	1,108
第2840地区	45	2,066	2,068
第2580地区	73	3,079	3,038
第2590地区	52	1,858	1,868
第2600地区	52	1,817	1,851
第2610地区	63	2,501	2,524
第2620地区	74	2,872	2,896
第2630地区	74	3,145	3,134
第2750地区	98	4,614	4,624
第2760地区	84	4,611	4,665
第2780地区	67	2,359	2,387
第2640地区	64	1,541	1,580
第2650地区	95	4,242	4,281
第2660地区	78	3,520	3,448
第2670地区	73	2,810	2,868
第2680地区	68	2,502	2,553
第2690地区	65	2,923	2,958
第2700地区	60	3,164	3,164
第2710地区	72	3,168	3,188
第2720地区	73	2,337	2,361
第2730地区	68	2,364	2,396
第2740地区	55	2,089	2,107
34地区合計	2,204	83,299	84,772

日本のロータリー
会員数　84,048人
クラブ数　2,195
（左の表中34地区合計から、第2750地区のＰＢグループを引いた数です）

ガバナー月信より　第2750地区クラブ数・会員数は、ＰＢグループ（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）9ＲＣ・251人を含みます。P6「日本のロータリー」数は34地区合計からＰＢグループを引いた数。23年11月末ＰＢグループは9ＲＣ・276人。

ご案内　左記一覧表は、3つの地域順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組みＰ57奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

＊『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

ロータリーの友 Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友　3月号主要記事予定

横組み　水と衛生月間
災害時のトイレ

縦組み　財産と命を守る防犯マニュアル
犯罪コメンテーター・犯罪評論家・元警察官　佐々木成三

この人 訪ねて　平野幸司さん（岡山西ＲＣ）

◆訂正　本誌1月号横組みP15＠茨城県筑西市役所開城支所→＠茨城県筑西市役所関城支所へ、開城の祭典→関城の祭典へ、お詫びとともに訂正します。

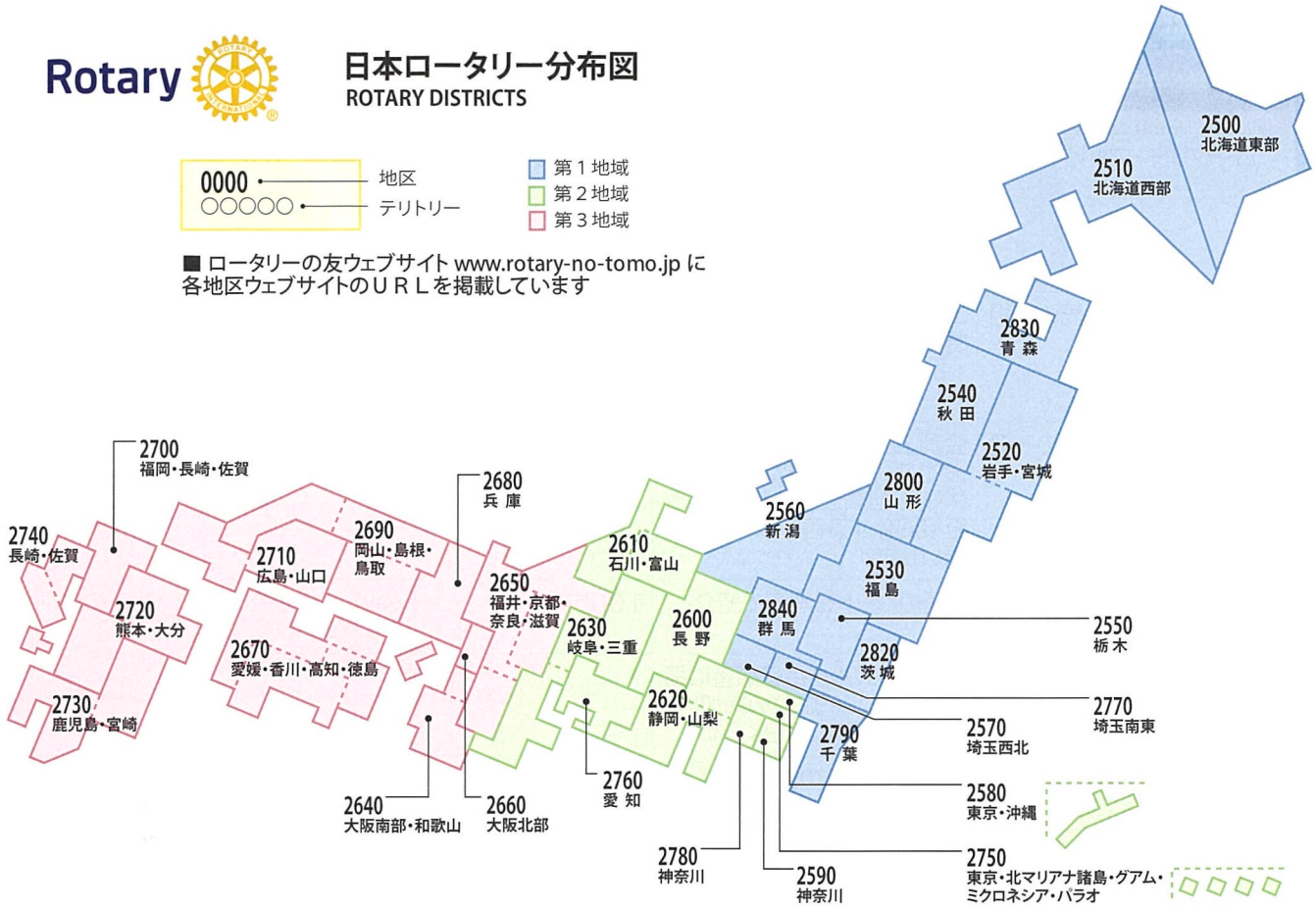
◆お問い合わせは　一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651　Fax. 編集部03-3436-5958　管理部03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp　管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

日本ロータリー分布図
ROTARY DISTRICTS

0000 地区
○○○○○ テリトリー

第１地域
第２地域
第３地域

■ ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に
各地区ウェブサイトのＵＲＬを掲載しています



ロータリーの友委員会

委員長　髙野孫左ヱ門（甲府）
副委員長　中川　基成（あすか）
ＲＩ理事　水野　功（東京飛火野）

特別顧問　橋本　長平（京都東）
清水　良夫（横浜）
片山　主水（名古屋東南）
鈴木　宏（宇都宮北）

顧問　森川　昭正（仙台宮城野）
篠原　一行（多治見リバーサイド）
中野　博美（京都）
中川　雅雄（東京浅草）
田中　靖（東京小金井）

相談役　上野　孝（横浜）
安平　和彦（姫路）
片岡　信彦（土浦南）

地区代表委員
2500　近藤　真治（帯広西）
2510　中村　越子（札幌北）
2520　千田　弥生（水沢）
2530　佐藤　文雄（都山北）
2540　岩佐　信宏（横手）
2550　鈴木　良男（鹿沼）
2560　小林　啓之（長岡）
2570　田島　高久（深谷）
2770　板橋　智之（川口東）
2790　海寶　勘一（千葉西）
2800　木口　護（白鷹）
2820　小森　勇一（高萩）
2830　木下　一志（五所川原）
2840　柳田　秀男（太田）
2580　相澤　愛（東京練馬西）
2590　亀ヶ谷純子（横浜港北）
2600　中澤　弘和（佐久コスモス）
2610　青島　郁男（宇奈月）
2620　齋藤　嗣樹（韮崎）
2630　市川　裕規（名張中央）
2750　市川　和博（東京八王子南）
2760　池森　由幸（名古屋千種）
2780　田中　哲（鎌倉大船）
2640　北芝　昌明（和歌山南）
2650　福田　一郎（奈良）
2660　木村　芳樹（大阪南）
2670　坂田千代子（徳島プリンス）
2680　近田　和裕（神戸西）
2690　飛山　美保（岡山南）
2700　江藤　航治（小郡）
2710　鈴木　義治（岩国）
2720　波佐間英樹（熊本中央）
2730　深尾　兼好（鹿児島西）
2740　俣野　正仁（大村）
編集長　野崎　恭子

月刊 ロータリーの友

第 73 巻 2 月号
2025 年 1 月 31 日印刷
2025 年 2 月 1 日発行

定価 275 円
（本体価格 250 円　送料別）

振 込 先
振込銀行　三井住友銀行浜松町支店
口座番号（普通）7450015
郵便振替　口座番号 00180-8-694591

一般社団法人
ロータリーの友事務所

■社員　水野　功（東京飛火野）
石川彌八郎（東京福生）
伊藤　千恵（東京恵比寿）
佐々木辰郎（大和田園）
大橋　秀典（東大阪東）

■理事会
代表理事　髙野孫左ヱ門（甲府）
理事　中川　基成（あすか）
理事　橋本　長平（京都東）
清水　良夫（横浜）
片山　主水（名古屋東南）
鈴木　宏（宇都宮北）
森川　昭正（仙台宮城野）
篠原　一行（多治見リバーサイド）
中野　博美（京都）
中川　雅雄（東京浅草）
田中　靖（東京小金井）
横山　武志（東京北）
羽田　伊助（東京目黒）
本田　博己（前橋）
理事　山内　一浩（浦和）
慶野　保夫（小山中央）
野中　茂（川崎）
榊原　一久（東京池袋豊島東）
渡辺　剛（東京みなと）
野崎　恭子
監事　宮嶋　康明（新千葉）
髙野伊久男（横浜西）

■職員
所長　渡辺　剛（東京みなと）
編集長　野崎　恭子
編集　稲川やよい
熊谷健太郎
黒野　穣二
山名　愛
飯田亜由香
新見　圭太
管理　冨澤　美子
半田　弥生
草野　淑美

印　刷　大日本印刷（株）
表紙印刷　半七写真印刷工業（株）
表紙題字　加藤光峰
表紙編集　スタジオ ジャングル・ジム

●落丁本・乱丁本は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人　ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651　Fax. 03-3436-5958（編集部）／03-3436-5956（管理部）
hensyu@rotary-no-tomo.jp　（編集部／本誌の内容のお問い合わせ）
keiri@rotary-no-tomo.jp　（管理部／購読・注文）
www.rotary-no-tomo.jp

ご投稿お待ちしています！

ご投稿は『友』ウェブサイトにあるフォームから受け付けます

コーナー名	説明	文章	写真	備考
ロータリー・アット・ワーク	ロータリークラブ、地区、インターアクト・ローターアクトクラブなどの奉仕活動を写真とともに紹介。活動後1カ月以内にご投稿ください	150～600字程度	集合写真、カメラ目線の撮影は不可。活動の様子が分かる画質の良い写真を添付	活動日を記載のこと
友愛の広場	エッセーや海外クラブ訪問記、時局雑感など	1,000字以内	集合写真、カメラ目線の撮影以外が望ましく、あれば添付。なくても可	
私の一冊	会員お薦めの本を紹介。一般的で、入手可能な市販書籍（絶版、自費出版、投稿者と直接関係する書籍以外）でお願いします	320字以内		原稿と別に書籍名、著者名、出版社、発行年を明記
うちの子	自慢のペットを写真で紹介	100字以内	ペットそのものアップの写真	ペットの名前を明記
パズルdeロータリー	数独、パズルを毎号順番に掲載。プレゼント応募の締切は、発行月翌月の10日くらい			
内外よろず案内	会員間の趣味の交換、催し物の案内など	200字以内		資料があれば添付
声	『友』誌についての感想・意見を紹介。発行月翌月の10日締切	150字以内		対象記事を明記
ロータリー俳壇・歌壇・柳壇	1人1カ月に1枚3句（首）まで。作品の横にクラブ名、お名前、電話番号を記入			はがき可

＊ 投稿原稿は編集部内でリライト、編集させていただきます。また、ひらがな・漢字・用語などは、『友』の表記に統一させていただきます

＊ 写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、（一社）ロータリーの友事務所発行の出版物および国際ロータリーのウェブサイト、出版物に掲載する場合があります

＊ 掲載は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にご一任ください。掲載・非掲載の連絡は差し上げていませんが、投稿後6カ月をめどにご判断ください

情報募集中！

●NEW GENERATION

ロータリーのプログラムに参加している（参加経験のある）若い人たちを紹介。推薦対象者（インターアクター、ローターアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼します。

●ELEVATE ROTARACT

ローターアクトクラブの取り組みを紹介。地域で活躍するローターアクトクラブをお知らせください。

●『クラブ週報』『クラブ会報』

「卓話の泉」掲載用として、クラブの『週報』『会報』を継続してご送付ください。メール配信のクラブは、メーリングリストに友編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。印刷版のみで発行のクラブは、ご郵送ください。

送り先・お問い合わせ

投稿フォーム
www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php

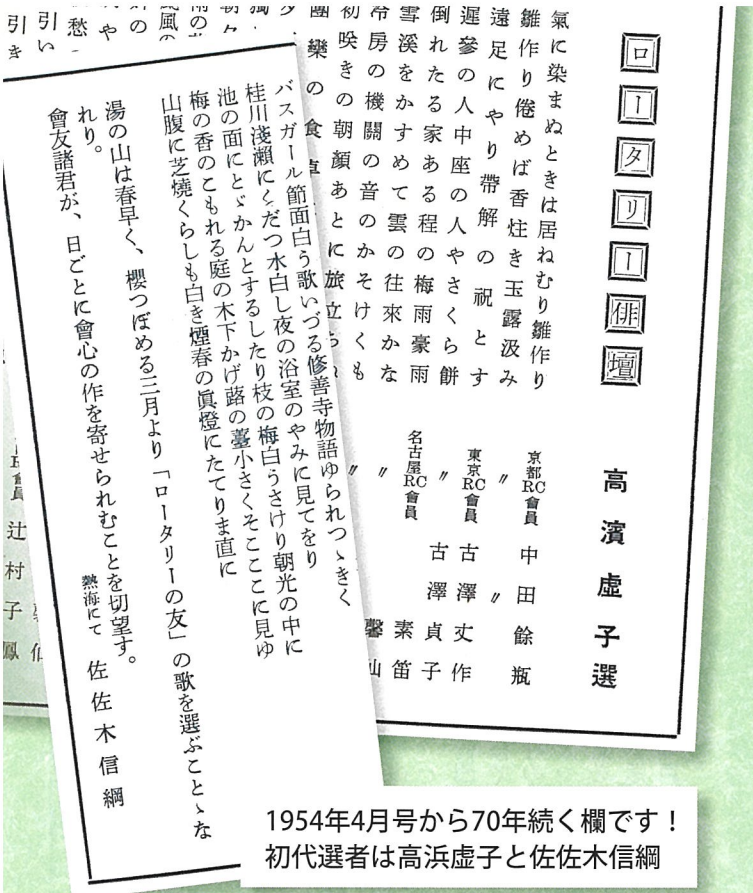
ロータリーの友　編集部
〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル4階　☎ 03-3436-6651

俳句 川柳 短歌 を詠んでみませんか

「ロータリー俳壇・歌壇・柳壇」作品募集

特に

自然美、日々の暮らしでハッとする瞬間、残したい思い……。デジタル・AIが全盛の今、自分の言葉で、心に響いた情景を、日本古来の詩の形式――五七五（俳句・川柳）、五七五七七（短歌）のリズムに刻んでみませんか？多くの作品、お待ちしています。


ロータリー俳壇

高濱虚子選

氣に染まぬときは居ねむり雛作り　京都RC會員　中田餘瓶
雛作り倦めば香炷き玉露汲み　〃
遠足にやり帯解の祝とす　東京RC會員　古澤丈作
遲參の人中座の人やさくら餅　〃
倒れたる家ある程の梅雨豪雨　古澤貞子
雪溪をかすめて雲の往來かな　名古屋RC會員　素笛
帝房の機關の音のかそけくも　〃
初咲きの朝顔あとに旅立らん　〃
醫藥の食卓　〃　馨山

1954年4月号から70年続く欄です！
初代選者は高浜虚子と佐佐木信綱

内容	雑詠（題材自由。ロータリーのことでなくてもOKです）
締切	随時（毎月20日必着）
応募資格	ロータリアン、その家族、ローターアクター、インターアクター、米山奨学生などロータリーのプログラム参加者・学友
注意事項	各欄とも１カ月に１人３句（首）まで　※厳守してください
投稿方法	**はがき（全欄共通）：**作品横にクラブ名・氏名、連絡先（電話番号かメール）を明記 **投稿フォーム：**下記二次元コードからアクセスしご投稿ください 俳壇（俳句）　歌壇（短歌）　柳壇（川柳） ※投稿フォームは『友』ウェブサイトの投稿規定（rotary-no-tomo.jp/kitei.php）からもアクセスできます
選者	俳壇（俳句）　長谷川櫂先生、夏井いつき先生 歌壇（短歌）　馬場あき子先生、佐佐木幸綱先生 柳壇（川柳）　三遊亭白鳥先生
はがきの送り先	〒105-0011　東京都港区芝公園2－6－15黒龍芝公園ビル４階 （一社）ロータリーの友事務所　●●係 ※●●に投稿先（「俳壇」「歌壇」「柳壇」）を入れてください

声

11月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい！」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

【対象記事】
特集・ロータリー財団　始まりと今◇ロータリー財団の父　アーチ・クランフ（横P8～9）

【感想】エピソードが短い文の中で巧みにまとめられていて、情景が浮かびました。素晴らしい！
横浜RC　奥津　勉

【対象記事】
世界インターアクト週間・仙台育英学園IACの「ここがすごい！　日本初インターアクトクラブの強み」（横P16～17）

【感想】所属クラブが現在、インターアクトとのつながりが弱まってきている中で、姉妹クラブの仙台東RCの活動を知り、自分たちから動くことの重要性を改めて感じました。
宇和島RC　中村　大輔

【対象記事】
私のロータリーのマジック◇能美RC・角谷健司氏の「私が髪を伸ばした理由」（横P21）

【感想】何げなく読み出し、勝手な印象で女性かと思っていましたが、男性の方で驚きました。ロータリーに入ったことで、個人としても奉仕、善意を実行に移していて、素晴らしいと思いました。
神戸モーニングRC　浦島　信子

【対象記事】
よねやまだより・キャンパス&ダイアリー①◇ソリマン　ゼヤド　アイマン　アブダラ　アブエルフェトさん（横P26～27）

【感想】日本人には当たり前のことも、海外の若者からは驚きと映るのですね。一方、日本人から見ると、時間の感覚がのんびり、ルーズと思える外国もあります。海外の若者の言葉で、文化の違いを語ってくれているところが新鮮でした。
沖縄首里RC　池田　彩織

【対象記事】
ロータリーアットワーク◇神戸RCの「子どもたちへ未来の贈り物」（横P30）

【感想】子どもたちに最先端の科学や医学を体験させるイベントを、外注することなく、会員手作りで行ったことは大変素晴らしいと思いました。
札幌清田RC　高橋　宣充

【対象記事】
ニュージェネレーション◇インターアクター・飯塚万悠子氏の「故郷に安らぎの空間を」（横P35）

【感想】11月号で一番感動、感心した記事です。「町を知り、人と関わり、地域の皆さんとすてきな空間をカタチづくっていきたい」という思いは、地域愛にあふれていて、とても好感が持てます。地域に誇りを持つことは、町づくりにはとても大切なことです。これからの活躍が、とても楽しみです。期待しています。
石岡87RC　島田　哲

【対象記事】
スピーチ◇髙橋裕子氏の「今だから津田梅子　そして、サファイアの指輪と私」（縦P4～8）

【感想】津田梅子の最初の留学は何と6歳。そしてナイチンゲールやヘレン・ケラーから勇気をもらいエンパワーされた思いが、質の高い女子教育を提供するという強い使命感やミッションにつながったのですね。これまであまり関知しなかった、梅子の人生を知ることができました。
大月RC　鈴木　龍子

【対象記事】
にっぽんふうど◇久保田英男氏の「シェアする甲信越編」（縦P13）

【感想】今回はわが郷土、山梨のほうとうの話と、信玄、謙信の話！おまけに煮貝まで。夢中で一気に読んでしまいました。食は皆を笑顔にしてくれたり、会話のきっかけとしても大切です。楽しい知識を伝えてくれて感謝しています。ただし、山梨にはまだまだおいしいものが、たくさんありますよ！
甲府北RC　土橋　幹夫

●本文150字以内。本文とは別に、対象記事名（例：○月号「友愛の広場」、○○さんの記事）とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトで！

ロータリーあるある相談室

キラッと解決!?

皆さんの「あるある」な相談に、経験豊かなパストガバナーが、真剣に、時にはユーモアを交えてお答えします。

相談

ロータリーについて書かれたある本を参考にして、現在、クラブ会長を務める私の年度では、クラブの活性化を図るため座席抽選（くじ引き）を企画、定期的に例会の席替えをすることにしました。「いろいろな人と知り合いになれてうれしい」という声も聞こえてきますが、「アイツとだけは同じテーブルになりたくない」というクレームもあります。「いい年した大人がくだらないことを言うものだな」と内心キレつつ、とはいえ敵を増やしたくないのも本音のところです。どうしたらいいのでしょうか。

（栃木県　やっぱりみんなに好かれたい　53歳）

回答①

田中 久夫

高崎RC
（大学教授）

私がクラブ会長を務める以前、うちのクラブの問題は例会のマンネリ化でした。毎回、同じことの繰り返し。ろくな会長卓話、外部講師卓話も聞けずに、昼食を食べて帰るだけのまるで消化試合……。それをなんとかしようと、せめて座席くらいは毎回いつもと違う人と隣になって、新しい交流関係を築ければ少しは楽しくなるかなと思い、座席抽選を提案しましたが、一部のベテラン会員からは反対の声が上がりました。しかし、私は抽選を断行！　その結果、クラブは1年で51人の純増を果たし、座席抽選による効用（居心地の改善）を知ったのです。

その後、抽選に協力的であった会員と絶対従わない会員に自然な色分けが生まれ、前者の人たちはその後クラブ運営の核へと成長していきました。一方、非協力的であった人たちは、その後……。紙幅の関係上、皆さまのご想像にお任せします。

回答②

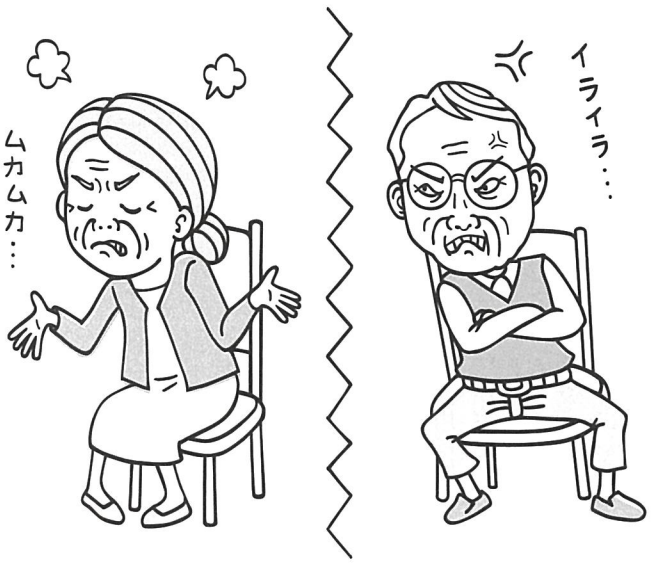
羽部 大仁

札幌幌南RC
（仏教―浄土真宗）

クラブ活性化のための素晴らしい取り組みですね。せっかく会長になられたのですから、クラブのためにお考えになったことをぜひ貫いてください。敵は一時的にできるかもしれませんが、味方もできるはずです。私からもエールを送ります！

多様な考えを持つ会員を同じ方向に動かしていくことは容易ではなく、時には我慢や忍耐も必要かもしれません。そんな時は、お寺や神社に行って、手を合わせて、心を落ち着かせるというのも一つの方法です。そんな時はおさい銭、心持ち多めに！（なんちゃって）

ロータリーの目的は、国際理解、親善、平和の推進です。それなのに例会での席でとやかく言っているようでは、世界平和はまだまだ先ですね。皆さん、会長の言うことを聞きましょう！　そうそう今月は平和構築と紛争予防月間ですよ。



イラスト：ライトマン

TABLE SPEECH

卓話の泉

■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

おいしい紅茶の入れ方

ザ・プリンスパークタワー東京
ティーインストラクター　西田　桃

紅茶のおいしい入れ方、英国式「ゴールデンルール」を紹介します。

①温めたティーポットを使う：100度の熱湯であらかじめポットと器を温めます。紅茶は鉄分が加わると色が黒ずむので鉄製以外のティーポットを準備してください。

②ティースプーンで茶葉を量る：大きめの紅茶の茶葉をリーフタイプ、細かいタイプをブロークンタイプと呼びます。ブロークンタイプはティースプーンで中盛り、2・5～3gが目安、リーフタイプは大盛り、約3gがカップ一杯分の茶葉の分量です。

③100度に沸騰した湯を使う：量った茶葉をポットに入れ、100度の熱湯を手早く注ぎます。カップ一杯分の湯の分量は150ミリリットル。熱湯を注いですぐふたをします。

④時間を計って蒸らす：蒸らす時間はブロークンタイプで2分半～3分、リーフタイプで3分以上が目安。沸騰したての熱湯を注ぐと茶葉が上下に移動します。この現象をジャンピングと呼びます。熱湯を注ぐことで湯の対流が起きて茶葉が動き、うま味成分がしっかりポットの中で抽出されます。このジャンピングが上手に起これば、おいしい紅茶の入れ方は成功といえます。

時間になったらふたを取ります。最後に下に沈んだ茶葉を軽く起こすようにスプーンでひとかきします。かき混ぜ過ぎると、余分な渋みが出てしまいます。ひとかき後、茶こしを使い注ぎます。ポタポタと落ちる最後の1滴が、ゴールデンドロップやベストドロップといわれる、特においしいところです。最後までしっかり注ぎ切りましょう。

ティーバッグもポットで入れるのがお勧めですが、直接カップに注ぐ場合も、カップを温め、沸騰した熱湯を使いましょう。早く紅茶の色を出したいからとティーバッグを振るのはNG。ティーバッグは静かに入れ、ソーサーなどでふたをします。時間がきたら蓋を取ります。ティーバッグを取り出す際、絞ると渋みが出るので、軽く数回振り、静かに引き上げましょう。

（第2750地区・東京都・東京芝RCにて）

私の一冊

エネルギーをめぐる旅
文明の歴史と私たちの未来

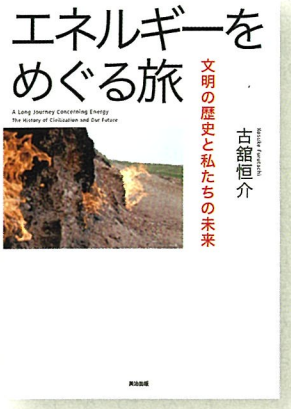
中津RC　松本　逸文

人類とエネルギーの関係を、歴史的事実を踏まえて分かりやすく説いた一冊。人類の進化の歴史をエネルギー供給の視点でひもとく第1部は必見。火の使用に始まり、農耕技術、産業革命など、筆者が定義する人類史上の五つのエネルギー革命により、人類がいかにして人口爆発していったかが記されている。

第2部のエネルギーに対する人類の知の追究の歴史や、第3部の経済や宗教、社会とエネルギーとの関連性も面白い。第4部では人類が今後目指すべきエネルギーの捉え方や、現在のエネルギー問題や環境問題に対する課題解決へのアプローチなども示す。

現代社会を生きていく上で切っても切り離せないエネルギーについて、現代人としての在り方を考えさせられる一冊である。

（第2720地区　大分県）



古舘恒介　著
英治出版
2021年8月刊

下足袋姿で、前回とは「なり」が違い、まさしく職人さんのそれ。手早くはさみを動かしながら、何度か後ろに下がってはチョキチョキと真剣そのもの。声なんてかけられない雰囲気でした。

一段落したところを見計らい、昨日話しかけた気安さで「昨晩もコレだったんですか？」とお酒を飲む手つきをしつつ、間抜けな質問を。すると、「あはは、実は夜に寝る段になってみると、朝の仕事は二日酔いのせいで雑になった気がして、どうにも寝付けない。どうしてもきちっと仕上げたいと思い、早起きして、今日の仕事に出る前に片付けに来たわけです」

その言葉にはっとし、胸を突かれた思いでした。言葉を失って、戸惑っている私に、「これでさっぱりしましたよ」と笑顔で汗を拭き拭き、傍らの車にはさみを積んで、ブーンと去って行ったのでした。

（第２５３０地区　福島県　ビール販売）

韓国、日本、その先へ 私の人生の旅

米山奨学生　金（キム）　泰賢（テヒョン）

私は10月3日、埼玉県の坂戸ＲＣの依頼を受け、米山月間の卓話を行うため例会に出席しました。「韓国から日本へ、そしてその先へ　私の人生の旅」という演題で、私の過去から現在、そして未来への覚悟を込めた内容を、約25分間にわたって話しました。

今回の卓話を振り返ると、これは私にとって単なるスピーチではなく、自身の精神的な成長を再発見できた場でもあったように思います。私は韓国での高校時代、日韓学生交流会というイベントに参加しました。そこで、韓国とは地理的には近いにもかかわらず、文化的な隔たりが大きい日本に強い興味を持ったことが、留学へのきっかけとなりました。

現在通っている立教大学での学びや経験は、単に知識を得るだけでなく、新しい価値観や生き方を学ぶ好機にもなっています。研究活動の一環としてバングラデシュでのボランティアに参加した際には「小さな幸福の大切さ」に気付きました。これは在学中に始まる就職活動を乗り越える支えにもなっており、その経験を語ることで、今回の卓話を聴いてくださった皆さんとも思いを共有することができました。

私が直面してきた困難や挑戦、それらをどう乗り越えてきたかについても、卓話の中で触れました。例えば、私は立教大学の英語劇団で照明チームをリードする役割を担いました。そこで、チーム全員と協力し、問題を乗り越えるために必要なコミュニケーション能力を身に付けました。この経験は、今後の人生にも大いに役立つと確信しています。

２０２４年に米山奨学生となってからは、多くの人たちと交流し、奉仕の精神や世界平和に貢献する心構えができました。米山梅吉氏の言葉「Keep your name clean」を心に刻み、将来は他者への奉仕や地域社会への貢献を通じ、自分の名を輝かせる存在になれるよう努めたいと思います。

（第２５７０地区　埼玉県　世話クラブ・和光ＲＣ）

坂戸ＲＣで卓話を行う金さん

うちの子

アンディ
・ウエストハイランドホワイトテリア
・オス６歳

飼い主に似たのか、わがままで、女性には懐くが、男性には知らん顔。この写真は、トリミングから帰ってきたばかりの“ドヤ顔”です。

森　英治郎（香川県・観音寺ＲＣ）

ニングロード「やすらぎ堤」という素晴らしい環境でのジョギングにどっぷりとはまってしまい、フルマラソンに挑戦してみようという意欲がふつふつと湧き起こりました。無謀にも50歳を過ぎてからの挑戦です。

時にはいろいろな誘惑に負けながらも必死に練習。1年がかりで準備を進め、完走できる自信をある程度持って当日を迎えました。今回は第40回の記念大会で、参加者数は総計1万2000人弱。とてもビッグな大会に圧倒されながらも、最低でも完走、あわよくば4時間を切る、という目標を立ててスタートを切りました。

「30キロメートル以降が本当のマラソンだ」という世間のうわさ通り、30キロメートルを過ぎたあたりからペースがガクンと落ちてしまいました。目標の4時間を切ることはできませんでしたが、何とか4時間34分で完走できました。

フルマラソンを走ってみて、強く感じたのは、大会を運営されている方々の献身、各給水所などで受けるボランティアの手厚いケア、そして何よりもコース脇で応援してくれる方への感謝の気持ちでした。文字通り涙が出るほどありがたく、終盤になればなるほど、応援が心に染み、力になりました。子どもたちの声援が耳に入ると、涙腺のもろくなった私は、本当に泣きながらの走りとなりました。あの温かい雰囲気の中での走り、あの一体感を得るために、来年も頑張って参加しようと決めました。再び練習の日々を送ろうと思います。

（第2560地区　新潟県　コンクリート工事）

初めてのマラソンに挑戦した澤田さん

ある職人さん

郡山　五十嵐酋平

ずっと以前になりますが、某小学校の前でコンビニエンスストアを商っていた頃のことです。ある晴れた6月の日曜日、いつものように朝6時半に自宅から店舗へ歩いていきますと、学校の前の植木の方からチョキチョキとはさみの音がしてきます。30代とおぼしき男性が大きなはさみで盛んに植木を刈っております。素早い手さばきは職人さんのそれですが、何やらおかしい。

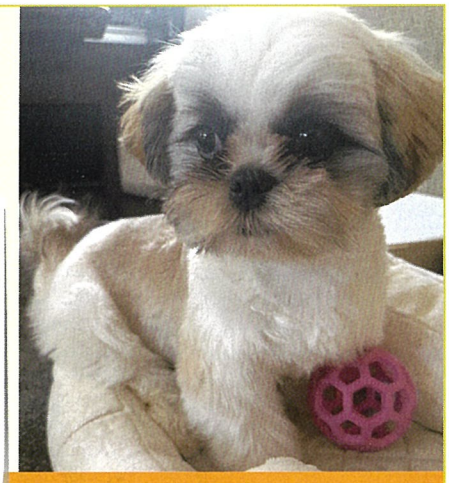
糊のきいたワイシャツ、折り目の付いたズボン。何ともそぐわない格好なので、「朝からご精が出ますね。日曜日なのに、どうして？」と尋ねると、手を休めるでもなく、「自分は須賀川（郡山市から南へ十数キロメートルの市）の植木職人ですが、郡山の友人と飲んで、当地に一晩厄介になりました。早くに目が覚めたんで駐車場に行ったら、開場が7時。仕方なく散歩をしていたら、ここの植木の乱れた景色がどうも良くない。勝手ですが木にも良くないし、直してやろうと、車からはさみを持ってきたんです」と、相変わらず手を動かしております。世の中には感心な人がいるもんだなと思っていた私に、「あぁ、もう時間だから」と会釈をして、はさみを担いで、ゆっくりと去って行かれました。

翌日、店舗へと行きかけますと、またもやチョキチョキとはさみの音が聞こえてきます。ええ？　一体誰が？と混乱した頭で、音のする方へ近寄っていきますと、なんと昨日の職人さんではありませんか。しかし、今度は鉢巻きと地

うちの子

あんちゃん

人と犬が大好きなあんちゃん。うちに来た青少年交換学生にも、しっぽフリフリ。食べることも大好きで、小型犬のはずが、お医者さんに中型犬と言われたりします。



安藤　豪（東京品川RC）

友愛の広場

FRIENDSHIP PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

願いは一つ　世界平和

新居浜　永田　光春

2019年のドイツ・ハンブルク国際大会に参加した折、千葉県の船橋南ロータリークラブ（RC）の田中一邦さんと偶然、同席することになりました。田中さんからキリマンジャロへの登頂挑戦の話を聞き、私も手を挙げ、同行に賛成してもらいました。1回目の挑戦は21年、私が77歳の時で、5685㍍地点で引き返しましたが、2年後に頂上を目指すことにしました。目標を持って生活する。これは実に良いことでした。

毎日118段の階段を6回、雨の日も休まずにトレーニングできたことが何より。同じ愛媛県の西条RCから井上隆寿さんも一緒に挑戦することになりました。ところが、彼はトレーニングのために登っていた神戸・六甲山で不幸にも亡くなってしまいました。

私もトレーニングの日々の中でメニエール病を発症し、平衡感覚を時々失うようになり、不安が生じました。80歳となり、身体の衰えも感じます。こうした準備中、2回も救急車を呼ぶような不調が起こりました。80歳ともなれば、これまでとは何もかもが変わっていきます。仕方がありませんが、遅かれ早かれ訪れることと腹をくくり、挑戦を決意しました。

そして昨年9月25日午前6時、最高点ウフルピーク（5895㍍）に到達！　田中さんの力を得て、登ることができました。良いガイドにも恵まれ、頂上へ！　コツはゆっくり登り、休みは2分以内です。若いガイドでしたが、私の体力をよく観察して、案内をしてくれました。

80歳でキリマンジャロ登頂を果たした永田さん（左）

5000㍍以上は、あらゆるものを創造する地球誕生の世界。無限の可能性を秘めた、私のこれからの生活を示唆してくれています。5500㍍を超えてからは、ひたすら神の言葉を唱えつつ登りました。頂上では「世界平和」と記した幕を掲げました。手には、一緒に挑戦することができなかった井上隆寿さんの写真。2度目の挑戦は、彼の供養を兼ねたキリマンジャロ登山ともなりました。

頂上近くで3回、後ろに倒れ、2回は田中さん、1回はガイドが支えてくれました。ありがたいという言葉しかありません。最後は右足が外れたような感覚になりました。すると、すぐさまガイドが左腕をつかみ、引っ張り上げてくれました。全て助けてもらいました。

9月30日の帰国後、ホテルに宿泊すると、あまりにも安全、安心、清潔、便利の良さに感動しました。その夜は興奮して、一睡もできませんでした。日本は素晴らしい。

（第2670地区　愛媛県　クリーニング）

転勤先の新潟で初マラソンに挑戦！

新潟　澤田　尚

昨年10月13日、「新潟シティマラソン2024」に初めて参加しました。私はこれまで、暴飲暴食を打ち消すために気軽にジョギングなどを楽しむという、ただのホリデーランナーでした。しかし、2023年に新潟県に転勤してきたのをきっかけに、信濃川沿いのラン

嘘つきの口が林檎を齧りけり
山形西　戸田正宏

日捲りの破れ跡晦日の雑魚寝
新潟・新津中央　髙橋健朗

かわらけの白く落ち行く紅葉谷
千葉・野田　髙梨昇一郎

切干の味確かむる掌
千葉・富里　寒郡政雄

牧閉じていよよ尖りぬ剱岳
富山南　升田義次

新聞のかさかさ騒ぐ冬隣
鳥取・倉吉　馬野慎一郎

菊花展小学生の名札立つ
兵庫・甲子園　田中由子

越南へ長子転勤暮の秋
埼玉・日高　竹内三吉

秋風の宮に男衆チャッパの音
熊本・八代北　清水明美

投稿規定　◇雑詠　◇会員、家族、ロータリー家族　◇1カ月に1人3句まで　◇締切　20日必着　◇作品横にクラブ名・氏名、連絡先（電話番号かメール）明記　◇フォーム応募可　◇『友』俳壇係

アラン・ドロン見た映画劇場既になく
老舗書店も閉じた城下町
奈良　寺田眞佐子

秋の日の午後三時すぎハゼランの
ピンクの小花の開くを待てり
東京荒川　井上久子

ざっくざく霜ばしら踏みし遠き日の
記憶の中の木守柿ふたつ
秋田・能代白神　平賀優子

阿波踊りにロマンスなくとも
狂おしく踊り通した若かりし頃
徳島眉山　樫原道治

誕生日朝日のシャワー全身に
浴びて迎える八十路の道よ
宮城・石巻西　熊谷義弥

他人様（ひと）に「元気ですねぇ」と云はれても
我が身の老化をしみじみ思ふ
佐賀・伊万里西　時里重利

投稿規定　◇雑詠　◇会員、家族、ロータリー家族　◇1カ月に1人3首まで　◇締切　20日必着　◇作品横にクラブ名・氏名、連絡先（電話番号かメール）明記　◇フォーム応募可　◇『友』歌壇係

粋がって斜に構えても野暮なだけ
東京日本橋東　塚田晴美
こんな人、落語家に多いんだよね。「酒飲むときは塩舐めてれば十分だ」。高血圧で死にますよ。

満月や息子の思春期見守ります
宮城・仙台東　石黒　妙
思春期の子どもは何を言っても聞きません。「うるせえな」で会話がストップ。お月さまにお願いしましょう。

寒いから入れてと叫ぶすきま風
長野・松本東　福田雅春
すきま風が寒いという発想が面白い。でも入れると自分がなお寒い。さあ、どうしましょう？

験担ぎ長生うどん通夜帰り
愛知・豊川　鈴木操子
「長生（ちょうせい）うどん」は、愛知県新城市で有名なうどん店とのこと。名前が縁起が良いです。通夜帰りじゃなくても食べたいです。

不安だと買ってしまってだぶるネジ
秋田・能代　近　茂寛
ネジだけじゃありません。トイレットペーパーに歯磨き粉。最近じゃお米も買っちゃいますね。不安は一番の宣伝効果。

糖尿の数値高しや秋も又
奈良　寺田康宏
私もＨｂＡ１ｃが９・０。ご飯も日本酒もデザートも控えて毎日ウオーキング。お互い頑張りましょう。

投稿規定　◇雑詠　◇会員、家族、ロータリー家族　◇1カ月に1人3句まで　◇締切　20日必着　◇作品横にクラブ名・氏名、連絡先（電話番号かメール）明記　◇フォーム応募可　◇『友』柳壇係

Rotary 俳壇

夏井いつき 選

黄落や開けぬ母の闘病記

京都伏見　西本優子

病との闘いの記録が綴られた「母の闘病記」。治療の記録と共に心のあり様なども記されているのでしょう。開けられないのは、亡くなられて間もないからでしょうか。喪失と悲しみを代弁するかのような、美しい樹々の黄落(こうらく)です。

蕪引く橘湾の暮るるまで

長崎北　小林純一

橘湾を見下ろす丘陵地の畑を想像しました。日が暮れるまで、土にまみれて引いているのは、長崎地方の伝統野菜、赤蕪でしょうか。橘湾に沈んでいく美しい夕日は、蕪の色をよりいっそう鮮やかに映し出しているのでしょう。

薄き膝抱へ爪切る秋時雨

奈良・あすか　内藤和子

生きている限り伸び続ける爪。足の爪を切っているのですが、「薄き膝抱へ」る姿は、まるで寂しさを抱えているかのようでもあります。部屋の中に響く爪を切る音と、秋時雨の音が相まって、侘しさを増していくようです。

厚岸草近くて遠き色丹島

北海道・登別　寺島きしを

Rotary 歌壇

佐佐木幸綱 選

新潟の三メートルの雪見せる
インドネシアの孤児を招いて

岐阜加納　鵜飼武彦

はじめて見る三メートルの雪に驚き、喜ぶ子供たちの顔が見え、声が聞こえるような一首。

「新潟」「インドネシア」、二つの固有名詞が、事情を知らない読者にもインパクトを与える。

柿熟れてひよどりの群来ておれど
たわわな柚子は無視されており

千葉・富里　寒郡政雄

柿の木の近くに柚子の木もあるのだろう。同じくたくさんの実をつけていながら、柿の方だけにひよどりが集まっているのだ。

柚子は甘みがないので、ひよどりに嫌われているのだろう。二つの木と木の実の対照が楽しい。

こうふくという名の柿をお裾分け
まずは仏前に供えまつりぬ

茨城・日立　鈴木一良

Rotary 柳壇

三遊亭白鳥 選

めっきり寒くなってきましたね。人間とは勝手なもので、これだけ寒いとまた、暖かい季節が恋しいです。でも、去年の夏のような異常な暑さはごめんです。

さあ、準備体操して冬を感じる川柳ひねってみましょう。冬眠してたら体も頭もボケますよ。

天

ドジャースの青ハマの青空の青

香川・高松　大平　昇

青という字が効果的に使われてます。まさしく昨年の野球はアメリカでも日本でも青一色。最後は「空の青」で締めて、喜びの大きさを表してます。スカッとします。

地

トランプで全てが上がる音を上げる

岐阜加納　鵜飼武彦

アメリカのトランプ大統領を詠んだ句はたくさんありましたが、この句にはラップのような社会風刺を感じます。声に出して読んでみてください。リズムに乗って、思わずイエーイ!

人

涙溜め意地っ張りな子我に似る

青森・八戸　道尻誠助

自分に似ないでほしいところばかり似てしまう。それでもわが子はかわいいものです。涙溜めたら無言でギューッと抱きしめてあげてね。

Vol.8 食い倒れて関西編

にっぽんふうど

文・久保田英男

故郷を感じさせる「方言」の魅力

関東生まれ関東育ちの僕。生活の範囲で使う言葉は皆同じ。友達も家族も、学校もラジオもテレビも同じ。でもその環境を離れると、耳になじんだ言葉と違う日本語が飛び込んでくることがあります。そう、それが各地の言葉、いわゆる方言。最初は聞き取れなくて戸惑い、意味が分からない単語に驚くも、次第に生まれ故郷の情景を感じさせる話し方に憧れたり、ふるさとがあって遠くへ赴くことをうらやましく思ったり。まぁ、関東の言葉が標準語だと思い込むことはおごりなのでしょうが。

ある海外での研修旅行で水戸と宇都宮出身の仲間と同グループになり、約1週間、生活を共にしました。最終日は彼らとお酒を酌み交わしながら、思い出話。水戸の彼が「英語は上達しなかったが方言が抜けた」。そのココロは自分も僕（久保田）も同じ言葉で話している、と。するとすかさず、宇都宮の仲間が「違うっぺ、久保田さんが水戸の言葉になってんだっぺ」。一同大爆笑。本当は洒脱（しゃだつ）な会話内での洗練されたやりとりだったのですが、勘違いした僕、方言覚えるの早いかも、と変な自信を付け、今度は関西へ。

大阪・京都の仲間とおいしいものを食べ、大いにお酒を飲んで大盛り上がり。何しろ、関西の人の会話はテンポがよく、一言一言も面白いし、心地よい。だから、ついその言葉に感化され、僕も関西弁でしゃべっていると思ったら、隣の女性から「その変な東京関西弁、やめて」とお叱りが。

「粉もん」ってどんなもん？

「天下の台所」「大阪の食い倒れ」、大阪は食のテーマパークのような町です。その食文化で絶対に外せないものは、やはり「粉物」。当地風に言えば「粉もん」。「お好み焼き」や「たこ焼き」は、ソウルフードでしょう。白状しますが、僕は「たこ焼き」をアレンジしたものが「明石焼き」だと信じていました。ふわふわの生地の中に歯応えのあるタコが入り、カツオや昆布のだし汁でいただく「明石焼き」。その始まりは天保年間といわれ、たこ焼きのはるか大先輩。

一方「たこ焼き」はというと、明治末から大正期、近畿地方で「一銭洋食」「ちょぼ焼き」などと呼ばれた軽食がルーツ。これは水で溶いた小麦粉に、刻みネギや刻んだ肉などを乗せて焼き、ウスターソースを塗ったものでした。

それが昭和初期に、小麦粉の生地とおでん種として用いるしょうゆ味の牛スジ肉などを、球状にくぼんだ鉄板で丸く焼き上げる「ラジオ焼き」へと派生します。この名は、当時ラジオがハイカラなものの象徴だったそうで、そこから「ハイカラなおやつ」という意味でこう呼ばれたようです。なお、この「ラジオ焼き」はしょうゆ味。

そこからさらに「明石焼き」にヒントを得て、タコを入れた「たこ焼き」が誕生します。最初はしょうゆ味でしたが、戦後、ウスターソースをアレンジしたとんかつソースが登場。ソースの普及と共に大阪の定番となりました。なお「明石焼き」の名は近年付けられたもの。昭和の終わり頃、明石市のPRで名付けたところ全国区に。地元では「玉子焼き」の名で現在も、親しまれているそうです。

他にもおいしいものはたくさんあるけど、書ききれない（悲鳴）。またの機会に紹介しましょう。「やっぱ、大阪好きやで～」（大阪の人の発音で吹き替えしてね）。

久保田英男
鎌倉RC会員（職業分類：菓子製造販売）。ホームパーティーでも「たこ焼き」は人気で、「タコパしない？」なんて言うらしい。「たこ焼きパーティー」の略だけど、僕は「たこパフェ」だと思ってました。しかも、生のタコを連想……どんなパフェだい。

イラスト：ライトマン

の6階建てビルを購入。太陽光発電事業にも参入し、朝倉市の約4500坪の土地に甘木工場も建てた。それまでの輸出業から、日本国内でのトラックの整備や塗装、新車販売も行い、今は輸出と国内の売り上げが半々になっているという。

「会社も人も生き物ですから、5年後どうなるかは分かりません。一生懸命経営しても景気が悪くなったら変わるんです。自転車操業みたいにこぎこぎしても、倒れてしまうしかない。市場の動きを見極めてしっかり準備し、待っていればチャンスは向こうからやってくるね」

人事を尽くして天命を待つ、だろう。

ロータリーで人間的に成長 台湾との姉妹提携を実現

営業転換を図っていた12年、曽さんは、久留米中央RCに入会した。

声をかけたのが、江口車輛販売（株）と江口自動車工業（株）の取締役会長、江口信夫さんだ。トラックの販売や修理もしているので、古くから曽さんを見知ってきた。

「曽さんは昔、信頼しとる社員に裏切られたことがあるんです。それも信頼しとった経営者に引っこ抜かれて。『日本人は信用できん』と怒り心頭の曽さんに、私は『よかやん、欲しくば熨斗（のし）つけてあげんさい』と言いました。苦労して事業に成功し、お金も稼いだんだから、ロータリーの奉仕の精神を学べばもっと人間が大きくなる、懐も大きくなるよと。私自身もそうでしたから」

曽さんは入会した年から出席率は100％。江口さんが会長だった18―19年度から、久留米中央RCは、会員全員が皆出席を続けている。江口さんは真面目な曽さんを次期会長に推したいと思うようになる。

「もし曽会長が誕生するのなら、過去の会長ができなかったことを目指すべきだと。彼が台湾人なので、普通の姉妹提携とは違います。やっぱり本当の本音の部分で台湾の方と話ができる。それこそが、本当の国際交流でしょう」

曽さんの尽力で、妻の友人が所属していた高雄文山RCと話がまとまり、19年11月、初めて久留米中央RCの有志が台湾に招かれた。

前列中央に曽さん夫妻。長女、次男、長男夫妻と孫たち

朝に夕に最大級の歓迎ぶりだった。

空港での盛大な送迎はもちろん、ホテルの朝食にも日参してくれた。どの観光地でもガイドをしてくれ、懇親会でもごちそう攻め。会員の自宅にも招待された。

しかし帰国後、あまりに豪勢なもてなしだったが故に不安の声が上がってくる。クラブ創立30周年記念事業時（20年）に台湾側を招く予定だったが、「同じようにもてなすことができるのか」「台湾人以外にも招待すべき人はいるのでは？」という意見まで出た。

いつもニコニコと穏やかな曽さんが唯一、顔色を変えたのがこの時だった。曽さんは言う。

「もしそうなると、全て水の泡になってしまいます。姉妹提携と私の会長はセットなので、会長を受けられる立場でもなくなります。困って江口さんに相談すると『理事会を開けば解決できる』と言われ、その通りになりました」

23年7月、台湾で盛大に姉妹クラブ提携の契約も交わされた。会場には約500人が集まり、現地の新聞でも大きく報じられた。

曽さんの会長時、幹事として支えてきたのが古賀正高さんだ。

「何年か前に曽さんが『僕はリタイアしたら専業農家になりたい』と言われたことがあるんです。びっくりしましてね。外国から来て頑張って、こんなに成功したらですよ、普通なら別荘やクルーザーでも買ってのんびりするでしょう。曽さんが声を荒らげるところなど、想像すらできない。人間性が素晴らしいですね」

曽さんは23年、アメリカ留学を終えて同社で08年から働いてきた長男の俊傑（シュンケツ）さんを社長にし、会長になった。近年懸念されている中国による〝台湾有事〟も念頭にあったようだ。長女はカナダへ、次男はイギリスへ留学をさせている。

曽さんが会長だった年に設立にこぎ着けた「久留米中央みらいロータリー衛星クラブ」の3代目の議長には、俊傑さんがなる予定だ。

俊傑さんには、3カ国語がペラペラの小学6年生のお嬢さんがいて、

「今、中学受験の塾で忙しいから、合格したら遊んでね」

こう言われてしまうおじいちゃんの曽さんは、会長になっても毎日出社。クラブ創立35周年記念事業で2月に高雄文山RCの方々を招待するため、その準備に走り回っている。

曽文顕（久留米中央RC会員）ティー・ケイ貿易株式会社会長。1957年台湾彰化県生まれ。87年来日、92年に「T・K貿易」設立。2012年、久留米中央RC入会。23―24年度会長。23年7月、久留米中央みらいロータリー衛星クラブの創立と台湾高雄文山RCとの姉妹クラブ締結に尽力

記事／守田直樹　「類は友を呼ぶ」で皆さんも素敵な方ばかり。「久留米中央RC」の大ファンになりました
撮影／佐藤　敬　おいしいものがたくさんある久留米。久留米ラーメンと筑後うどんは泣く泣く次回へ

関で働いている。この時の中古トラックパーツの輸入業者との出会いが、その後の人生を変える。アメリカのガソリン車をしのぐ性能の、日本のディーゼルトラックが商売になると踏んだのだ。台湾では高速道路や高速鉄道、製鋼、造船など、巨大プロジェクトが進められ、需要はいくらでもあった。

日本行きを決めてからの曽さんの行動は素早い。

「外国語の塾に〝駅前留学〟で3カ月ぐらい行きました。週3日で、合計60時間ぐらいかな。日本では、ひらがなとカタカナには困りませんでした」

1987年、31歳で来日。親戚のツテを使い、福岡県八女市で重機の輸出をしていた会社で働き始める。ここで〝最高の教師〟との出会いもあった。土曜の夜など、会社の宿舎が教室だった。

「当時の工場長とストーブをたいて、一晩で日本酒を一升くらい飲んでいました。飲みながら日本語を教えてくれるね。例えば『曽さん、買い物に行った時に、いくら?じゃ売ってくれないよと。いくらで分けてくれますかと聞くのでは全然違うよ』って」

ここで売買と輸出について学び、92年に小郡市で、ティー・ケイ貿易を設立した。

最初は元手がないので、トラック本体ではなく、中古部品の輸出だった。

「1個数万円のエンジンなどをかき集めました。そうした部品を40フィート(約17畳)のコンテナいっぱいに積み込み、1コンテナ150万円くらいで輸出したものが、台湾では倍くらいの金額で売れていました」

折しも日本ではバブルが崩壊。市場に多くの中古トラックが出回っていた。

都知事だった石原慎太郎氏がペットボトル入りの黒いすすを振りまいてアピールした「ディーゼル車NO作戦」(99年〜)も追い風に。排ガス規制の強化で運送会社が新車に切り替え、大量の中古トラックが売りに出された。

「1年間で中古の車両は3500台くらい。1台10万円としても3億5000万円ですね。あのころの年商は今の倍以上、28億円ありました」

曽さんは中国、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、インドネシアなどに営業をかけ、販路を拡大していく。

ところが2011年、東日本大震災が発生した。輸出車は全て放射能検査が義務付けられ、輸入先からもキャンセルが相次いだ。

「放射性物質が付着したものがあったら、輸出先でも持って行き場がなくて困ってしまう。空気を通して放射能がたまりやすいラジエーターなどの部品や、丸ごとの輸出ももう全然アウト。トラックだけではやっていけないと、切り替えた年でした」

この年に久留米市役所がある通り沿い

ティー・ケイ貿易（株）の本社は九州の物流の拠点、佐賀県の鳥栖ジャンクションから程近い福岡県小郡市にある。積み出しの博多港まで車で40分余り。中古トラックの部品輸出からスタートし、年商13億円、従業員20人の会社に育てたのが、久留米中央ロータリークラブ（RC）会員で、台湾出身の曽文顕（ソウブンケン）さんだ。

事務所はれんが模様の落ち着いた外壁の2階建て。エントランスの壁には、「笑顔満開」と書かれた短冊があった。かわいいお地蔵さまと、黄色いたんぽぽの絵も描かれている。

エネルギッシュな剛腕社長を想像していたが、曽さんはほほ笑みをたたえ、まるで学者のよう。シックな応接室で、ゆったりとした口調で言う。

「事務所は全面禁煙ですが、応接室はお客さんのためにタバコ、オッケーです。タバコの煙が付いてもいいようにデザインや色を茶系にしました。以前は自分も『誰かお客さん来てくれないかなあ』と思いながら吸っていました（笑）」

2階が曽さんの住居になっており、妻の梁玉芬（リャンイフン）さんは台湾で暮らしている。

「最初のころは台湾にも会社があって、だいたい月1で高雄（たかお）に帰ってました。妻は小学校のボランティアの仕事を30年間ずっとやってきたよ。日本に行ったら、友達がいないから寂しいって。だからずっと単身赴任です」

そのため夜10時ごろの「生存確認」と笑うラブコールは欠かさない。

実は曽さんは2023年に作詞家として〝メジャーデビュー〟している。二人が出会ったのは高校3年生で、曽さんはその頃の思い出を詩にしたためている。台湾人歌手のレイジュが歌う「高雄慕情（カオション）」だ。

「君と語った　西子（シーズ）の入江
夕陽が赤く　頬を染めてた
遠く離れて　幾年（いくとせ）か
あれは初恋　ほろ苦い
想い出灯りは　消えずに残る
愛おしき街　それは高雄」

レイジュが上京前に久留米市で暮らしていたことや、「つぐない」「時の流れに身をまかせ」などを作詞した荒木とよひさ氏との出会いもあってできた歌だ。曽さんが荒木氏を台湾にあるテレサ・テンの墓参りに案内したこともあるという。

「『西子』は、高雄の夕陽の名所です。昔、デートに行った時ね、妻がね、海を見てたら、すうっと肩を寄せてきたの。だから海によく行きました。この歌は、ラブレターよ（笑）」

愛妻家だが、「カラオケで1曲流れたら18円、月数万円ほどの印税が入ります」と、ちゃっかりもしている。

会社も人も生き物 変化に対応して好機待つ

一人暮らしが長く、料理もお手のもの。食材は、事務所の裏の畑で育てたフレッシュな無農薬野菜だ。

「食べたかったら、すぐに収穫して料理します。今ならネギや春菊、大根とかね、ホウレンソウや白菜とか。タマネギ、カボチャ、サツマイモ、ニンニク。これ以上は食べきれないからね。ラッキョウも作っています。ラッキョウは漬物だけじゃなく、台湾では生のまま包丁でつぶし、卵と炒めて食べます」

ブドウやキウイも育て、カリンの砂糖漬けや干し柿まで手作りするそうだ。

実家は台湾の豪農だった。

曽さんが生まれ育った台湾中部の彰化（しょうか）県は「台湾の穀倉地帯」といわれる。

「自分の幼い頃、庭に出て見えるところは全部うちの土地でした。5万坪（約16ヘクタール）くらいあるんじゃないかな」

祖父の機転が利かなければ、曽さんは生まれていなかったかもしれない。

第二次世界大戦末期、曽さんの父にも招集がかかりそうだという情報をキャッチした。祖父は父に塩袋を渡し、

「この塩を使って、野菜などで食いつないで辛抱しろ」

と、山ごもりさせたという。

何カ月飢えをしのいだのだろう。終戦が訪れ、衰弱しきった状態で父は生還した。日本の統治下、台湾人も3万人以上が戦死したとされている。

戦後、彰化県で公務員になった父は、日本語教育を受けた世代だった。

松石和博会員のお店、久留米惣吉にて「曽さんを語る会」を開いて頂いた。（左から）古賀正高さん、江口信夫さんをはじめ、曽さんの仲間が集う

「両親が言い合いをする時などは、子どもに分からないよう日本語でしゃべっていましたね。当時は東洋一の規模のダムを台湾に築いてくれた八田與一さんなど、尊敬できる日本人も多かったので、父には反日感情はありませんでした。台湾人にはそう思う人が結構いますよ」

曽さんは高雄の大学を卒業後、港の税

この人訪ねて

曽 文顕さん

久留米中央ロータリークラブ

台湾から裸一貫で来日して37年 中古トラックから日台の懸け橋に

る意味、人の本能のようなものだから仕方ない、と諦めてしまうのは、あまりにも悲しい。

ではどうしたらいいのか？

私は「話し合う」ことが何より大事だと思っています。世界中、同じ価値観など誰も共有していないと思います。自分と意見が異なっても認め合う。差異を認め合いながら会話をする。平凡な考えですが、実際には難しいですよね。

でも、だからこそやりがいがあるし、個々人がトライすべきでもある。世の中の動静を常に見つめ、好奇心を持ってアンテナを高くし、情報の真贋を判断できるリテラシーが今こそ大事だと痛感しています。差異を尊重しながら会話できる若い世代が、どんどん出てきてほしい。他者を認め、自分も認められ、対話を弾ませる人がネットワークを作っていくと、新しい希望が生まれてくるのでは？

時代が戦争に向かう時、真っ先に縛られるのは言論です。文学者らが持っていたペンは、体制に都合の良いことしか書けなくなりました。時代の空気を作るラジオのようなメディアも、言論統制されつつ、自らフェイクニュースを作ることさえするようになりました。

振り返れば、私がＮＨＫに入局したのは９０年、バブル入社組の私が持っていたテレビのイメージは、とっても面白い玩具箱、玉手箱。「テレビ局に入れば、芸能人と付き合えるかも？」など妄想もあったほど軽かった。そんな私の転機が２００１年９月11日でした。このテロは世界戦争が始まる起点、きっかけになるんじゃないか。その危惧が私を戦争の時代へと向き合わせたのです。

戦争につながる道筋の起点を、一所懸命食い止める責務がある。メディアは抑止力のひとつでありたい。

メディアは対話のためのコミュニケーションツールだと思うのです。個々の価値観が矮小化し、分断の時代とされる今こそ、その役割は高まっていると思います。未来の世代のため、あえて過去を見つめることも大事と思います。

言葉を命懸けで守る賢く、守る

火野葦平は戦後、戦争協力者として公職追放にもなりました。そして52歳で自死を遂げます。死ぬ直前に、自身が中国兵を殺害したことをあえて公にします。そして戦争の酷さを訴えました。彼は覚悟を持って、戦争の実態を書き残しました。自分の言葉が何よりも大事だ、ということを命懸けで教えてくれたのです。

最後に、「賢きチューバーになる」ことについて話します。沖縄では「強者」という言葉が尊ばれています。「チューバー」と発音するのですが、先に触れたナワリヌイのような人が典型です。たとえ権力に弾圧されても屈しない。自分の志、言葉を貫き通し、守る人を指す言葉です。

沖縄でチューバーと言えば、政治家にしてジャーナリストであった瀬長亀次郎（１９０７～２００１）氏を、皆挙げると思います。祖国復帰運動に身をささげた市民活動家、という評価を受けている人です。アメリカによる統治下（１９４５～７２）、琉球列島米国民政府に対し、誠実に奮闘し続けて市民に慕われ、那覇市長になりました。愚直なまでに頑固一徹、生涯、自分の意志を曲げず、自分の意見を貫きました。

亀次郎さんの言葉は、あの時代の沖縄の人に届いていました。でもフェイクも含め情報が氾濫する今は、亀次郎的なチューバーでは通じない部分もあるかもしれません。どうすれば大事な言葉＝メッセージが人の心に届くのか。バランス感覚を併せ持った言葉をコントロールする、賢きチューバーが求められていると思うのです。人の意見も認める柔軟性を持つ「より賢いチューバー」が、未来を大きく支えていくだろうと考えます。

沖縄では、時に戦争の気配を感じることがあります。ミサイル発射によりＪアラートが鳴った時は驚きました。でも、地下に避難しろ、と言われても、那覇には逃げ込む地下なんてありません。爆弾が落とされてからでは遅過ぎるのです。繰り返しになりますが、私たちメディアは、火の粉が飛んだ状態での初期消火が責務なのです。

ですから、すべきことはたくさんあります。メディアの一員として沖縄に赴任してきたのに、私は米軍の基地集中についても、まだしっかりと見つめ切れていません。覚悟を持ったジャーナリストとして、少しでも沖縄の立場になって心を寄せ、地域に生きる人のことを念頭に、物事を見つめようと思います。

沖縄にいる私が、そこで起きていることを、私なりに本土の皆さんと共有することが、私の役割だと思っています。私自身が「賢きチューバー」になりたいと思っています。

自分の言葉を、賢く、守る。そして貫く。そういう存在でありたいものです

（ホスト　山口ＲＣ）

SPEECH

映像ディレクター・作家
渡辺　考

１９６６年　東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。９０年　ＮＨＫ入局。ＥＴＶ特集、ＮＨＫスペシャルなど担当、ギャラクシー賞選奨、放送文化基金賞、橋田賞などを受賞。劇場公開映画「father」監督。２０２４年12月　ＮＨＫ沖縄放送局退職。『ディープ・オキナワ』かもがわ出版、２０２３年など著書多数。

それにとどまらず、放送協会の職員がその原稿に手を加え、もっと劇的なニュースに仕立てていたことも、最近の研究で分かりました。戦時とはいえ、実に際どいことをしていたのです。

戦地となった沖縄、特攻追い詰められる人々

さらに、3年前になりますが、沖縄に着任して、沖縄の戦時中の放送局長・岩崎命吉氏の手記と出合い、彼の足跡をたどって「沖縄　戦火の放送局」という番組を制作しました。戦いの中で放送局は、戦争をどう伝え、私の先輩たちはどんな運命をたどったのか。沖縄における日本放送協会の戦争責任を探ったのです。

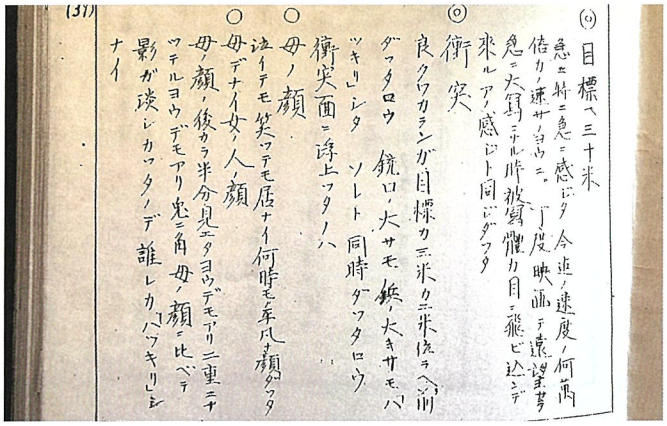
沖縄でNHKの放送が始まったのは、72年の本土復帰の時と捉えられがちですが、実は、わずか3年だけですが、42～45年、日本放送協会沖縄放送局が存在していました。戦争と共に生まれ、沖縄戦の激化と共になくなったので、幻の放送局といわれています。

岩崎氏の手記「沖縄戦記」には、日本軍に協力を呼びかけられ、メディアのあるべき姿の、変容させられていくさまが如実につづられています。メディアが暴力の手段となるプロセスを垣間見ることになりました。

岩崎氏は、戦時下の沖縄へ着任した時は「本県の土地を踏むことは非常に懐かしく本県における放送事業に全力を尽くしたひと思ひます。放送報国の完璧に推進したひと思つてをります」と意気込みを語っていましたが、敗戦後は一転し、捕虜収容所で「緒戦当時不安は有つたが勝利を確信する程馬鹿者であつた」と自省しています。沖縄放送局30人余の職員のうち、8人が命を落としました。

この番組制作に携わる中で、私たちメディア、ジャーナリズムのなすべき最大の役割は、国家や権力の暴走を見過ごさないため、不断の努力を怠らないことだと確信しました。

さらに私は、これは福岡にいた2000年代半ばのことですが、生還した特攻隊員を次の出撃まで収容した「振武寮（しんぶ）」についての番組も作りました。この寮は、現在の福岡市中央区にあった陸軍第六航空軍司令部内に置かれていました。本来、特攻作戦で出撃すれば生還することはあり得ませんが、飛行機の不備などで特攻に至らなかった隊員が、ここに集められていたのです。


(31)
(9) 目標ヘ三十米
急ニ特ニ急ニ感ジタ今迄ノ速度ノ何萬
倍カノ速サヨウニ丁度映画デ遠望ヲ
急ニ大写ニスル時被写體カ目ニ飛ビ込ンデ
來ルアノ感ジト同ジダッタ
(10) 衝突
良クワカランガ目標カ三米クライ近ク迄
ダッタロウ 銃口ノ大サモ無ノ大キサモハ
ツキリシタ ソレト同時ダッタロウ
衝突面ニ浮上ッタノハ
○母ノ顔
泣イテモ笑ッテモ居ナイ何時モ平凡ナ顔ダッタ
○母デナイ女ノ人ノ顔
母ノ顔ノ後カラ半分見エタヨウデモアリ二重ニヲ
ツテルヨウデモアリ兎ニ角母ノ顔ニ比ベテ
影ガ淡シカッタノデ誰レカ「ハフキリ」シ
ナイ

特攻隊マニュアル　提供　渡辺考

軍が特攻隊員に示したマニュアルは衝撃的です。「衝突直前」には「速度ハ最大限ダ／飛行機ハ浮ク／ダガ浮カシテハ駄目ダ／力一パイ／押ヘロ／押ヘロ／人生二十五年／最後ノ力ダ／神力ヲ出セ」。「衝突ノ瞬間」には「頑張レ神モ英霊モ照覧シ給フゾ／目ナドツムツテ目標ニ逃ゲラレテハナラヌ／眼ハ開ケタママダ／眼ヲ開ケタママブツカツタ男モアル／彼レハ其ノ楽シサヲ語ル」

目をつぶってはいけない。何て残酷なのでしょうか。衝突と同時に何が目に浮かぶかまで、マニュアルに書いてある。「母ノ顔」だとされ「泣イテモ笑ッテモ居ナイ何時モノ平凡ナ顔ダッタ」。母の顔の後は「母デナイ女ノ人ノ顔」が淡く浮かぶとか、そんなことまで……。心までコントロールするなど酷過（むご）ぎます。

戦争の始まりは自分の中の「何か」

戦争はなぜ起きるのか。起きないために何をすべきなのか。しっかりした結論に至れていないのですが、かのユネスコ憲章も語るように、無意識に己の心の中に作っている「何か」が、戦争とつながってしまうのではないか。自分の内面に潜む何か……自己拡張欲求。豪邸に住みたい、常に自分を大きく見せたいという欲望。またプライドやメンツ。高慢と偏見。意見や文化を異にする人々を排除したいという気持ち。そして誤解と忖度（そんたく）。

本来、人の心の中は見通せないものです。それなのに、私たちは「それ、分かるよ」などと安易な同意に走り、相手を理解したつもりになりがちです。善意に解釈しているうちはいいのですが、歯車がどこかで狂い、解釈が悪意に向かうと対抗心が生まれ、疑心暗鬼につながり、最終的には敵愾心（てきがいしん）に転じていく。でも、こうした心の動きは誰もが持っていますし、人という存在が持つ特質でもある、と私は思っています。

敵愾心に集団心理が加味されて発酵する時、戦争に突き進むのかもしれません。つまり、戦争の発生原因は何か特別なことではなく、私たち誰もが心の中に持っている何ものかが、戦争に結び付いてしまうのではないかと。でも、それならあ

戦争を揺り籠に
軍人がマイクの前に立つ
ラジオ番組

SPEECH

２０００年代、新聞を主として、戦時下のメディアの役割を振り返る動きがありました。例えば朝日新聞は「新聞と戦争」と題するシリーズを、１年間掲載していました。

ではＮＨＫの戦争責任は？　ここはきちんと、放送がどのように戦争とつながっていたのかを検証すべきだと考え、先輩と二人で、番組を作ったのです。先輩は国内向け放送、私が海外向けの短波放送「ラジオ・トウキョウ（現在のＮＨＫワールド・ラジオ日本）」について担当することになりました。そして「日米電波戦争」という特集を制作しました。

戦時中の海外向けラジオ放送は、どのような番組を展開していたのか、私の先輩たちは、どのような形で戦争に関わっていたのか、ということに的を絞って探ってみました。紙の記録は辛うじて残っていたのですが、音の記録がない。戦犯になることを恐れた職員が敗戦時、山のように録音データを焼いたという記録が残っています。

一方、戦時中の米軍は日本放送協会の放送を傍受し、その録音が米国国立公文書館に保管されていたのです。大事なことを後世に残そうとする姿勢は、アメリカに見習うべきかもしれません。６ミリテープで１３０ロールも残っていました。それを基に番組を制作しました。

その録音を聴いた時、衝撃を受けました。今で言うところのフェイクニュースもあったからです。放送は、米軍将兵が「東京ローズ」と愛称を付けたほど魅力的な女性アナウンサーたちや、捕虜を駆使して数カ国語で行われ、日本の正当性、日本軍の正当性を海外に向け主張していました。

例えばこんなニュースがありました。

「海外の皆さま、こちらは東京であります。（中略）敵機19機が北九州地方に侵入しましたが、わが軍はただちに迎撃してこれを撃退しました。敵機はわが強固な制空体制に手も足も出ず、爆弾や焼夷弾の大部分を山の中、海の中、あるいは田畑に放棄してほうほうとして遁走いたしました。わが方にはまったく被害がありませんでした」

「こしゃくにも九州地方を再び急撃した敵機群は、第一回の失敗に鑑み、今度は焼夷弾を使用しておりますが、投下された焼夷弾も我が民防空陣の働きによって、火災にならないうちに消し止められ、わずかに民家二戸を半焼きにしたにすぎませんでした。敵機は佐世保軍港、八幡製鉄所、これを目標にしたようですが、佐世保には焼夷弾投下の事実すらなく、八幡製鉄所も焼夷弾一個が投下されただけ、それも一瞬のうちに消し止められ、被害はぜんぜんありませんでした。（中略）かくて、敵の今度の九州襲撃も作戦的には、依然、まったく空虚極まるものであったわけであります」

これらは、１９４４年６月16日の北九州空襲についての、ラジオ・トウキョウの放送です。製鉄所を抱えていたこともありますが、八幡だけで１２９人の死者を出し、１００戸全焼したのが実態なのに、「被害は全然ありませんでした」ですから驚きです。

「海外の皆さま、こちらは東京であります。敵アメリカ自慢のＢ29は、調査の結果、口ほどにもないものであることがわかりました。すなわち、さきごろ北九州で撃墜されたものを調べてみると、例えば、使用資材の多くは代用品で、Ｂ24よりも質が悪く、また、ゴム製品についても、繊維は人絹、ゴムは劣悪で、アメリカがゴムと綿に非常に困っていることが暴露されました」

確かに、第二次世界大戦開戦までアメリカのゴムは、イギリス領マレーからの天然ゴムとドイツからの合成ゴムの輸入品によって賄われていたので、４２年に日本軍にマレー半島を占領されたアメリカは、一時的にゴムの輸入がストップしたようです。でも、すぐに合成ゴムの開発を国管理で進め、大戦末期には国内生産で間に合うようになっていたので、「非常に困って」などいません。

何でこんな誤った情報が流布したのか。日本のラジオ放送誕生はちょうど１００年前の１９２５年。当初は聴取者が伸び悩むも、３１年の満州事変を契機に、人々が戦争の情報をラジオから仕入れるようになりました。テレビもインターネットもない時代ですし、ラジオはかなり即効性の強い情報機関となったのです。しかし時代を反映し、放送内容に戦争情報という要素が強くなってしまった。実際、４１年12月８日開戦の翌日には全国一斉に電波統制が敷かれ、以後、番組内で軍人がマイクの前に立つなど軍部がラジオを活用、戦争を揺り籠に戦時色が濃い番組が流れていきました。

また当時、日本放送協会は自分たちで取材をしていませんでした。「同盟通信」という会社が原稿を書いていました。同盟の方針は「武器こそ執らねども、そのペンとカメラによる報道報国精神は、忠勇義烈なるわが皇軍の魂と、相対比すべきものがある」。

沖縄戦の現場を撮影中（私は写真右）　提供　渡辺考

した。

「ロシアのことだから」で片付けてはいけない。決して他人事ではないと私は思っています。現に日本でも同じことが起きていたからです。

先の大戦時、オピニオンリーダーとして、国民的作家と称された火野葦平（あしへい）（1907～60）の言葉を借りれば「当時ペンに加えられていた制限は大きなものであった」。戦後の告白です。「日本軍が負けているところを書いてはならない」「次に戦争の暗黒面を書いてはならない」「敵は憎々しくいやらしく書かねばならなかった」「軍人の人間としての表現を許さない」

ペンに制限がある時代、言論の自由がない時代。確かに今はそうではありません。しかし、また反転する可能性はゼロだと、誰が言えるでしょうか。

火野は『麦と兵隊』『土と兵隊』『花と兵隊』の「兵隊三部作」3作で300万部以上売り上げたとされ、マスコミの寵児（ちょうじ）でしたが、内面ではいろいろ悩んでいたのですね。私はこの火野について、知識人と戦争という観点から、ドキュメンタリーを作っています。

火野は中国大陸に従軍中、芥川賞を授賞しています。賞を出す側の文藝春秋社主の菊池寛は「作者が出征中であるなど、興行価値は百%」とのコメントを出しています。戦場で今、戦っている一兵士がいい文章を書いている、これは受ける、という野心がありありです。授賞式も、わざわざ評論家の小林秀雄が中国の杭州まで行き、現地でセレモニーを行いました。それを新聞が大いに報じ、国民は沸き立つ。そういう「仕組み」の中に彼は組み込まれていきました。

芥川賞作家、と聞くと軍部も着目します。火野はその後、軍所属の報道部員となり、軍のプロパガンダをずっと背負うことになった。戦争を止める側に立つどころか、戦争の終わりまで、ずっと軍部と近い立場で文章を書き続けました。

でも、そのような立場にあったのは、火野だけではありませんでした。有名作家の面々は一様に、国の「ペン部隊」に編成され戦場に行き、日本軍礼賛を書いていった。林芙美子、深田久弥、吉川英治、尾崎士郎……いったん戦争が始まってしまうと、その作家たちが本来持っている各々（おのおの）の意見や考えは、封じられてしまう。戦争を賛美する方向へ、皆で行ってしまった。そんなことがかつて確実に、この日本でもあったのです。

しかし、「当時の作家や知識人らオピニオンリーダーの多くが、軍部に利用されていった」と他人事のように伝えて番組を終わるのは、非常に無責任だとも思います。自らへの問い直しも必須でした。当時のメディアはどのような状態にあったのか。特に、NHKの前身・日本放送協会、先輩たちは戦争の時、何をしていたのだろうか、という問いです。

SPEECH

2024年2月18日　国際ロータリー 第2710地区グループ3　ＩＭ講演要旨

渡辺　考　映像ディレクター・作家
Ko Watanabe

言葉を守る
テレビディレクターの考える戦争

今こそ自分たちメディアが、戦争と深い関係性にあったという事実の重みをかみしめ、問い直すべきタイミングだと思っています。メディアは抑止力のひとつでありたいですし、対話のためのコミュニケーションツールでもあります。個々の価値観が矮小化し、分断の時代とされる今こそ、私たちの役割は高まっています。未来の世代のために、あえて、過去を見つめることも大事だと感じています。

ＮＨＫの転勤で沖縄に暮らすようになって、初めて気付かされたことが、多々あります。

例えば、那覇では朝、目覚まし時計を必要としません。ジェット戦闘機が毎朝、爆音を立てて飛ぶからです。嫌でも目が覚めます。携帯電話の相手の声が、聞こえないほどの音です。

今日、ミャンマーやウクライナ、パレスチナ……戦争が拡大し、「戦争」という言葉が耳目に触れない日は、なくなってしまいました。しかし沖縄では、戦後79年の間、その言葉は生活空間近くに存在します。沖縄では、沖縄以外の日本の地のことを「大和（やまと）」「本土」「内地」と言うのですが、「本土」では報じられないような問題が、常日ごろニュースで流れます。例えば基地問題やミサイル配備、南西諸島防衛、これらはある意味、日常茶飯事のように語られています。

先輩ジャーナリストと話した時、いわゆる「戦後」は完全に終わっていて、今はむしろ「戦前」なんじゃない？という言い方をされました。確かに、今のご時世を「新しい戦前」と表現したフレーズが巷間（こうかん）、聞かれますよね。

そんな空気は確かに、あるかもしれません。先の戦争は私たちが経験した最後の戦争ではなく、次の戦争が迫っているという共通認識が、成立しかけている。でも、メディアに携わる者として、絶対に次の戦争はあってはならない、と思っています。

今こそ、自分たちメディアが、これまで戦争とどのような関係性を持っていたのか、ということを見つめ直し、改めて、メディアの役割を再考すべきだと思っています。

私は近年、戦争に関するドキュメンタリーを軸に番組を作っています。そのプロセスで、見えてきたものは何なのか、今日は話しましょう。

私の番組のタイプは三つに大別されます。戦時にオピニオンリーダーだった知識人はどのように戦争と関わったのか、彼らは戦争をどう受け止めていたのか、を問い直す番組、次に戦争と、私たちメディアの関係性を考える番組、そして、戦争によって苦しい立場に追い込まれていった方々を追う番組です。

軍部に利用された知識人

最近、私にとって衝撃だったのが、ロシアのアレクセイ・ナワリヌイ（１９７６～２０２４）さんの事件です。オピニオンリーダーでもあり、政治活動家でジャーナリストでもあった彼が、ロシアの体制に対し批判を続けていたところ、何度も命を脅かされた上、獄中で亡くなりました。毒殺の疑いが濃いようです。今、戦争をしているロシアにおいては、言論の自由はないことを証明する事件で

目次

ロータリーの友
Rotary JAPAN
www.rotary-no-tomo.jp
2
FEB. 2025

SPEECH
言葉を守る　テレビディレクターの考える戦争
映像ディレクター・作家　渡辺　考　4 / 77

この人 訪ねて
曽　文顕さん　久留米中央RC（第2700地区）
記事・守田直樹　撮影・佐藤　敬　9 / 72

にっぽんふうど
食い倒れて関西編　久保田英男　13 / 68

ロータリー俳壇　◆夏井いつき　選　14 / 67
ロータリー歌壇　◆佐佐木幸綱　選　14 / 67
ロータリー柳壇　◆三遊亭白鳥　選　14 / 67

友愛の広場
願いは一つ　世界平和　新居浜　永田光春
転勤先の新潟で初マラソンに挑戦！　新潟　澤田　尚
ある職人さん　郡山　五十嵐酋平
韓国、日本、その先へ　私の人生の旅　米山奨学生　金　泰賢
◆うちの子　16 / 65

卓話の泉
おいしい紅茶の入れ方　西田　桃　19 / 62

私の一冊
エネルギーをめぐる旅　文明の歴史と私たちの未来　中津　松本逸文　19 / 62

ロータリーあるある相談室　20 / 61

声
11月号の感想　21 / 60

今月号の表紙　―多才な障害者アートをお届け

紙に色を塗る人、絵を描く人、文字を書く人、ひたすら模様を描く人、たくさんの紙をパンチする人。それぞれができることをやって、たくさんのハートを作り、箱にデコレーションをしました。くるるからのバレンタインのプレゼントボックスが完成です。

支援スタッフ代筆

今回はくるるえびすさんに、バレンタインのプレゼントボックスの制作をお願いしました。描いたり切ったり貼ったり、チームの皆さんでワイワイガヤガヤ、作品を見ていると作業中の声が聞こえるようです。楽しさ満載のバレンタインのプレゼントボックスができました。

アートディレクション・五十嵐仁之

バレンタインボックス

イラストレーション

渋谷区くるるえびす／チームくるるえびす
東京都渋谷区

320（W）×230（D）×120（H）mm
紙、ダンボール、アクリル絵の具、サインペン、リボン

一般社団法人　ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651　Fax. 03-3436-5958（編集部）／03-3436-5956（管理部）
hensyu@rotary-no-tomo.jp　（編集部　本誌の内容のお問い合わせ）
keiri@rotary-no-tomo.jp　（管理部　購読・注文）
https://rotary-no-tomo.jp

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。
◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

学びとひらめき。

『友』で友を見つける

昨年度、クラブの広報・公共イメージ向上委員長になり、約60人の会員に『友』を読んでもらおうと、独断と偏見でお薦め記事を決め、記事紹介をつくることに。最初は読むだけで半日、記事をつくるのに半日と大変な作業。しかも転載させてもらうにはそのクラブ(個人)に許可も必要。連絡を取ると、「以前同じ系列の会社で勤務していた」「川崎にはなじみがある」など共通の話題で盛り上がることも。訪れたことのない地域の、会ったことのない人とメールで盛り上がるなんて、あまりない経験だと思いませんか?

川崎ロータリークラブ
岩山眞士さん

電子版
www.tomo-archive.net

昭和43年4月23日第3種郵便物認可 令和7年2月1日発行 毎月1日発行 通巻865号

ロータリーの友

Rotary

2
2025
February

JAPAN
www.rotary-no-tomo.jp

SPEECH
渡辺 考さん
言葉を守る
テレビディレクターの考える戦争

この人 訪ねて
曽 文顕さん
久留米中央ロータリークラブ

Rotary